

[保健福祉事業]

医薬品の副作用による健康被害実態調査報告書

平成18年3月

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

医薬品の副作用により健康被害を受けた救済給付受給者を対象とする保健福祉事業の一環として、重篤な健康被害を受けた方を調査し、その実態を把握することにより、健康被害を受けた方のＱＯＬの向上策及び必要なサービス提供のあり方等を検討するためのアンケート調査の実施方法及び調査結果のとりまとめの検討にあたり、有識者の方からご意見をいただくために平成16年10月に「医薬品による被害実態調査検討会」を設置しました。

本報告書は、平成17年8月にアンケート調査等を実施してその結果をとりまとめたものです。

健康被害の実態調査の実施に当たっては、健康被害を受けた方や家族の方々のご協力をいただき心から感謝を申し上げます。

〔医薬品による被害実態調査検討会委員〕

座長	佐藤 久夫	日本社会事業大学社会福祉学部教授
	青柳 茂夫	日本製薬団体連合会救済制度委員会副委員長
	栗原 敦	全国薬害被害者団体連絡協議会世話人
	榛葉 洋	日本製薬団体連合会救済制度委員会委員長
	高橋 孝雄	慶應義塾大学医学部教授
	坪田 一男	慶應義塾大学医学部教授
	湯浅 和恵	S J S 患者会代表

〔事務局〕

独立行政法人	医薬品医療機器総合機構
	谷田上席審議役
	永堀健康被害救済部長
	小野数理役
	清重健康被害救済部企画管理課長
	恩田健康被害救済部企画管理課長代理
	新垣健康被害救済部企画管理課企画係長

目 次

I	医薬品の副作用による健康被害実態調査に関する調査概況	
	○ 調査の概要	1
	○ 調査結果の概要	2
	○ ヒアリング調査結果の概要	29
	○ 用語の解説	31
II	医薬品の副作用による健康被害実態調査の集計結果	35
	○ 参考資料	
	医薬品副作用被害救済制度創設以降の健康被害者集計結果	59
III	医薬品の副作用による健康被害実態調査票	83

I 医薬品の副作用による健康被害実態調査に関する調査概況

I 医薬品の副作用による健康被害実態調査に関する調査概況

【調査の概要】

1 調査の目的

医薬品の副作用により健康被害を受けた救済給付受給者を対象とする保健福祉事業の一環として、重篤な健康被害を受けた方を調査し、その実態を把握することにより、健康被害を受けた方のＱＯＬの向上策及び必要なサービス提供のあり方等の検討に資するために実施した。

2 調査の対象者

医薬品の副作用による健康被害の実態把握の正確性と調査の精度を高めるため、医薬品副作用被害救済制度による現在の障害年金、障害児養育年金受給者及び過去５年間の医療費・医療手当受給者を対象とし、また、重篤で希少な健康被害については症例も少ないことから、医薬品副作用被害救済制度創設以前に医薬品が原因と思われる副作用により健康被害を受けた方（国民年金障害等級２級以上）も対象とした。

3 調査の時期

- ① 書面によるアンケート調査 平成17年 8月1日～ 8月31日
- ② ヒアリング調査 平成17年10月1日～11月30日

4 調査の方法

調査の方法は、別に定める「医薬品の副作用による健康被害実態調査調査票」を対象者に送付し、書面によるアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。また、医薬品副作用被害救済制度創設以前の健康被害者については、学会を通じ医師等に協力を呼びかける他、機構ホームページ等で調査協力者を公募し調査を実施した。

5 調査の内容

調査の内容は、「医薬品の副作用による健康被害実態調査調査票」を大別すると次の４つの事項に分けられる。

- ① 健康被害が起こったときの状況について
 - ・本人と家族の仕事や就学状況
- ② 健康被害者本人の健康状態、日常生活関係について
 - ・治療状況、健康状態、介護状況
- ③ 健康被害者のリハビリテーションについて
 - ・生活訓練の状況
- ④ 救済制度に対する要望について

6 調査票の回収状況

調査票は救済制度による現在の障害年金等受給者及び過去５年間の医療費・医療手当受給者 1,743 人に発送したが、回答のあった方は 715 人で回収率は 41%であった。（その内訳は、医療費・医療手当受給者 1,494 人に対し 542 人で回収率 36.3%、障害年金等受給者 249 人に対し 173 人で回収率 69.5%であった。）

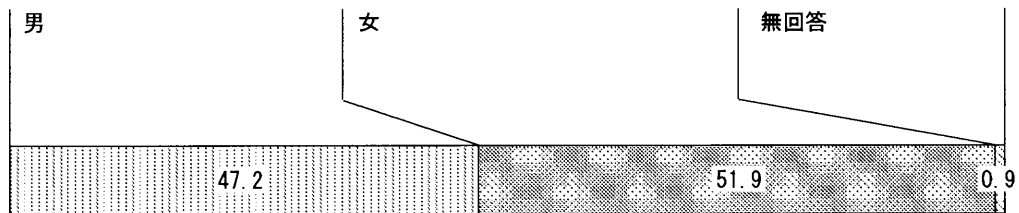
また、調査協力に応募した医薬品副作用被害救済制度創設以前の回答者は 29 人であり、調査にかかる合計の回答数は 744 人となった。

[調査結果の概要]

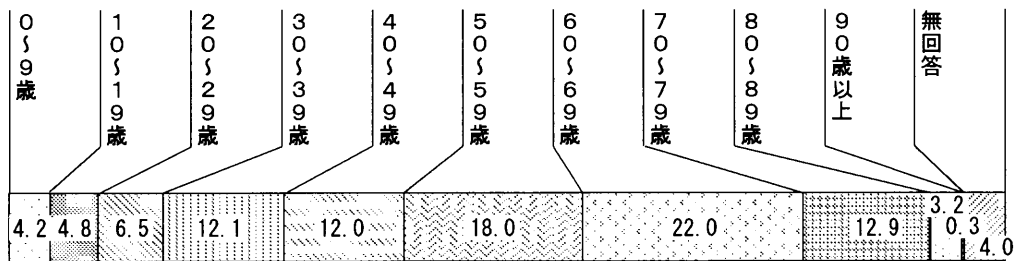
以下、本調査結果の概要で用いる「障害年金等」とは医薬品副作用被害救済制度における障害年金、障害児養育年金のことである。

■本人の基本情報 （回答者744人）

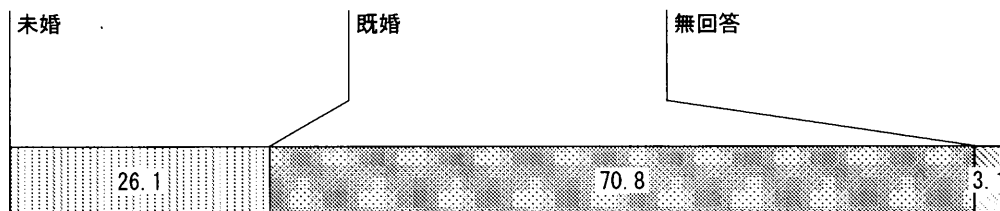
1－1 性別では、男性が351人で47.2%、女性が386人で51.9%、無回答が7人で0.9%となっている。



1－2 年齢別では、60歳代が164人で22.0%、次いで50歳代が134人で18.0%、70歳代が96人で12.9%などとなっている。



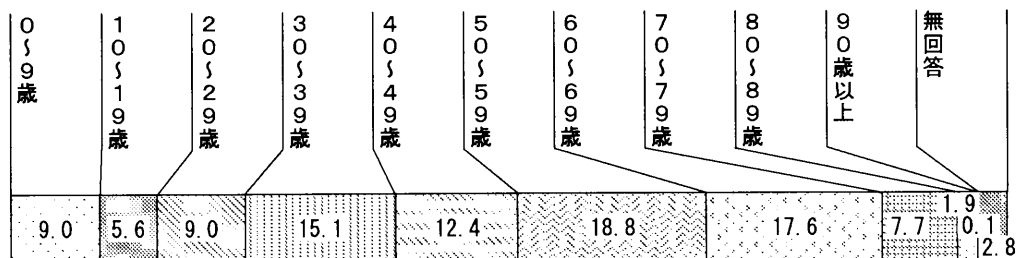
1－3 既婚者は527人で70.8%、未婚者は194人で26.1%、無回答が23人で3.1%となっている。



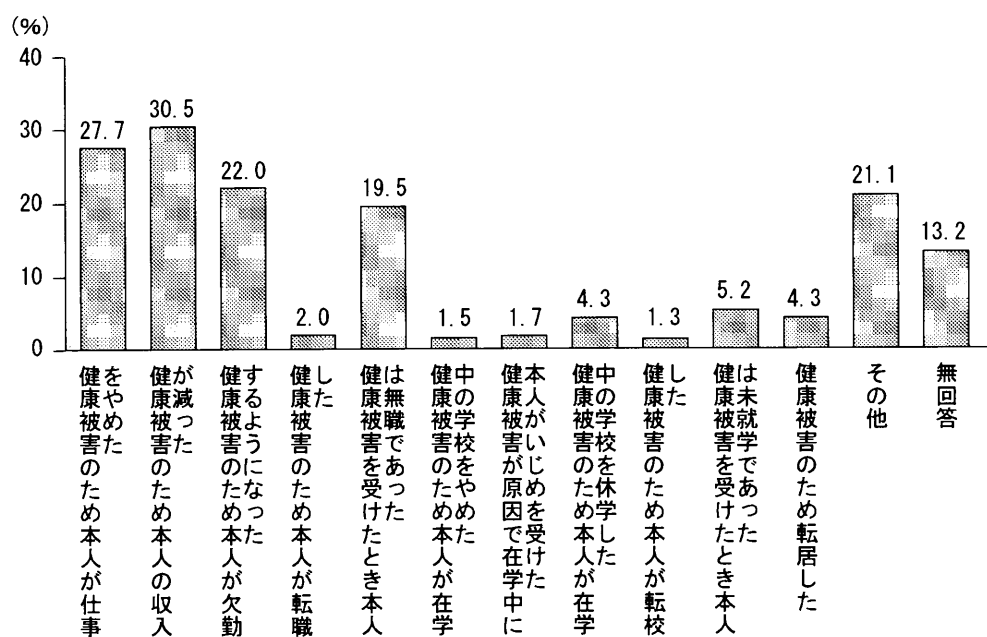
性別は、男女ともほぼ5割程度であり、男女比率に格差はみられない。
年齢別にみると、60歳以上の人約4割程度占めている。

■医薬品の副作用により健康被害が起きた当時の状況 (回答者 744 人)

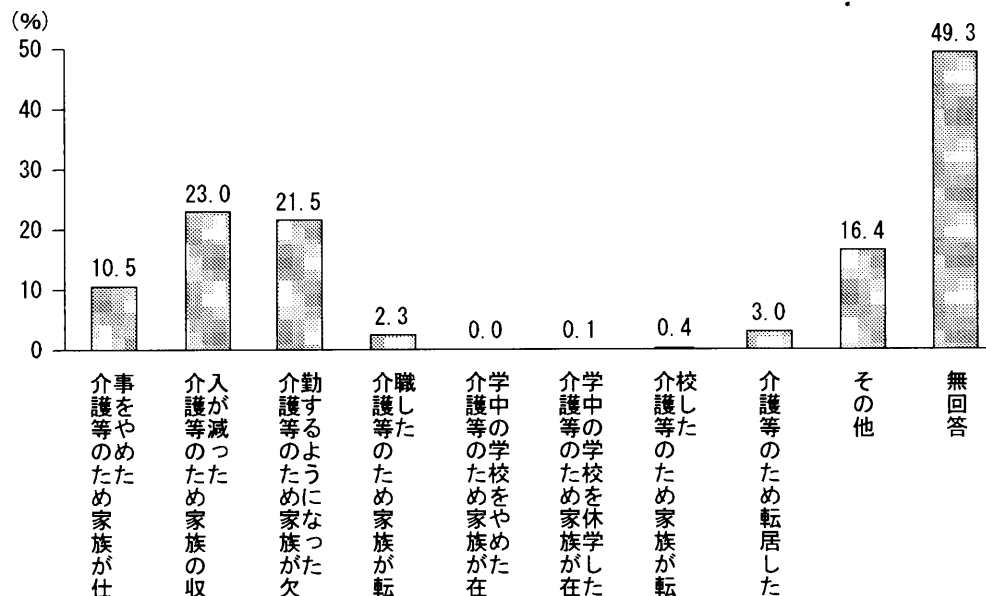
2-1 健康被害を受けたときの本人の年齢は、50 歳代が 140 人で 18.8%、次いで 60 歳代が 131 人で 17.6%、30 歳代が 112 人で 15.1%などとなっている。



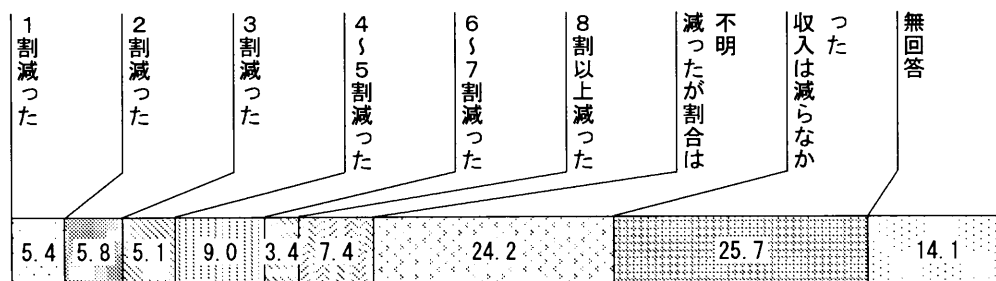
2-2 健康被害を受けたことによる本人の仕事、就学への影響については、収入が減ったと答えた人が 227 人で 30.5%、仕事をやめたと答えた人が 206 人で 27.7%であり、また、在学中の学校をやめたと答えた人が 11 人で 1.5%、休学したと答えた人が 32 人で 4.3%、無回答が 98 人で 13.2%などとなっている。(複数回答)



- 3 健康被害を受けたことによる家族への影響については、収入が減ったと答えた人が 171 人で 23.0%、欠勤や休暇を取るようになったと答えた人が 160 人で 21.5%、仕事をやめたと答えた人が 78 人で 10.5%、無回答が 367 人で 49.3%などとなっている。(複数回答)



- 4 健康被害を受けたことによる世帯全体の収入への影響については、収入が減らなかったと答えた人が 191 人で 25.7%、減ったが割合は不明と答えた人が 180 人で 24.2%、4 割から 5 割減ったと答えた人が 67 人で 9.0%、8 割以上減ったと答えた人が 55 人で 7.4%などとなっている。



健康被害を受けたときの本人の年齢が働き盛りの 30 代から 50 代の人約 5 割程度いることなどから、仕事への何らかの影響がみられる。

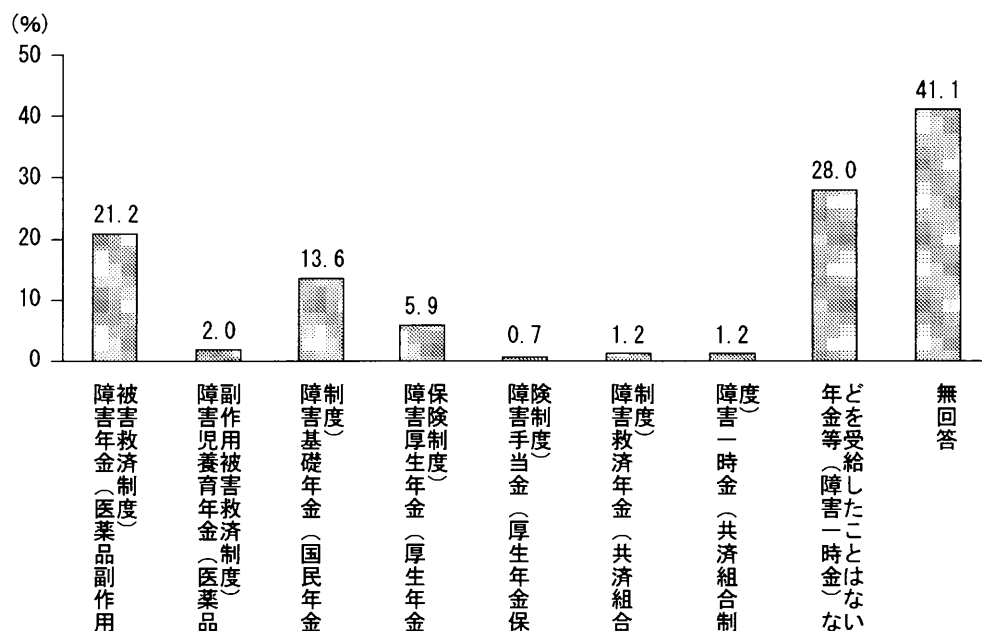
具体的には、健康被害のため本人が仕事をやめた、あるいは、本人の収入が減ったと答えた人がそれぞれ 3 割程度占めている。

一方、家族についても、介護等を行うために仕事をやめたことや欠勤等の理由により、家族全体として収入も減少したとする世帯が 6 割程度におよんでいる。

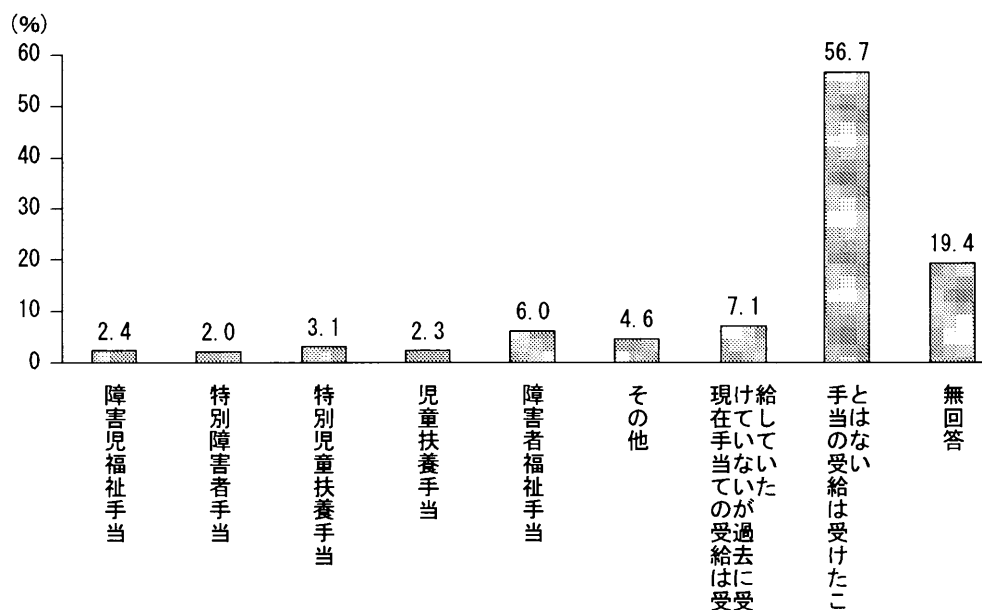
■社会福祉・社会保障制度受給等の状況 (回答者 744 人)

- 5－1 「身体障害者手帳」については、持っていると答えた人が 275 人で 37.0%、うち、1 級が 135 人で 49.1%、2 級が 66 人で 24.0%、3 級が 36 人で 13.1%などとなっている。また、持っていないと答えた人が 370 人で 49.7%、無回答が 99 人で 13.3%となっている。
- 5－2 「療育手帳」については、持っていると答えた人が 35 人で 4.7%、うち障害の程度 A が 17 人で 48.6%、B が 14 人で 40.0%などとなっている。また、持っていないと答えた人が 418 人で 56.2%、無回答が 291 人で 39.1%となっている。
- 5－3 「精神障害者保健福祉手帳」については、持っていると答えた人が 23 人で 3.1%、うち 1 級が 7 人で 30.4%、2 級が 10 人で 43.5%、3 級が 4 人で 17.4%などとなっている。また、持っていないと答えた人が 433 人で 58.2%、無回答が 288 人で 38.7%となっている。
- 6－1 救済制度の障害年金受給者と答えた人が 158 人で 21.2%、うち 1 級の人は 102 人で 64.6%、2 級の人は 53 人で 33.5%などとなっている。また、受給なしと答えた人が 586 人で 78.8%となっている。
- 6－2 救済制度の障害児養育年金受給者と答えた人が 15 人で 2.0%、うち 1 級が 11 人で 73.3%、2 級が 4 人で 26.7%となっている。また、受給なしと答えた人が 729 人で 98.0%となっている。
- 6－3 国民年金の障害基礎年金受給者と答えた人が 101 人で 13.6%、うち 1 級が 68 人で 67.3%、2 級が 31 人で 30.7%などとなっている。また、受給なしと答えた人が 643 人で 86.4%となっている。
- 6－4 厚生年金保険の障害厚生年金受給者と答えた人が 44 人で 5.9%、うち 1 級が 26 人で 59.1%、2 級が 13 人で 29.5%、3 級が 4 人で 9.1%などとなっている。また、受給なしと答えた人が 700 人で 94.1%となっている。
- 6－5 厚生年金保険の障害手当金受給者と答えた人が 5 人で 0.7%、受給なしと答えた人が 739 人で 99.3%となっている。
- 6－6 共済組合の障害共済年金受給者と答えた人が 9 人で 1.2%、うち 1 級が 5 人で 55.6%、2 級が 1 人で 11.1%、3 級が 2 人で 22.2%などとなっている。また、受給なしと答えた人が 735 人で 98.8%となっている。
- 6－7 共済組合の障害一時金受給者と答えた人が 9 人で 1.2%、受給なしと答えた人が 735 人で 98.8%となっている。

6－8 障害年金等の受給状況については、受給したことがないと答えた人が 208 人で 28.0%、救済制度の障害年金受給者と答えた人が 158 人で 21.2%、国民年金の障害基礎年金受給者と答えた人が 101 人で 13.6%、無回答が 306 人で 41.1%などとなっている。(複数回答)

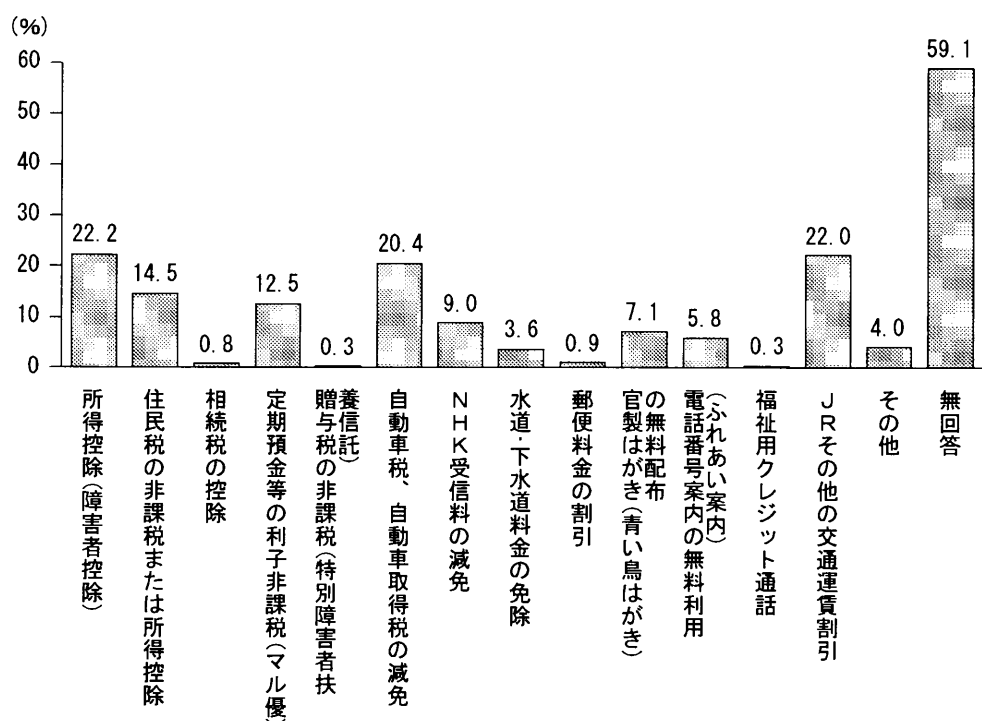


7－1 障害児福祉手当等の受給状況については、手当を受けたことがないと答えた人が 422 人で 56.7%、障害者福祉手当を受けていると答えた人が 45 人で 6.0%、特別児童扶養手当を受けていると答えた人が 23 人で 3.1%、障害児福祉手当を受けていると答えた人が 18 人で 2.4%、無回答が 144 人で 19.4%、現在手当は受けていないが過去に受給していたと答えた人が 53 人で 7.1%などとなっている。(複数回答)



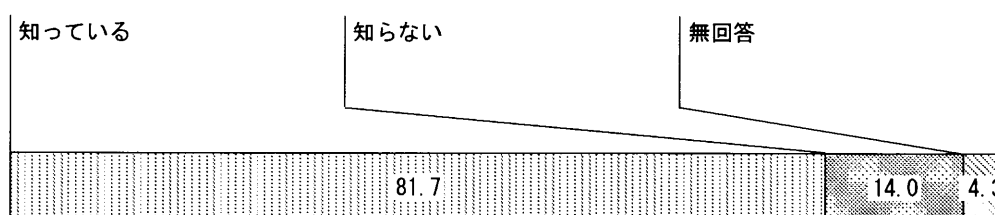
7-2 現在は手当を受給していないが過去に受給していたと答えた 53 人のうち過去に受給していた手当が児童扶養手当、障害者福祉手当と答えた人がそれぞれ 4 人で 7.5%、障害児福祉手当、特別児童扶養手当と答えた人が 3 人で 5.7%などとなっている。(複数回答)

8 利用したことのある税金等の軽減・優遇措置については、所得控除(障害者控除)と答えた人が 165 人で 22.2%、JRその他の交通運賃割引と答えた人が 164 人で 22.0%、自動車税、自動車取得税の減免と答えた人が 152 人で 20.4%、住民税の非課税又は所得控除と答えた人が 108 人で 14.5%、無回答が 440 人で 59.1%などとなっている。(複数回答)

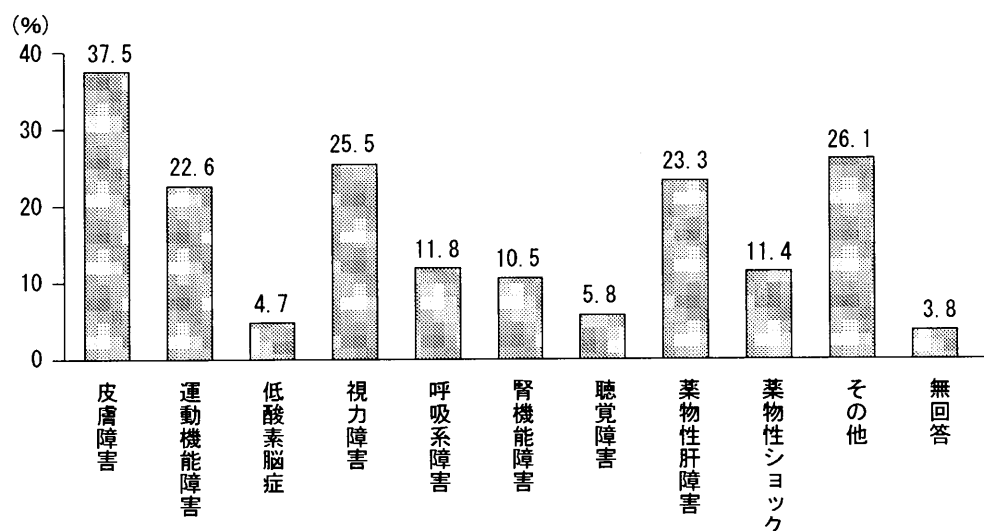


■健康被害を受けた方の健康状態、治療状況等 (回答者 744 人)

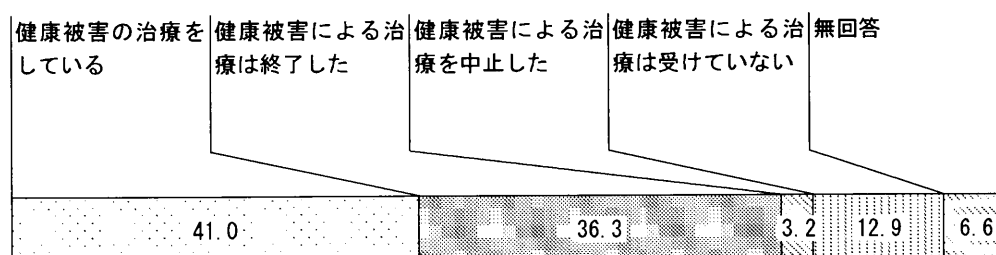
9 健康被害の原因となった医薬品の名称を知っている人は、608 人で 81.7%、知らない人は 104 人で 14.0%、無回答が 32 人で 4.3%となっている。



10 健康被害の内容は、皮膚障害が 279 人で 37.5%、視力障害が 190 人で 25.5%、薬物性肝障害が 173 人で 23.3%、運動機能障害が 168 人で 22.6%、呼吸器系障害が 88 人で 11.8%、薬物性ショックが 85 人で 11.4%などとなっている。(複数回答)



11 副作用による健康被害(後遺症も含む)の治療については、現在も治療をしている人が 305 人で 41.0%、治療を終了した人が 270 人で 36.3%、無回答が 49 人で 6.6%などとなっている。



12-1 過去1年間の病気治療の状況については、通院していると答えた人が 450 人で 60.5%、入院したことがあると答えた人が 281 人で 37.8%、医療機関にかかっていないと答えた人が 109 人で 14.7%、無回答が 114 人で 15.3%となっている。(複数回答)

12-2 「過去1年間の入院日数」は、入院したと答えた 281 人のうち入院日数 1 日から 15 日までの人が 52 人で 18.5%、181 日以上が 35 人で 12.5%、16 日から 30 日が 34 人で 12.1%などとなっている。一方、入院していない人は 117 人で 41.6%となっている。

12-3 「1 月あたりの通院回数」は、通院していると答えた 450 人のうち月 1 回の人 291 人で 64.7%、2 回の人 89 人で 19.8%、3 回～5 回が 30 人で 6.7%などとなっている。

12-4 「1月あたりの通院にかかる交通費」は、回答のあった344人のうち、1円から1,500円の人が127人で36.9%、1,501円から3,000円の人65人で18.9%などとなっており、月当たりの平均は5,570円となっている。

12-5 「1月あたりの保険医療費の自己負担額」は、回答のあった人372人のうち、1円から2,500円が105人で28.2%、2,501円から5,000円が80人で21.5%などとなっており、月当たりの平均は12,060円となっている。

12-6 「1月あたりの保険外治療費」は、回答のあった人214人のうち、保険外治療費のかかっていない人が83人で38.8%、2,501円から5,000円が44人で20.6%、1円から2,500円が40人で18.7%などとなっており、月当たりの平均は6,272円となっている。

12-7 「1月あたりの保険外治療雑費」は、回答のあった202人のうち、費用のかかっていない人が77人で38.1%、1円から2,500円が34人で16.8%、2,501円から5,000円が28人で13.9%などとなっており、月当たりの平均は12,276円となっている。

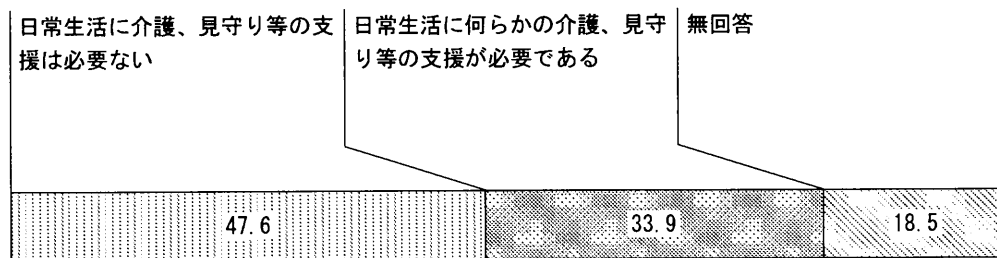
現在も健康被害（後遺症も含む）の治療している人が4割程度みられる。

治療状況について過去1年間に入院、通院した人が支払った費用は、通院のための交通費が月平均5,570円、医療費の自己負担額が月平均12,060円、保険外治療費が月平均6,272円、保険外治療雑費が月平均12,276円となっており、単純計算では月額平均約36,000円の出費となっている。

13 医薬品副作用被害救済制度施行（昭和55年5月1日）前に健康被害を受けた人は29人であった。このうち、健康被害を受けた時期は、昭和元年～昭和29年が4人で13.8%、昭和30年～39年が9人で31.0%、昭和40年～49年が9人で31.0%、昭和50年～55年5月が6人で20.7%、無回答が1人で3.4%となっている。

■健康被害を受けた方の日常生活 （回答者 744 人）

- 14-1 日常生活については、介護、身守りなどの支援が必要だと答えた人が 252 人で 33.9%、必要がないと答えた人が 354 人で 47.6%、無回答が 138 人で 18.5%となっている。



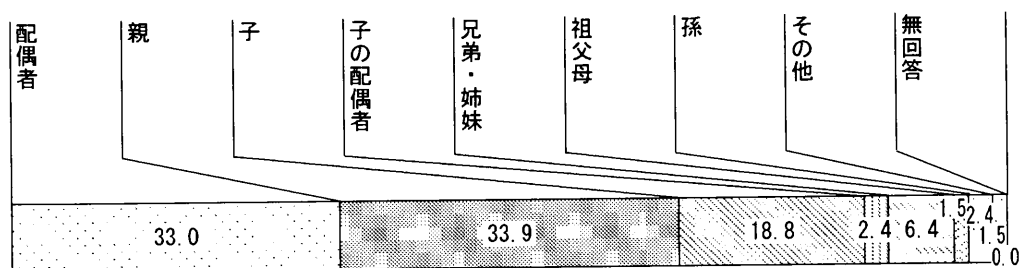
- 14-2 支援が必要と答えた 252 人のうち「食事」については、自分で食べることができる人が 119 人で 47.2%、介助が必要な人が 78 人で 31.0%、注入している人が 26 人で 10.3%などとなっている。（複数回答）
- 14-3 支援が必要と答えた 252 人のうち「排泄」については、すべて自分でできる人が 92 人で 36.5%、全面的に介助が必要な人が 61 人で 24.2%、必要な時に本人が介助を依頼する人が 44 人で 17.5%などとなっている。（複数回答）
- 14-4 支援が必要と答えた 252 人のうち「入浴」については、介護が必要な人が 95 人で 37.7%、1人でできる人が 61 人で 24.2%、支度してもらう必要のある人が 54 人で 21.4%などとなっている。（複数回答）
- 14-5 支援が必要と答えた 252 人のうち「衣服の着脱」については、自分でできる人が 113 人で 44.8%、介助が必要な人が 102 人で 40.5%などとなっている。（複数回答）
- 14-6 支援が必要と答えた 252 人のうち「意志疎通」については、言葉がわかる人が 148 人で 58.7%、言葉のわからない人が 44 人で 17.5%などとなっている。（複数回答）
- 14-7 介護上の問題については、特に問題はない人が 88 人で 34.9%、てんかん発作がある人が 28 人で 11.1%、大声を出す人が 19 人で 7.5%などとなっている。（複数回答）

健康被害を受けた人の日常生活への影響については、全体として介護、見守りなどの支援が必要な人が 3 割以上いる。

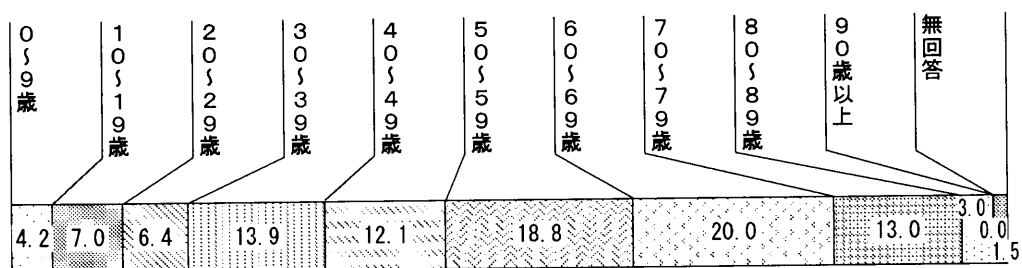
「食事」「排泄」「入浴」「衣類の着脱」等については、多少ばらつきはあるがなんらかの介助が必要であることが伺える。

▲家族の介護支援の状況（複数回答）

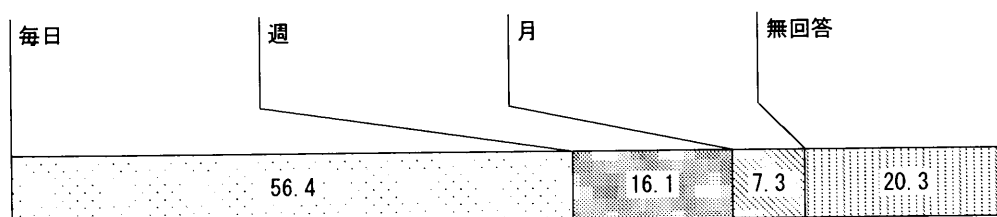
15-1 介護をしている家族330人のうち健康被害者の親が112人で33.9%、配偶者が109人で33.0%、こどもが62人で18.8%などとなっている。



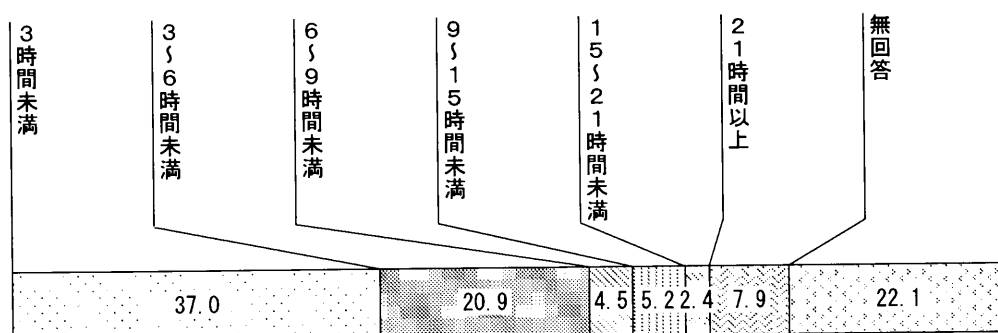
15-2 介護をしている家族330人の年齢構成は、60歳代が66人で20.0%、50歳代が62人で18.8%、30歳代が46人で13.9%などとなっている。（複数回答）



15-3 介護をしている家族330人のうち毎日介護している人が186人で56.4%、週単位で介護している人が53人で16.1%、月単位で介護している人が24人で7.3%などとなっている。



15-4 介護をしている家族330人のうち1日分の介護時間が3時間未満の人が122人で37.0%、3時間から6時間未満の人が69人で20.9%などとなっている。

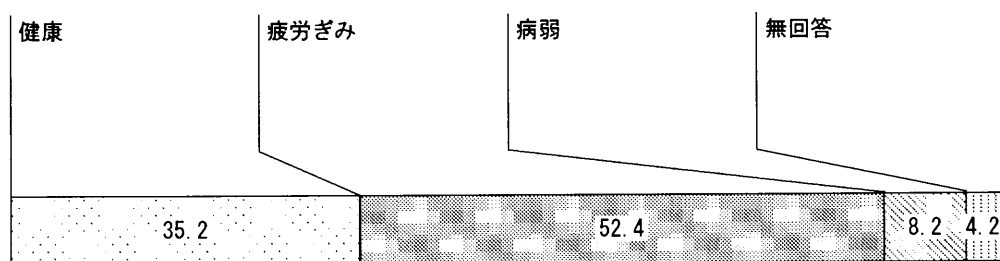


15－5 毎日介護していると答えた 186 人については、毎日の介護時間が 3 時間未満の人が 46 人で 24.7%、3 時間から 6 時間未満の人が 43 人で 23.1%などとなっている。

15－6 介護回数を週単位で介護していると答えた 53 人については、週 2 回が 17 人で 32.1%、週 1 回が 10 人で 18.9%、週 3 回が 9 人で 17.0%などとなっている。

15－7 介護回数を月単位で介護していると答えた 24 人については、月 1 回 8 人で 33.3%、2 回が 5 人で 20.8%などとなっている。

15－8 介護をしている家族 330 人の健康状態については、疲労ぎみと答えた人が 173 人で 52.4%、健康であると答えた人が 116 人で 35.2%などとなっている。

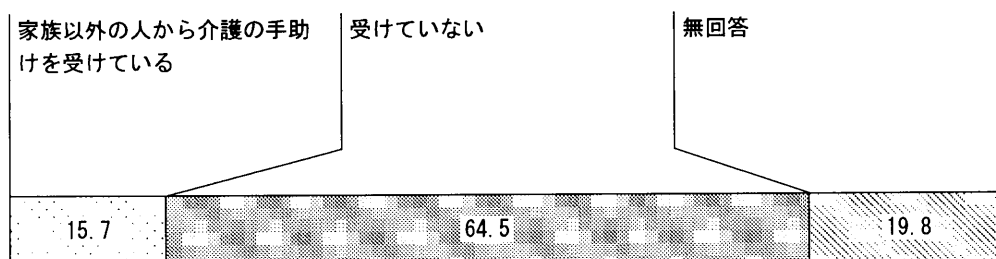


現在、家庭で介護を行っているのは、健康被害者本人の親、配偶者、子供で 8 割以上を占めていることから、家族内介護が常態となっていることが伺える。

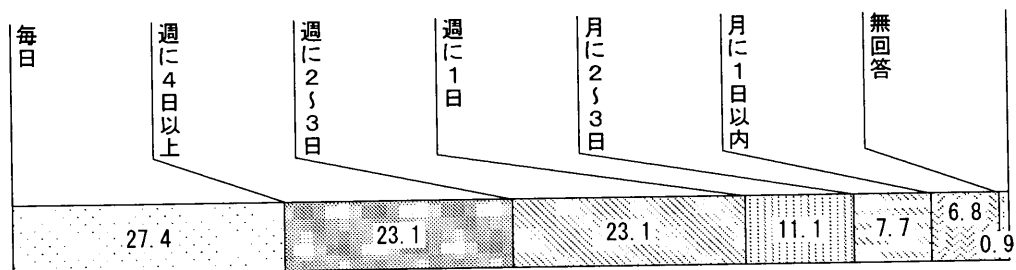
また、介護者の年齢も 60 歳以上の人 が 3 割以上におよんでおり、更に介護者の半数以上が疲労ぎみと答えていることから介護者の健康への負担が大きいことが伺える。

▲家族以外の介護支援の状況（複数回答）

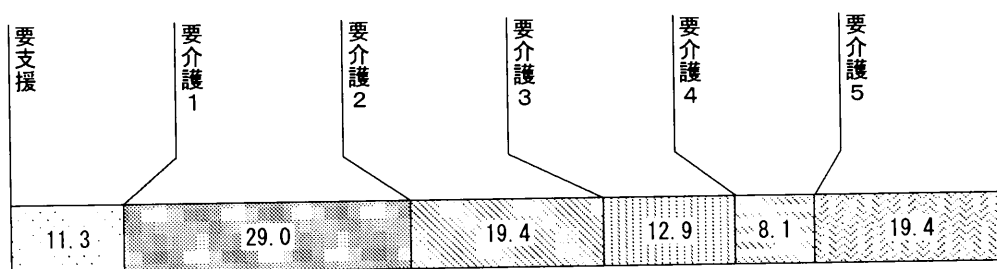
16－1 家族以外の人から介護支援については、受けている人が 117 人で 15.7%、受けていない人が 480 人で 64.5%、無回答が 147 人で 19.8%となっている。



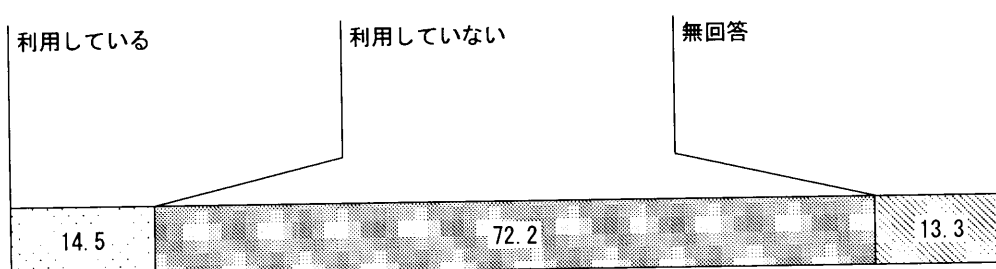
16-2 家族以外の人から介護支援を受けている 117 人のうち介護支援の頻度として、毎日が 32 人で 27.4%、週に 4 日以上、週に 2 日から 3 日までがそれぞれ 27 人で 23.1%などとなっている。



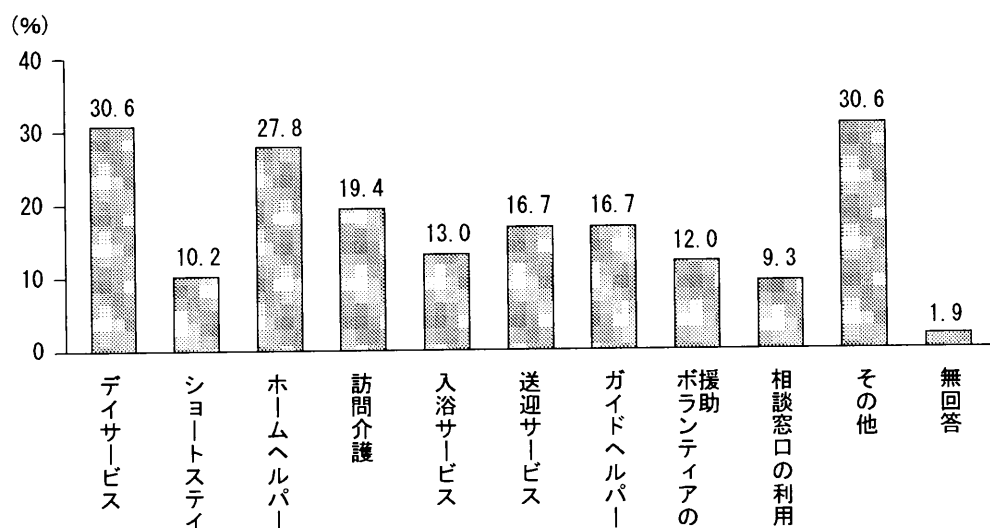
17 介護認定を受けている 62 人のうち要介護 1 が 18 人で 29.0%、要介護 5 が 12 人で 19.4%、要介護 2 が 12 人で 19.4%などとなっている。



18-1 福祉サービス利用の有無については、利用していない人が 537 人で 72.2%、利用している人が 108 人で 14.5%、無回答が 99 人で 13.3%となっている。

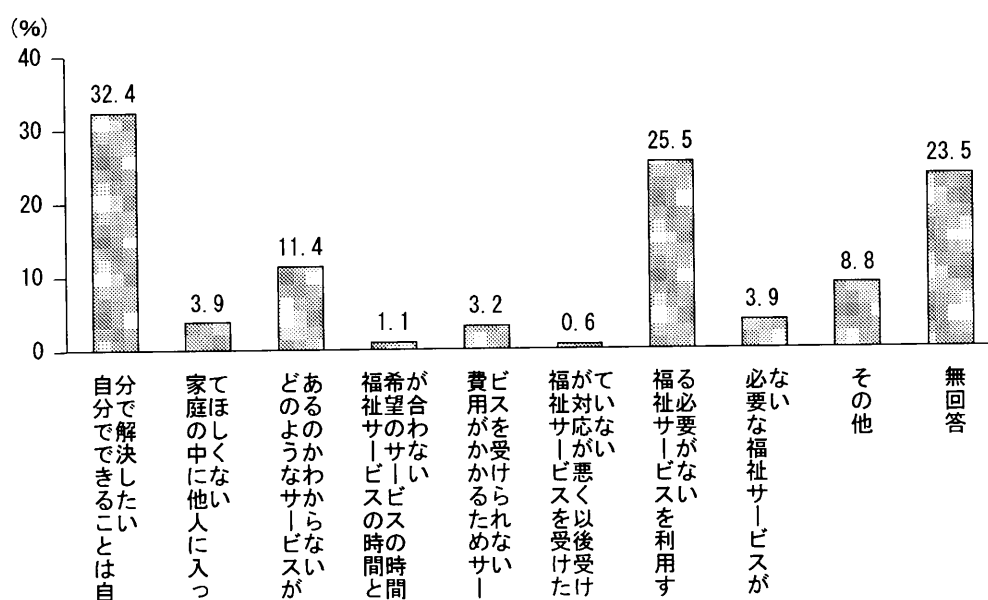


18-2 福祉サービスを利用していると答えた 108 人の利用しているサービスについては、デイサービスが 33 人で 30.6%、ホームヘルパーが 30 人で 27.8%、訪問介護が 21 人で 19.4%、送迎サービス、ガイドヘルパーがそれぞれ 18 人で 16.7%、入浴サービスが 14 人で 13.0% などとなっている。(複数回答)



19 福祉サービスを利用していると答えた 108 人の福祉サービスの自己負担額（月額）については、1 円から 1 万円未満が 34 人で 31.5%、無料が 21 人で 19.4%、1 万円から 2 万円が 15 人で 13.9%などとなっている。

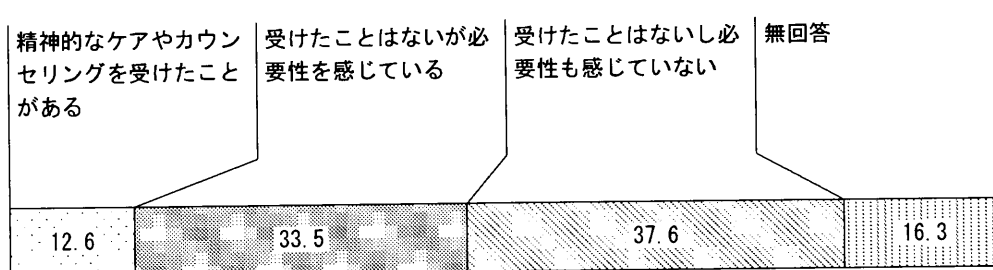
20 福祉サービスを利用したことがないと答えた 537 人のその理由については、自分でできることは自分で解決したいが 174 人で 32.4%、福祉サービスを利用する必要がないが 137 人で 25.5%、どのようなサービスがあるかわからないが 61 人で 11.4%などとなっている。(複数回答)



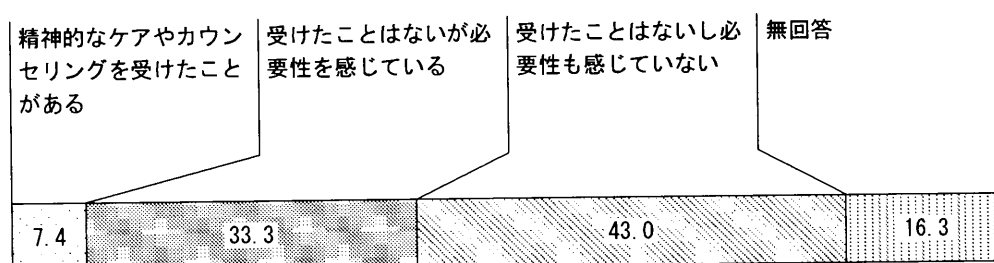
21 質問 20 において「必要な福祉サービスがない」と答えた方の必要なサービスの主な内容
(自由記載：全 19 件)

- ①精神的ケア 3 件 ②移動のサービス 2 件 ③本人または家族の食事の世話 2 件
④代筆 2 件 ⑤相談・助言 1 件 ⑥医療的ケアのできる介護者の派遣 1 件
⑦介護者の養成 1 件 ⑧買い物代行 1 件などとなっている。

22 健康被害を受けたことで本人が精神的なケアやカウンセリングを受けたことがあるかどうかについては、受けたことがあるが 94 人で 12.6%、受けたことはないが必要性を感じているが 249 人で 33.5%、受けたこともないし必要性も感じていないが 280 人 37.6%、無回答が 121 人で 16.3%となっている。



23 健康被害を受けたことで家族が精神的なケアやカウンセリングを受けたことがあるかどうかについては、受けたことがあるが 55 人で 7.4%、受けたことはないが必要性を感じているが 248 人で 33.3%、受けたことはないし必要性も感じていないが 320 人 43.0%、無回答が 121 人で 16.3%となっている。

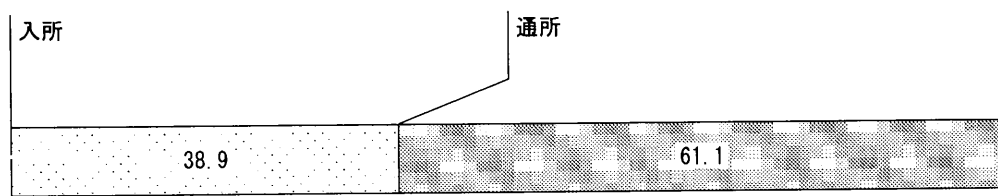


福祉サービスを利用していない理由としては、自分でできることは自分で解決したいとする人のほか、利用する必要がないと答えた人が多数であるが、一方、少数回答ではあるが、どのようなサービスがあるのかわからないとする人もみられた。

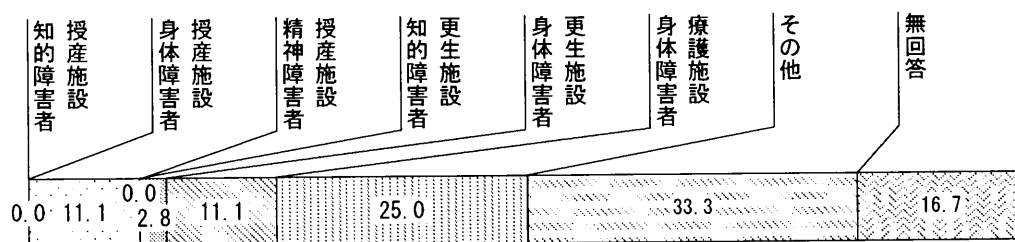
また、健康被害を受けた本人では、精神的なケアやカウンセリングを受けたことがある人、受けたことはないが必要性を感じている人を合わせると 5 割近くなる。

■健康被害を受けた方の入所・通所施設の利用及び就学状況等 (回答者 744 人)

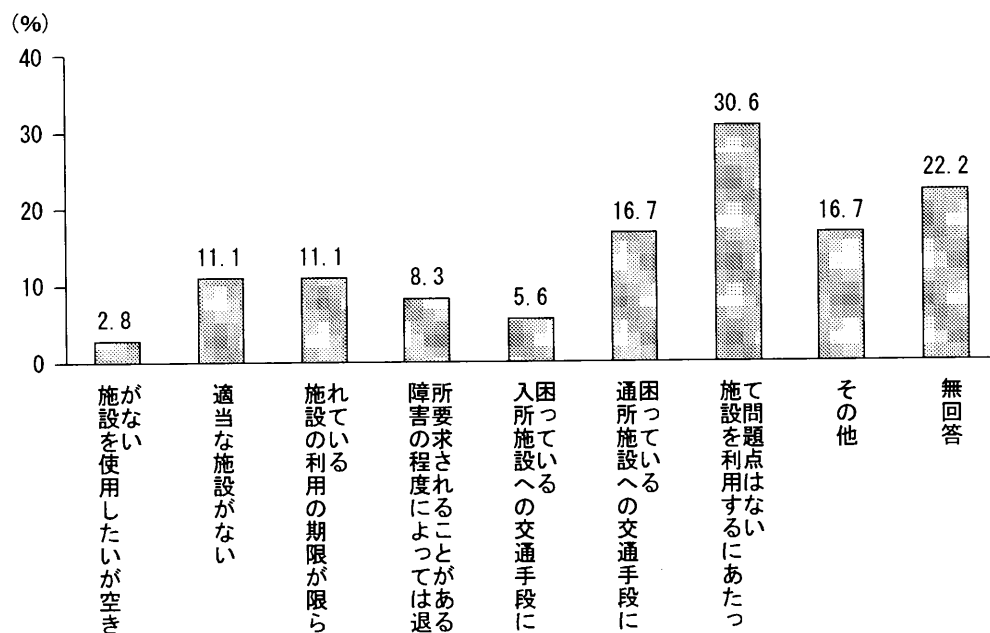
24-1 現在入所・通所施設を利用していると答えた人が回答者 744 人のうち 36 人で 4.8% となっている。そのうち入所が 14 人で 38.9%、通所が 22 人で 61.1%となっている。



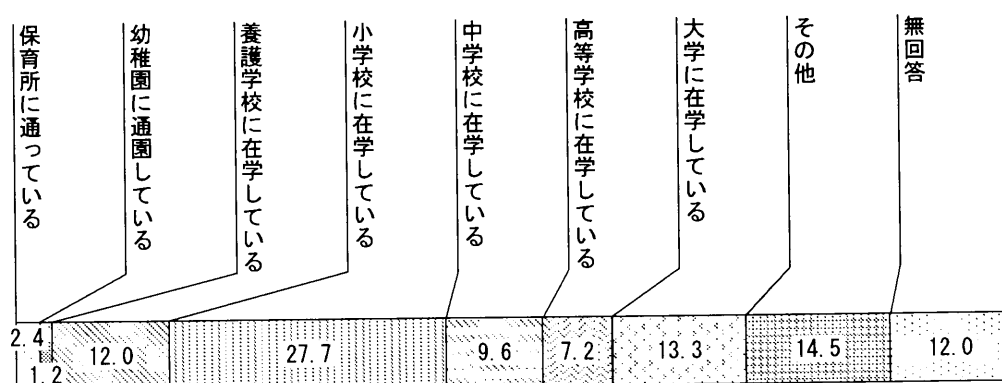
24-2 現在入所・通所施設を利用していると答えた 36 人の利用している施設の種類のついては、身体障害者療護施設が 9 人で 25.0%、身体障害者授産施設、身体障害者更生施設がそれぞれ 4 人で 11.1%などとなっている。



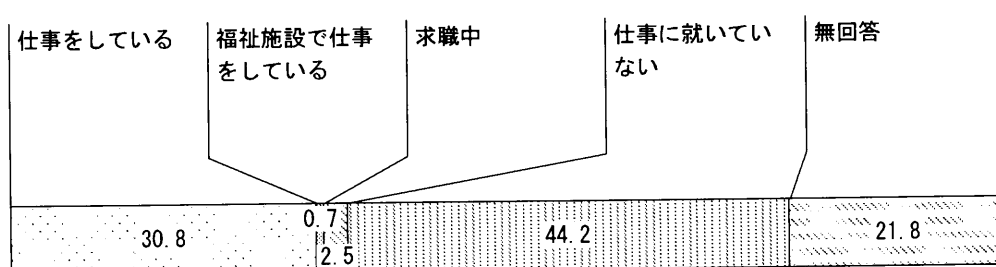
25 入所・通所施設を利用していると答えた 36 人の利用するにあたっての問題点は通所施設への交通手段に困っているが 6 人で 16.7%、適当な施設がない、施設利用の期限が限られているがそれぞれ 4 人で 11.1%などとなっている。また、問題点がないと答えた人は 11 人で 30.6%であった。(複数回答)



26 健康被害を受けた人の就学状況については、答えた 83 人のうち、小学校在学が 23 人で 27.7%、大学在学が 11 人で 13.3%、養護学校が 10 人で 12.0%などとなっている。



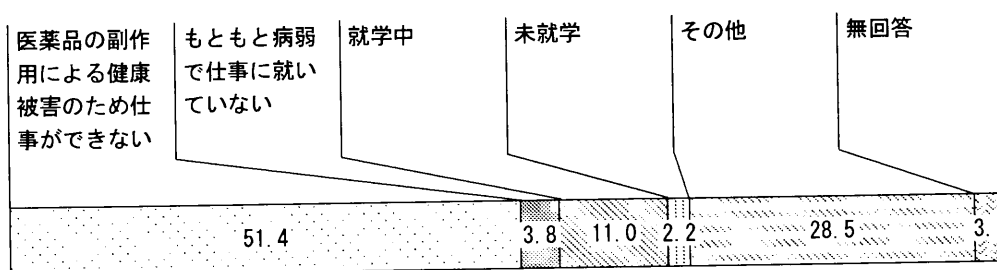
27-1 健康被害を受けた方の就労状況について答えた 721 人のうち、仕事をしている人が 222 人で 30.8%であり、就労先は一般企業が 104 人で 46.8%、自営業が 45 人で 20.3%などとなっている。



27-2 健康被害を受けた方の就労状況について答えた 721 人のうち、福祉施設で仕事をしている人は 5 人で 0.7%であり、内訳は作業所、授産施設、無回答が各 1 人、その他が 2 人となっている。

27-3 健康被害を受けた方の就労状況について答えた 721 人のうち、求職中の人は、18 人で 2.5%であり、求職先はハローワークが 12 人で 66.7%、知人に相談が 6 人で 33.3%などとなっている。

27-4 健康被害を受けた方の就労状況について答えた 721 人のうち仕事についてない人が 319 人で 44.2%、その理由については、健康被害のため仕事が出来ない人が 164 人で 51.4%、就学中の人が 35 人で 11.0%などとなっている。

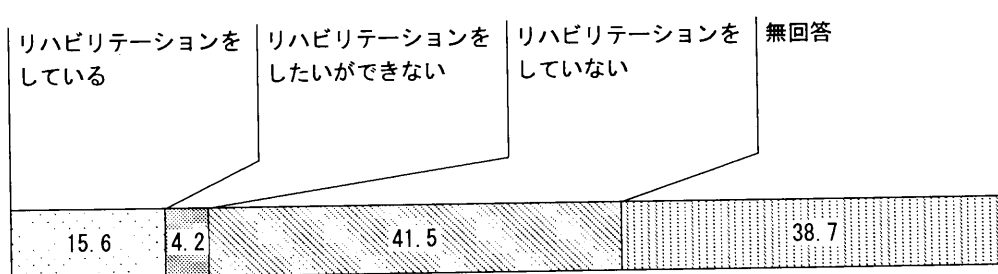


入所・通所施設を利用している人は、回答者 744 人のうち 5%程度の利用状況であった。

利用に当たっての問題点としては、適当な施設がない、施設への交通手段に困っているなどがあつた。

■健康被害を受けた方のリハビリテーション関係 (回答者 744 人)

28 リハビリテーションについては、実施していないが 309 人で 41.5%、実施しているが 116 人で 15.6%であり、リハビリテーションを実施している人の訓練形態は、専門家の指導が 80 人で 69.0%、独学が 32 人で 27.6%、無回答が 4 人で 3.4%となっている。



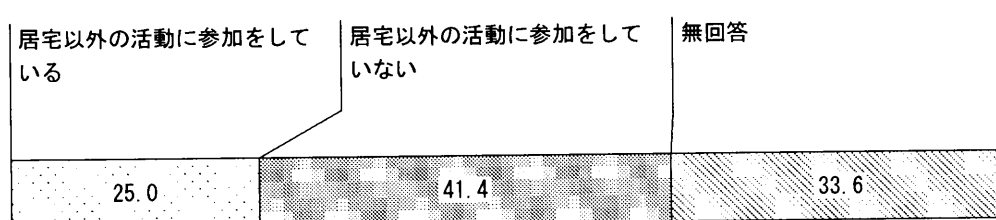
29 質問 28 において「リハビリテーションをしている」と答えた方で実施している主な内容 (自由記載：全 103 件)

- ①運動機能訓練 29 件 ②歩行訓練 17 件 ③日常生活における基本動作 13 件
- ④筋力トレーニング 8 件 ⑤マッサージ 8 件 ⑥関節の運動 8 件
- ⑦散歩 7 件 ⑧呼吸法 5 件 ⑨言語 4 件
- ⑩ヨガ・ストレッチ 4 件となっている。

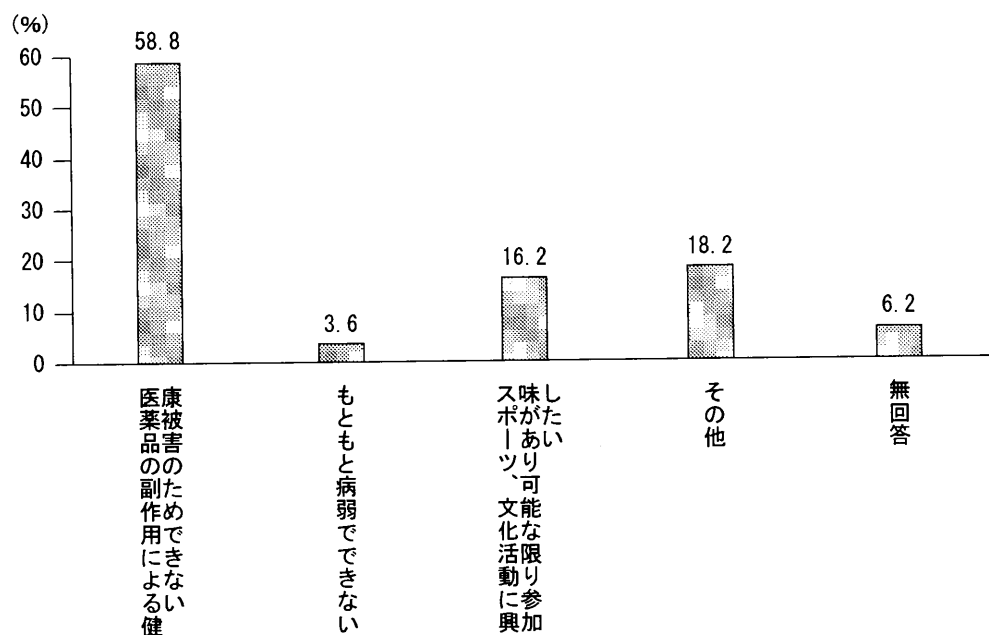
30 質問 28 において「リハビリテーションをしたいができない」と答えた方で主な理由
(自由記載：全 30 件)

- ①健康上の理由等で施設に通えない 13 件 ②適当な受け入れ施設がない 5 件
③遠くて通えない 4 件 ④痛みを伴うため 3 件
⑤お金がかかる 1 件などとなっている。

31-1 居宅以外での活動については、居宅以外の活動に参加している人が 186 人で 25.0%、うち活動内容はスポーツが 85 人で 45.7%、文化活動が 76 人で 40.9%、ボランティアが 39 人で 21.0%などとなっている。また、居宅以外の活動に参加していない人は 308 人で 41.4%であった。



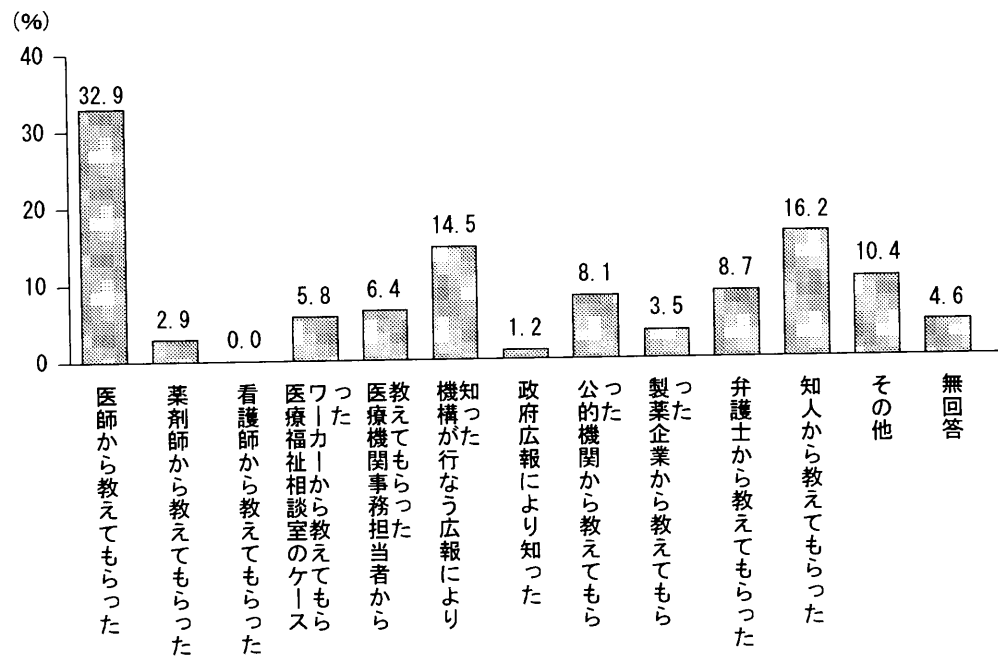
31-2 居宅以外での活動に参加をしてない 308 人の理由は、健康被害のため出来ない人が 181 人で 58.8%、興味があり可能限り参加したい人が 50 人で 16.2%、もともと病弱でできないが 11 人で 3.6%などとなっている。



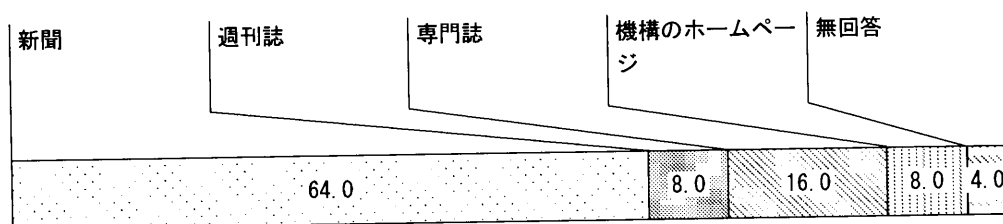
リハビリテーションの関係については、リハビリテーションをしたいができないと答えた人が 4%程度であるが、その主な理由としては、健康上の理由等で施設に通えない、適当な受け入れ施設がないなどがあげられている。

■医薬品副作用被害救済給付受給者の方のみに対する質問 (回答者 173 人)

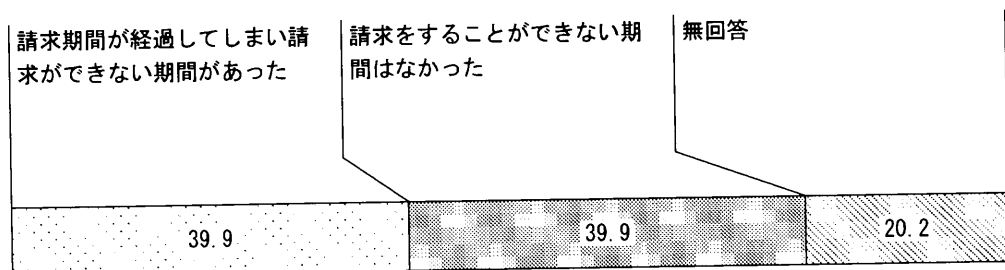
32-1 医薬品副作用被害救済制度をどこで知ったかについて回答者 715 人のうち回答があった 173 人については、医師からが 57 人で 32.9%、知人からが 28 人で 16.2%、医薬品医療機器総合機構が行う広報からが 25 人で 14.5%などとなっている。(複数回答)



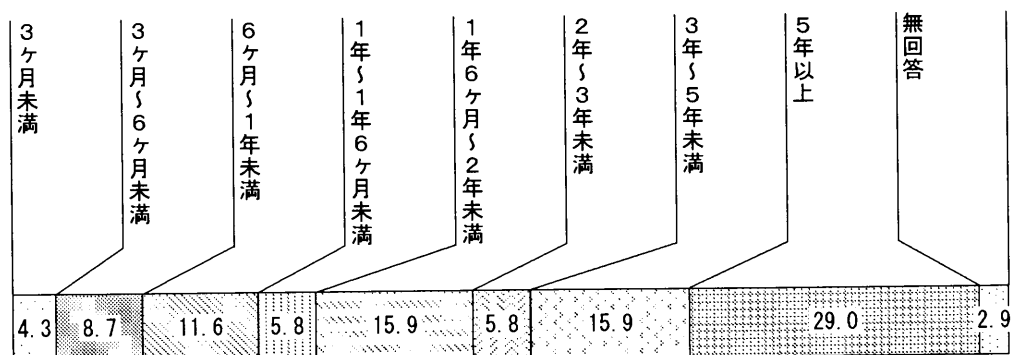
32-2 医薬品医療機器総合機構が行う広報により制度を知った 25 人についての広報媒体としては、新聞が 16 人で 64.0%、専門誌が 4 人で 16.0%などとなっている。



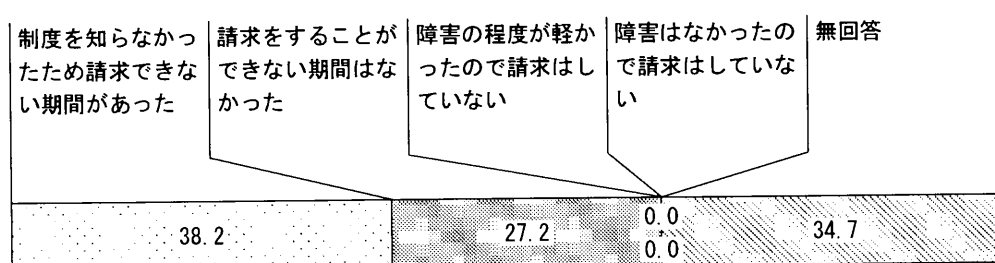
33 医薬品副作用被害救済給付受給者 173 人のうち、医療費等の請求ができなかった期間があったかどうかについては、有り、無しがそれぞれ 69 人で 39.9%、無回答が 35 人で 20.2%となっている。



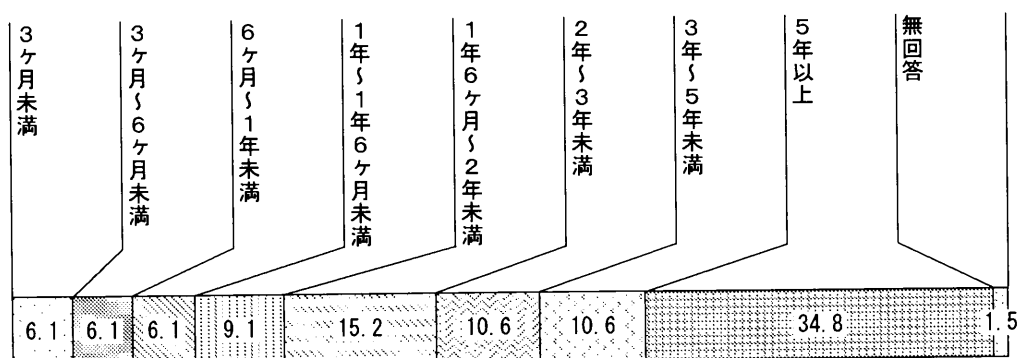
- 34 医療費等の請求ができない期間があった 69 人のうち、請求できなかった期間は 5 年以上が 20 人で 29.0%、1 年 6 ヶ月～2 年未満、3 年～5 年未満がそれぞれ 11 人で 15.9%、6 ヶ月～1 年未満が 8 人で 11.6%などとなっている。



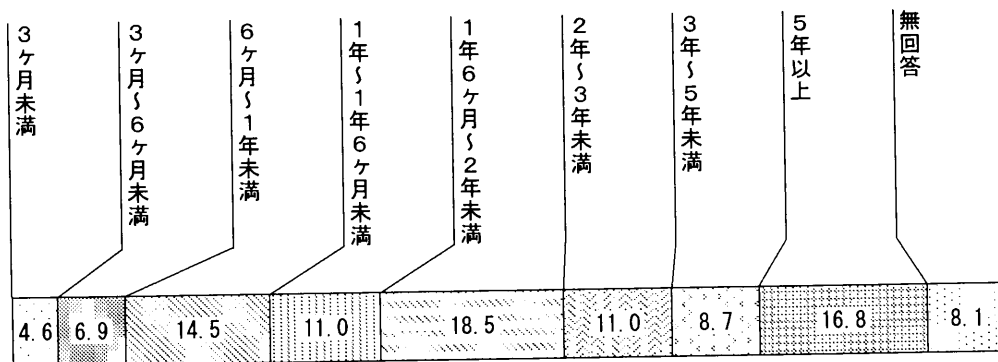
- 35 医薬品副作用被害救済給付受給者 173 人のうち、障害年金等の請求ができなかった期間があったかどうかについては、有りが 66 人で 38.2%、無しが 47 人で 27.2%、無回答が 60 人で 34.7%となっている。



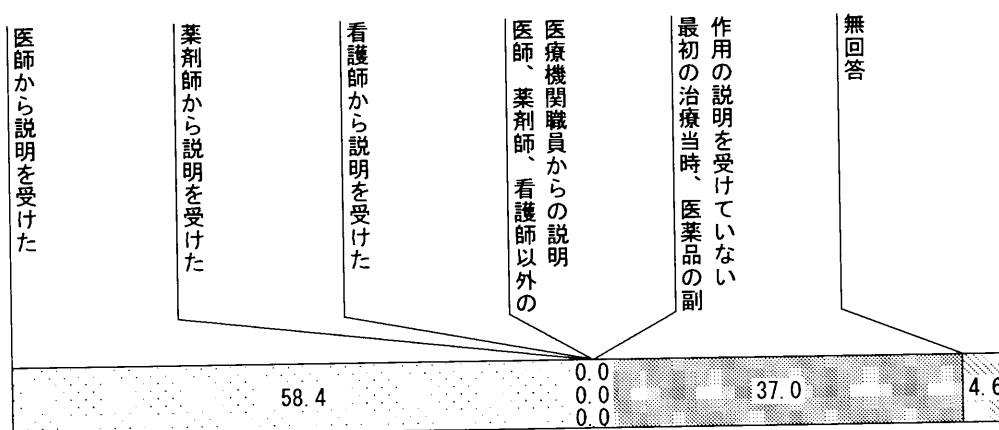
- 36 障害年金等の請求ができなかった期間があった 66 人のうち、請求できなかった期間は 5 年以上が 23 人で 34.8%、1 年 6 ヶ月～2 年未満が 10 人で 15.2%、2 年～3 年未満、3 年～5 年未満がそれぞれ 7 人で 10.6%などとなっている。



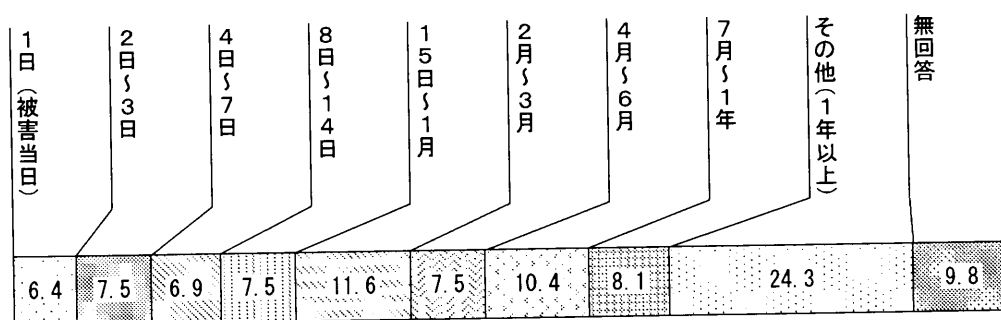
- 37 医薬品副作用被害救済給付受給者 173 人のうち、健康被害が起きてから救済給付の請求をするまでの期間は、1 年 6 ヶ月～2 年未満が 32 人で 18.5%、5 年以上が 29 人で 16.8%、6 ヶ月～1 年未満が 25 人で 14.5%などとなっている。



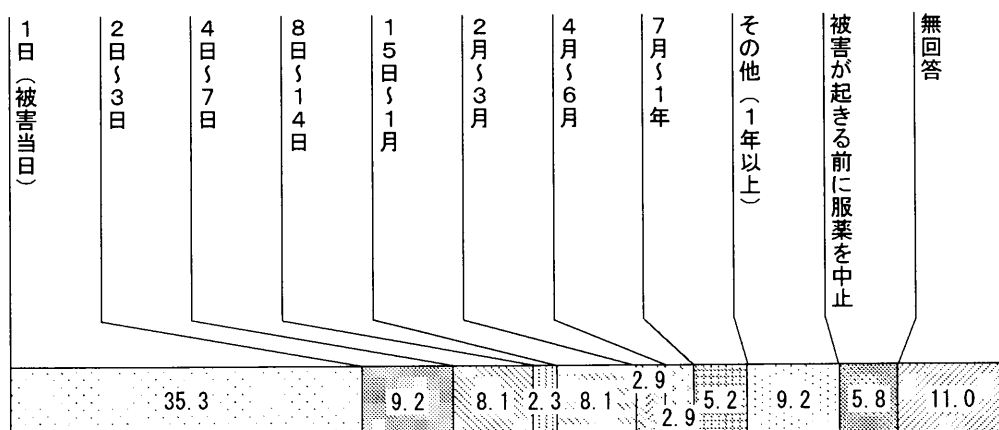
- 38 健康被害の治療を最初に受けたとき医薬品の副作用が原因であることについて説明を受けたかどうかについては、医師から説明を受けた人が 101 人で 58.4%、説明を受けていない人が 64 人で 37.0%、無回答が 8 人で 4.6%となっている。



- 39 健康被害がおきてから医薬品の副作用であるという診断が付くまでの期間は、1 年以上が 42 人で 24.3%、15 日～1 ヶ月が 20 人で 11.6%、4 ヶ月～6 ヶ月が 18 人で 10.4%などとなっている。



- 40 健康被害がおきてから原因医薬品の服用期間については、1 日（被害当日）が 61 人で 35.3%、2 日～3 日、その他がそれぞれ 16 人で 9.2%などとなっている。



医薬品副作用被害救済制度をどこで知ったかについては、3 割の人が医師から、さらに医療機関の関係者を含むと 5 割近くであった。

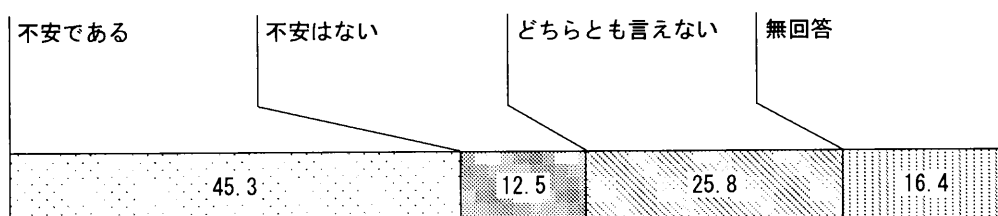
救済制度の医療費、医療手当の請求期間が経過してしまい請求ができなかったと回答した人が 173 人中 4 割程度占めている。

障害年金等についても制度を知らなかったため請求できなかったと回答した人が 173 人中 4 割程度占めている。

健康被害の治療を最初に受けたときに、服用していた医薬品の副作用が原因であることについて説明を受けていない人が 4 割程度占めていた。

■今後の生活 （回答者 744 人）

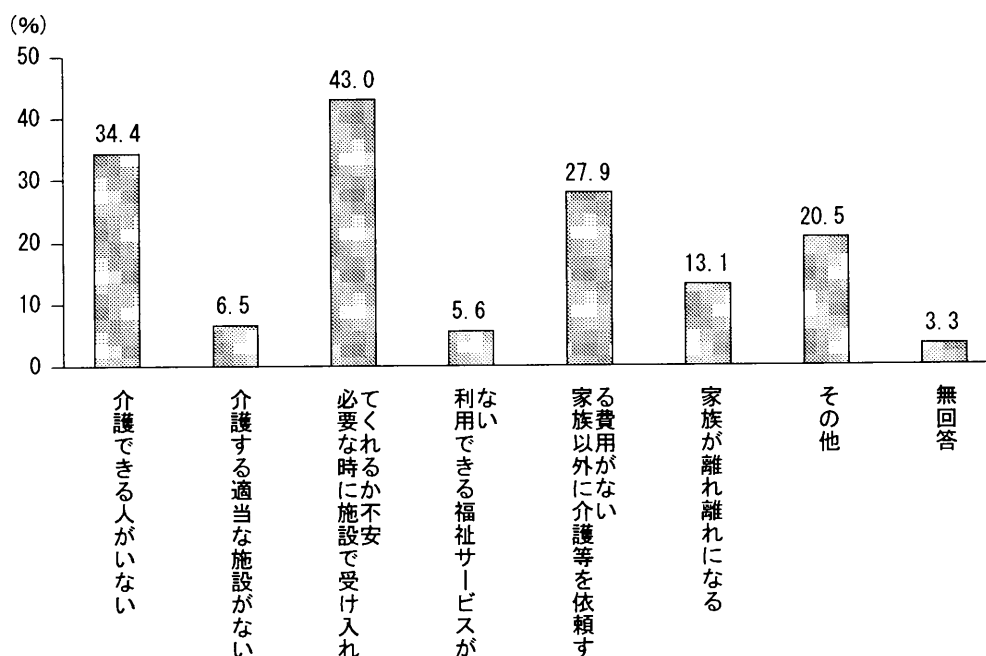
- 41 将来の介護等についてどう感じているかは、不安と答えた人が 337 人で 45.3%、不安ではないと答えた人が 93 人で 12.5%、どちらとも言えないと答えた人が 192 人で 25.8%、無回答が 122 人で 16.4%となっている。



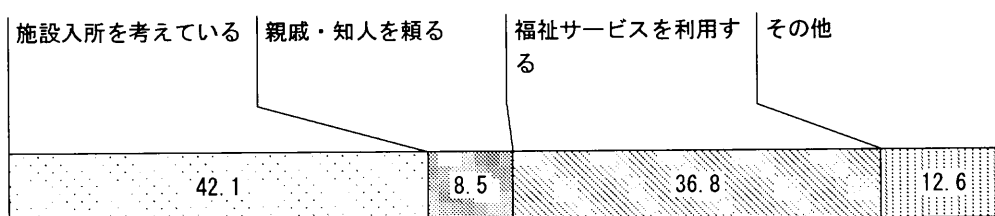
42 質問 41 において将来の介護等に不安であると答えた 337 人の理由としては、必要なときに施設で受け入れてくれるか不安が 145 人で 43.0%、介護できる人がいないが 116 人で 34.4%、家族以外に介護等を依頼する費用がないとする人が 94 人で 27.9%などとなっている。（複数回答）

○不安と答えた人が「その他」の項目に記載した主な理由（自由記載：全 60 件）

- ①主たる介護者の高齢化等 18 件 ②被介護者の健康 13 件
 ③経済的不安・仕事の不安 10 件 ④入院施設の受け入れ期限等 5 件
 ⑤制度に対する不安 3 件などとなっている。



43 家族が介護をできなくなった場合の対応については、施設入所を考えている人が 104 人で 42.1%、福祉サービスを利用するが 91 人で 36.8%、親戚・知人を頼るが 21 人で 8.5%などとなっている。



○その他の項目に記載されている主な意見（自由記載：全 26 件）

①わからない・ほかに方法がない 13 件 ②子供たちに相談する 1 件

③ヘルパーに頼む 1 件などとなっている。

将来の介護等については、不安であるとの回答が全体で 5 割近く占めている。
その主な理由は、必要なときに施設で受け入れてくれるか不安、介護できる人がいない、家族以外に介護等を依頼する経済的余裕がないなどの回答が多くみられる。

■その他 (回答者 744 人)

44 医薬品副作用被害救済制度への要望概要は、下記のとおりである。(自由記載：全 241 件)

①救済制度の周知のための積極的な広報の実施

84 件

- ・新聞やテレビのコマーシャル等で一般の人々に制度の存在を教えてください。
- ・医薬品副作用被害救済制度というものを一般的に知らない人が多いので、多くの人が救済制度というものの、内容が分かるようにどんどんPRをして頂きたい。
- ・治療を受けた病院はこの制度を全く知らなかった。(担当医師も事務も)医療機関には周知すべき制度だと思う。

②事務処理期間の短縮

40 件

- ・請求書類を提出してから、審査で可否がわかるまでの期間が長くて不安になった。審査に時間がかかるのがやむを得ないのであれば、どの段階まで進んでいるのか、どの程度かかるのかについて知らせるべきだと思う。
- ・必要な書類を送ってから1年かかりましたのでもう少しスムーズに出来たらと思います。

③救済制度のさらなる充実

40 件

- ・障害年金の制度ですが、今2級までしかないのですが、3級という制度を作ってほしい。ちょっとの障害では2級は無理でも3級ならあてはまる人がいると思う。
- ・外見上重症度の分かる人達ばかりでなく、外見だけでは分からない精神面、不安、苦痛に対しても、何らかの方法で救済して頂けたら嬉しく存じます。
- ・定期的に健康診断を受けられるシステムをと切望しています。
- ・眼鏡のレンズ入れかえの援助を考えて欲しいと思います。
- ・副作用による被害救済と言っても、実際、治療のための入院期間中などの生活費等、保証してもらいたいと思います。(毎月1回の通院ですが、現在も続いているのですから)
- ・医薬品副作用での入院費(医療費)は救済給付されましたがその後の健康被害も救済して欲しいです。

④生活、医療、精神面などの相談窓口の設置

18 件

- ・ 私達の心のケアは誰がしてくれるのですか？
- ・ 投薬証明書など必要な書類に 1 万数千円かかりました。判定会議の結果が心配でした。予め補償されるか否か相談できる窓口があればいいなと思います。是非、相談窓口の開設をお願い致します。
- ・ 精神的なケア、カウンセリングは受けられるのか又、どこで受けられるのかも知らない。もう少し、納得のいく制度を作って欲しい。
- ・ 身近に公的機関で医療相談の出来る所を設置すべきだと思う。

⑤制度創設前の救済

15 件

- ・ 昭和 55 年 5 月以前の健康被害者についての救済を早く実施して頂きたい。

⑥請求手続きの簡素化

11 件

- ・ 書類を揃えるのがたいへん等申請の手続きが複雑すぎる。
- ・ 機構への提出書類全般について、自書出来ない人への配慮が欲しい（記入項目の簡略化）。

⑦現況届けの見直し

9 件

- ・ 現況届について社会保険は、3 年に 1 回の為、同じにしてほしい。
- ・ 毎年、現況届け用診断書を医師に依頼していますが、毎回初回より薬物性聴神経炎にて治療効果が期待できないとの事で治療していません。高齢による将来、医師の診断も受けられなくなった時、住民票のみで済ます事でしたらと思っています。

⑧障害年金等の給付額の現状維持及び値上げ

9 件

- ・ 障害年金の額をあげてもらいたい。
- ・ 救済制度での金額のみでの生活なので、減額されると少しの金額でも大変ですので、もう減らさないで下さい。

⑨請求期限の延長

6 件

- ・ 医療費、医療手当の請求に関して、請求期限が 2 年以内は短すぎる。薬の副作用の診断が出るまで 2 年以上かかったので医療費、医療手当は請求できなかった。請求期限を 3 年以上にして欲しい。

⑩介護サービス等のネットワークの創設

2 件

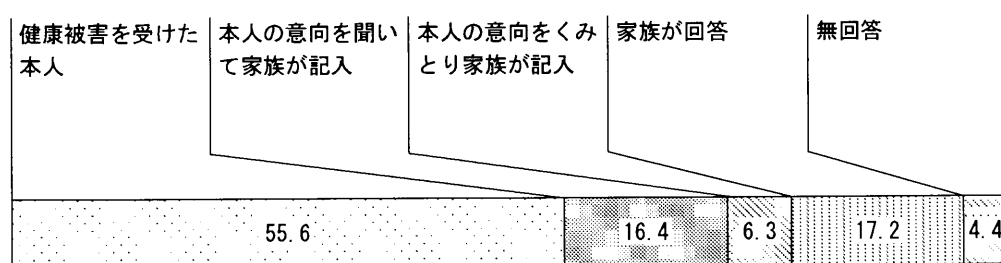
- ・親としていつまで見てやれるか分かりません。将来を考えると介護サービス等々のネットワークがあれば考えて欲しいと思います。
- ・ケアマネジャーの活用を直結して貰いたい。

⑪その他

7 件

- ・重篤な患者を 24 時間体制で安心して任せられる入院施設を必要人数に見合う数を全国に配置させるべき。
- ・副作用被害の医薬品名、症状、治療方法を各病院から収集しデータベース化し、各病院からの照会に応えられる仕組みを作り、患者の早期治療に役立ててほしい。

45 調査票の回答者については、本人の記入が 414 人で 55.6%、家族の記入が 128 人で 17.2%、本人の意向を聞いて家族の記入が 122 人で 16.4%、本人の意向をくみとり家族の記入が 47 人で 6.3%、無回答が 33 人で 4.4%となっている。



【ヒアリング調査結果の概要】

医薬品の副作用による健康被害実態調査においてヒアリングの応諾を得られた方の中から重篤で希少な健康被害者を選定し、委員2名と事務局1名の構成で平成17年10月から11月にかけてヒアリングを実施した。

対 象 者 (面 談 者)	調 査 概 要
S J S 60 歳代女性 (本人、夫) (制度創設後)	○50 歳代後半に健康被害を受け家族共々仕事を辞めている。 ○最近まで自治体の医療費公費負担制度を知らなかった。(S J S の患者会の人に教えてもらった。) ○副作用発症当時、医師からきちんと説明を受けたが、障害を負い、相談する場所が分からないことから自問自答し悩んだ時期があった。 ○ガイドヘルパーが活用できるようになり、家族が部分的ではあるが復職できるようになった。 ○風邪をひくと粘膜症状が悪化し要入院となりかねない。 ○一人で外出できないし、体も弱っているため戸外での活動ができない。 ○現況届けは毎年だが、急に変化はしていないので届け出の頻度を少なくしてほしい。
ライ症候群 30 歳代女性 (本人、母) (制度創設前)	○健康被害発症 1 年後に養護学校に転校、中学まで就学しその後は通学を断念した。 ○在宅療養を続けており、医療機関での治療やリハビリテーションは受けていない。 ○全面的な介護が必要で全て母親と身近な者で行なっている。 ○福祉サービスを受けたことがあるが、介護者側との折り合いが付かず断念した。 ○母親が高齢のため経済的な面も含めて将来に大きな不安をもっている。

対 象 者 (面 談 者)	調 査 概 要
急性脳症 10 歳代女性 (母) (制度創設後)	○2 歳頃健康被害を受けた。遺伝病も疑って色々と検査も行ったが原因が何だかわからなかった。 ○テレビ番組で機構のことを知り、医師に相談したら副作用の可能性はあるという話だったので請求をした。 ○発症から 8 年も経過しており書類をそろえるのが難しかった。 ○親戚や周囲の人の偏見があり、副作用だと認めてもらったことが「生まれつきの障害ではなく子供は健康で生まれたのだ」と思えたことがうれしかった。 ○介護のため転職したことにより収入減となった。 ○健康被害者の幼い兄弟へのしわ寄せ、精神的なダメージが大きい。 ○ある日突然子供が治るのではないかと、笑ったり、歩いたりしてくれるのではないかとというような夢からさめるのに 10 年かかった。同じような状況におかれた人は誰でも最初はそうであり、そのような時期には精神的なケアを必要とする。 ○制度について医師の誤解（救済の請求をしたいということを医師を責めるように受け取るなど）がまだまだある。 ○特に医師等への周知とともに医師を非難したり責任を追及したりするものではないという点への理解促進を図ってほしい。 ○障害年金等の場合、請求の翌月からの支給だが、どうして発症時点まで遡れないのか。制度を知らないで申請できなかった期間である。 ○今後、こういうことにならないよう、あらゆる手段で制度の周知を徹底してほしい。
S J S 40 歳代女性 (本人、母) (制度創設前)	○健康被害を発症したのは小学校低学年であり、病名も確定せず全国の病院を転々とした。30 歳のときに S J S であることが解った。それまで適切な治療が行われていなかった。 ○目に激痛があり、あけていられない状態である。その状態を解ってもらえず学校生活は辛い思いをした。 ○卒業後も就職できず現在も仕事についていない。 ○両親が高齢なため亡くなったときの生活が不安である。 ○一生苦しむ後遺症を背負い、痛みと闘いながら多くのことを諦める生活をしてきている。55 年の線引きにより、より長く苦しむ私たちに救済が及ばないのは矛盾を感じる。何とかしてほしい。 ○精神的なケアについては、S J S の患者会の存在は大きいと思う。 ○患者会の存在を知ってから、医療面、生活面等の助言を得られ精神的に楽になった。

【用語の解説】

1 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

概要

医薬品医療機器総合機構は、平成 13 年に閣議決定された特殊法人等整理合理化計画を受けて、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターと医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構および財団法人医療機器センターの一部の業務を統合し、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づき平成 16 年 4 月 1 日に設立された。

当機構は、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としている。

名 称：独立行政法人医薬品医療機器総合機構

Pharmaceuticals and Medical Devices Agency (PMDA)

設 立：平成 16 年 4 月 1 日

法人の種別：非公務員型独立行政法人

2 医薬品副作用被害救済制度

創設：昭和 55 年 5 月 1 日

医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により入院治療が必要な程度の疾病や障害等の健康被害を受けた方に対して各種の副作用救済給付を行い、被害者の迅速な救済を図ることを目的とし、医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度として設けられた。

救済給付に必要な費用は、医薬品の製造販売業者がその社会的責任に基づいて納付する拠出金が原資となっている。

3 保健福祉事業

保健福祉事業は、昭和 54 年 10 月に医薬品副作用被害救済基金（現医薬品医療機器総合機構）が設立される際、救済制度の目的が医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図ることにあり、この目的の達成には、健康被害者について救済給付の支給以外に保健福祉事業を行う必要のある場合が考えられることから法制化された。

当初、事業内容としては、医薬品の副作用による健康被害の治療研究等が考えられていた。具体的には、救済給付を行った死亡、障害等重篤の事例等について、早期診断、治療等に関する研究を行うことにより、救済給付の受給者及び今後発生する健康被害者の治療に役立てること。

根拠 独立行政法人医薬品医療機器総合機構法（平成 14 年 12 月 20 日法律第 192 号）

第三条 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「機構」という。）は、医薬品の副作用又は生物由来製品を介した感染等による健康被害の迅速な救済を図り、並びに医薬品等の品質、有効性及び安全性の向上に資する審査等の業務を行い、もって国民保健の向上に資する

ことを目的とする。

第四条～第十四条 略

第十五条 機構は、第三条の目的を達成するため、次の業務を行う。

一 医薬品の副作用による健康被害の救済に関する次に掲げる業務

イ 医薬品の副作用による疾病、障害又は死亡につき、医療費、医療手当、障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金及び葬祭料の給付（以下「副作用救済給付」という。）を行うこと。

ロ 次条第一項第一号及び第二号に掲げる給付の支給を受ける者並びに同項第三号に掲げる給付の支給を受ける者に養育される同号に規定する十八歳未満の者について保健福祉事業を行うこと。

ハ～ニ 略

二～五 略

2 略

4 QOLの向上

クオリティ・オブ・ライフ（QUALITY OF life）の略称であり、「生活の質」、「人生の質」などと訳される。生活の中での満足感、安定感、幸福感のもととなる、家庭生活、文化活動、労働や仕事、趣味、レジャーといったあらゆる人生の側面における質を意味する。

5 医薬品副作用被害救済制度創設以降

昭和55年5月1日以降

6 保険外治療費

自費（保険外）による治療費：コンタクトレンズ、点眼薬購入など

7 保険外治療費雑費

自費（保険外）による治療雑費：オムツなど

8 福祉サービス

身体障害者在宅介護等事業（ホームヘルプサービス）、身体障害者ディサービス事業、身体障害者短期入所事業（ショートステイ）、知的障害者更正施設など

9 SJS（スティーブンス・ジョンソン症候群（Stevens-Johnson syndrome））

皮膚粘膜眼症候群。皮膚粘膜等に発生する高熱性、炎症性の疾患。全身倦怠、食欲不振につづき結膜炎、口内炎、外陰部の炎症を伴う。気管支炎をおこすこともある。原因は不明であるが薬物、ウイルス等が考えられる。

10 ライ症候群 (Reye's syndrome)

インフルエンザや水ぼうそうなどのウイルス性疾患にかかった小児に、アスピリンなどのサリチル酸系を投与すると、その後嘔吐、意識障害、けいれんなどの急性症状を起こす。予後は悪く死亡率は高い。

11 急性脳症

脳の広範な機能不全状態が急性に発症、進行し、炎症所見を欠く状態を指す。幼若小児に多く発症し、原因不明の高度の脳浮腫が主要病態である。致死率が高く、救命しえても重度の神経後遺症を残す。

12 給付の種類 (平成 18 年 3 月現在)

医療費	健康保険等による給付の額を除いた自己負担分 (請求期限は 2 年以内)
医療手当	治療に伴う医療費以外の費用の負担に着目して給付される。(請求期限は 2 年以内)
	(1) 通院の場合 1 ヶ月のうち 3 日以上 月額 35,900 円
	1 ヶ月のうち 3 日未満 月額 33,900 円
	(2) 入院の場合 1 ヶ月のうち 8 日以上 月額 35,900 円
	1 ヶ月のうち 8 日未満 月額 33,900 円
	(3) 入院と通院がある場合 月額 35,900 円
障害年金	一定程度の障害の状態にある 18 歳以上の人の生活補償等を目的として給付される。(請求期限は定められていない。)
	(1) 1 級の場合 年額 2,728,800 円 (月額 227,400 円)
	(2) 2 級の場合 年額 2,182,800 円 (月額 181,900 円)
障害児養育年金	一定程度の障害の状態にある 18 歳未満の人を養育する人に対して給付される。(請求期限は定められていない。)
	(1) 1 級の場合 年額 853,200 円 (月額 71,100 円)
	(2) 2 級の場合 年額 682,800 円 (月額 56,900 円)
遺族年金	生計維持者が副作用により死亡した場合に、その遺族の生活の立て直し等を目的として給付される。(請求期限は死亡のときから 5 年以内)
	年金の支払いは 10 年間。ただし、死亡した本人が障害年金を受けたことがある場合、その期間が 7 年に満たないときは 10 年からその期間を控除した期間、その期間が 7 年以上のときは 3 年を限度として支給。
	年額 2,386,800 円 (月額 198,900 円)
遺族一時金	生計維持者以外の人が副作用により死亡した場合に、その遺族に対する見舞等を目的として給付される。(請求期限は死亡のときから 5 年以内)
	一時金 7,160,400 円
葬祭料	死亡した人の葬祭を行うことに伴う出費に着目して給付される。(請求期限は死亡のときから 5 年以内)
	193,000 円

参考資料の集計結果

13 障害年金等を受給

医薬品副作用被害救済制度における障害年金、障害児養育年金を受給している者

14 未受給治療中

障害年金等を受給していないが現在も健康被害（後遺症も含む）の治療をしている者

15 その他

障害年金等を受給していない者でかつ治療も実施していない者

Ⅱ 医薬品の副作用による健康被害実態調査の集計結果

Ⅱ 医薬品の副作用による健康被害実態調査の集計結果

医薬品副作用被害救済制度創設（前・後） 全体版

■本人の基本状況

質問１－１ 性別

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
男	351	47.2%	15	51.7%	336	47.0%
女	386	51.9%	13	44.8%	373	52.2%
無回答	7	0.9%	1	3.4%	6	0.8%

質問１－２ 年齢

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
0～9歳	31	4.2%	0	0.0%	31	4.3%
10～19歳	36	4.8%	0	0.0%	36	5.0%
20～29歳	48	6.5%	1	3.4%	47	6.6%
30～39歳	90	12.1%	4	13.8%	86	12.0%
40～49歳	89	12.0%	5	17.2%	84	11.7%
50～59歳	134	18.0%	4	13.8%	130	18.2%
60～69歳	164	22.0%	8	27.6%	156	21.8%
70～79歳	96	12.9%	2	6.9%	94	13.1%
80～89歳	24	3.2%	0	0.0%	24	3.4%
90歳以上	2	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
無回答	30	4.0%	5	17.2%	25	3.5%

質問１－３ 結婚

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
未婚	194	26.1%	10	34.5%	184	25.7%
既婚	527	70.8%	18	62.1%	509	71.2%
無回答	23	3.1%	1	3.4%	22	3.1%

質問２－１ 健康被害を受けた時の本人の年齢

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
0～9歳	67	9.0%	12	41.4%	55	7.7%
10～19歳	42	5.6%	6	20.7%	36	5.0%
20～29歳	67	9.0%	2	6.9%	65	9.1%
30～39歳	112	15.1%	5	17.2%	107	15.0%
40～49歳	92	12.4%	0	0.0%	92	12.9%
50～59歳	140	18.8%	0	0.0%	140	19.6%
60～69歳	131	17.6%	1	3.4%	130	18.2%
70～79歳	57	7.7%	2	6.9%	55	7.7%
80～89歳	14	1.9%	0	0.0%	14	2.0%
90歳以上	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
無回答	21	2.8%	1	3.4%	20	2.8%

■医薬品の副作用により健康被害が起きた当時の状況

質問 2-2 健康被害による本人の仕事、就学への影響【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	—	29	—	715	—
健康被害のため本人が仕事をやめた	206	27.7%	5	17.2%	201	28.1%
健康被害のため本人の収入が減った	227	30.5%	5	17.2%	222	31.0%
健康被害のため本人が欠勤するようになった	164	22.0%	5	17.2%	159	22.2%
健康被害のため本人が転職した	15	2.0%	1	3.4%	14	2.0%
健康被害を受けたとき本人は無職であった	145	19.5%	5	17.2%	140	19.6%
健康被害のため本人が在学中の学校をやめた	11	1.5%	4	13.8%	7	1.0%
健康被害が原因で在学中に本人がいじめを受けた	13	1.7%	8	27.6%	5	0.7%
健康被害のため本人が在学中の学校を休学した	32	4.3%	8	27.6%	24	3.4%
健康被害のため本人が転校した	10	1.3%	5	17.2%	5	0.7%
健康被害を受けたとき本人は未就学であった	39	5.2%	4	13.8%	35	4.9%
健康被害のため転居した	32	4.3%	0	0.0%	32	4.5%
その他	157	21.1%	10	34.5%	147	20.6%
無回答	98	13.2%	3	10.3%	95	13.3%

質問 3 健康被害による、家族への影響【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	—	29	—	715	—
介護等のため家族が仕事をやめた	78	10.5%	7	24.1%	71	9.9%
介護等のため家族の収入が減った	171	23.0%	11	37.9%	160	22.4%
介護等のため家族が欠勤するようになった	160	21.5%	8	27.6%	152	21.3%
介護等のため家族が転職した	17	2.3%	1	3.4%	16	2.2%
介護等のため家族が在学中の学校をやめた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
介護等のため家族が在学中の学校を休学した	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
介護等のため家族が転校した	3	0.4%	0	0.0%	3	0.4%
介護等のため転居した	22	3.0%	0	0.0%	22	3.1%
その他	122	16.4%	6	20.7%	116	16.2%
無回答	367	49.3%	10	34.5%	357	49.9%

質問4 健康被害による、収入減

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
1 割減った	40	5.4%	2	6.9%	38	5.3%
2 割減った	43	5.8%	0	0.0%	43	6.0%
3 割減った	38	5.1%	4	13.8%	34	4.8%
4～5 割減った	67	9.0%	1	3.4%	66	9.2%
6～7 割減った	25	3.4%	0	0.0%	25	3.5%
8 割以上減った	55	7.4%	4	13.8%	51	7.1%
減ったが割合は不明	180	24.2%	8	27.6%	172	24.1%
収入は減らなかった	191	25.7%	5	17.2%	186	26.0%
無回答	105	14.1%	5	17.2%	100	14.0%

■社会福祉・社会保障制度受給等の状況

質問5-1 身体障害者手帳の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
持っている	275	37.0%	24	82.8%	251	35.1%
持っていない	370	49.7%	3	10.3%	367	51.3%
無回答	99	13.3%	2	6.9%	97	13.6%

質問5-1 障害の程度（身体障害者手帳）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	275	100.0%	24	100.0%	251	100.0%
1 級	135	49.1%	12	50.0%	123	49.0%
2 級	66	24.0%	10	41.7%	56	22.3%
3 級	36	13.1%	1	4.2%	35	13.9%
4 級	25	9.1%	1	4.2%	24	9.6%
5 級	6	2.2%	0	0.0%	6	2.4%
6 級	2	0.7%	0	0.0%	2	0.8%
無回答	5	1.8%	0	0.0%	5	2.0%

質問5-2 療育手帳の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
持っている	35	4.7%	2	6.9%	33	4.6%
持っていない	418	56.2%	13	44.8%	405	56.6%
無回答	291	39.1%	14	48.3%	277	38.7%

質問5-2 障害の程度（療育手帳）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	35	100.0%	2	100.0%	33	100.0%
A	17	48.6%	2	100.0%	15	45.5%
B	14	40.0%	0	0.0%	14	42.4%
無回答	4	11.4%	0	0.0%	4	12.1%

質問5-3 精神障害者保健福祉手帳の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
持っている	23	3.1%	0	0.0%	23	3.2%
持っていない	433	58.2%	15	51.7%	418	58.5%
無回答	288	38.7%	14	48.3%	274	38.3%

質問５－３ 障害の程度（精神障害者保健福祉手帳）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	23	100.0%	0		23	100.0%
１級	7	30.4%	0		7	30.4%
２級	10	43.5%	0		10	43.5%
３級	4	17.4%	0		4	17.4%
無回答	2	8.7%	0		2	8.7%

質問６－１ 障害年金（医薬品副作用被害救済制度）の受給の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
はい	158	21.2%	0	0.0%	158	22.1%
いいえ	586	78.8%	29	100.0%	557	77.9%

質問６－１ 障害年金等を受給している場合の障害の程度 （１）障害年金

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	158	100.0%	0		158	100.0%
１級	102	64.6%	0		102	64.6%
２級	53	33.5%	0		53	33.5%
無回答	3	1.9%	0		3	1.9%

質問６－２ 障害児養育年金（医薬品副作用被害救済制度）の受給の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
はい	15	2.0%	0	0.0%	15	2.1%
いいえ	729	98.0%	29	100.0%	700	97.9%

質問６－２ 障害年金等を受給している場合の障害の程度 （２）障害児養育年金

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	15	100.0%	0		15	100.0%
１級	11	73.3%	0		11	73.3%
２級	4	26.7%	0		4	26.7%
無回答	0	0.0%	0		0	0.0%

質問６－３ 障害基礎年金（国民年金制度）の受給の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
はい	101	13.6%	18	62.1%	83	11.6%
いいえ	643	86.4%	11	37.9%	632	88.4%

質問６－３ 障害年金等を受給している場合の障害の程度 （３）障害基礎年金

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	101	100.0%	18	100.0%	83	100.0%
１級	68	67.3%	14	77.8%	54	65.1%
２級	31	30.7%	3	16.7%	28	33.7%
無回答	2	2.0%	1	5.6%	1	1.2%

質問６－４ 障害厚生年金（厚生年金保険制度）の受給の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
はい	44	5.9%	1	3.4%	43	6.0%
いいえ	700	94.1%	28	96.6%	672	94.0%

質問6-4 障害年金等を受給している場合の障害の程度 (4) 障害厚生年金

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	44	100.0%	1	100.0%	43	100.0%
1 級	26	59.1%	1	100.0%	25	58.1%
2 級	13	29.5%	0	0.0%	13	30.2%
3 級	4	9.1%	0	0.0%	4	9.3%
無回答	1	2.3%	0	0.0%	1	2.3%

質問6-5 障害手当金（厚生年金保険制度）の受給の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
はい	5	0.7%	2	6.9%	3	0.4%
いいえ	739	99.3%	27	93.1%	712	99.6%

質問6-6 障害共済年金（共済組合制度）の受給の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
はい	9	1.2%	0	0.0%	9	1.3%
いいえ	735	98.8%	29	100.0%	706	98.7%

質問6-6 障害年金等を受給している場合の障害の程度 (6) 障害共済年金

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	9	100.0%	0		9	100.0%
1 級	5	55.6%	0		5	55.6%
2 級	1	11.1%	0		1	11.1%
3 級	2	22.2%	0		2	22.2%
無回答	1	11.1%	0		1	11.1%

質問6-7 障害一時金（共済組合制度）の受給の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
はい	9	1.2%	0	0.0%	9	1.3%
いいえ	735	98.8%	29	100.0%	706	98.7%

質問 6-8 健康被害による障害年金等の受給状況【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	—	29	—	715	—
障害年金（医薬品副作用被害救済制度）	158	21.2%	0	0.0%	158	22.1%
障害児養育年金（医薬品副作用被害救済制度）	15	2.0%	0	0.0%	15	2.1%
障害基礎年金（国民年金制度）	101	13.6%	18	62.1%	83	11.6%
障害厚生年金（厚生年金保険制度）	44	5.9%	1	3.4%	43	6.0%
障害手当金（厚生年金保険制度）	5	0.7%	2	6.9%	3	0.4%
障害共済年金（共済組合制度）	9	1.2%	0	0.0%	9	1.3%
障害一時金（共済組合制度）	9	1.2%	0	0.0%	9	1.3%
障害年金等（障害一時金）などを受給したことはない	208	28.0%	4	13.8%	204	28.5%
無回答	306	41.1%	6	20.7%	300	42.0%

質問 7-1 健康被害による、手当等の受給状況【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	—	29	—	715	—
障害児福祉手当	18	2.4%	0	0.0%	18	2.5%
特別障害者手当	15	2.0%	1	3.4%	14	2.0%
特別児童扶養手当	23	3.1%	0	0.0%	23	3.2%
児童扶養手当	17	2.3%	0	0.0%	17	2.4%
障害者福祉手当	45	6.0%	7	24.1%	38	5.3%
その他	34	4.6%	1	3.4%	33	4.6%
現在手当での受給は受けていないが過去に受給していた	53	7.1%	6	20.7%	47	6.6%
手当の受給は受けたことはない	422	56.7%	8	27.6%	414	57.9%
無回答	144	19.4%	6	20.7%	138	19.3%

質問 7-2 過去に受給していた手当等【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	53	—	6	—	47	—
障害児福祉手当	3	5.7%	0	0.0%	3	6.4%
特別障害者手当	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特別児童扶養手当	3	5.7%	1	16.7%	2	4.3%
児童扶養手当	4	7.5%	0	0.0%	4	8.5%
障害者福祉手当	4	7.5%	2	33.3%	2	4.3%
その他	37	69.8%	1	16.7%	36	76.6%
無回答	4	7.5%	2	33.3%	2	4.3%

質問 8 利用したことのある税金等の軽減・優遇措置【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	—	29	—	715	—
所得控除（障害者控除）	165	22.2%	15	51.7%	150	21.0%
住民税の非課税または所得控除	108	14.5%	8	27.6%	100	14.0%
相続税の控除	6	0.8%	1	3.4%	5	0.7%
定期預金等の利子非課税（マル優）	93	12.5%	17	58.6%	76	10.6%
贈与税の非課税（特別障害者扶養信託）	2	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
自動車税、自動車取得税の減免	152	20.4%	11	37.9%	141	19.7%
NHK受信料の減免	67	9.0%	10	34.5%	57	8.0%
水道・下水道料金の免除	27	3.6%	1	3.4%	26	3.6%
郵便料金の割引	7	0.9%	3	10.3%	4	0.6%
官製はがき（青い鳥はがき）の無料配布	53	7.1%	10	34.5%	43	6.0%
電話番号案内の無料利用（ふれあい案内）	43	5.8%	7	24.1%	36	5.0%
福祉用クレジット通話	2	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
J Rその他の交通運賃割引	164	22.0%	19	65.5%	145	20.3%
その他	30	4.0%	2	6.9%	28	3.9%
無回答	440	59.1%	3	10.3%	437	61.1%

■健康被害を受けた方の健康状態、治療状況等

質問 9 健康被害の原因となった医薬品の認知

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
知っている	608	81.7%	18	62.1%	590	82.5%
知らない	104	14.0%	11	37.9%	93	13.0%
無回答	32	4.3%	0	0.0%	32	4.5%

質問 10 健康被害の内容【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	—	29	—	715	—
皮膚障害	279	37.5%	15	51.7%	264	36.9%
運動機能障害	168	22.6%	4	13.8%	164	22.9%
低酸素脳症	35	4.7%	1	3.4%	34	4.8%
視力障害	190	25.5%	19	65.5%	171	23.9%
呼吸系障害	88	11.8%	3	10.3%	85	11.9%
腎機能障害	78	10.5%	0	0.0%	78	10.9%
聴覚障害	43	5.8%	5	17.2%	38	5.3%
薬物性肝障害	173	23.3%	2	6.9%	171	23.9%
薬物性ショック	85	11.4%	5	17.2%	80	11.2%
その他	194	26.1%	8	27.6%	186	26.0%
無回答	28	3.8%	1	3.4%	27	3.8%

質問 1 1 健康被害の治療状況

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
健康被害の治療をしている	305	41.0%	16	55.2%	289	40.4%
健康被害による治療は終了した	270	36.3%	2	6.9%	268	37.5%
健康被害による治療を中止した	24	3.2%	4	13.8%	20	2.8%
健康被害による治療は受けていない	96	12.9%	5	17.2%	91	12.7%
無回答	49	6.6%	2	6.9%	47	6.6%

質問 1 2 - 1 過去 1 年間の治療状況【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	—	29	—	715	—
過去1年間の入院日数	281	37.8%	14	48.3%	267	37.3%
1月あたりの通院回数	450	60.5%	23	79.3%	427	59.7%
1月あたりの通院にかかる交通費	344	46.2%	17	58.6%	327	45.7%
1月あたりの保険医療費の自己負担額	372	50.0%	18	62.1%	354	49.5%
1月あたりの自費（保険外）による治療費	214	28.8%	14	48.3%	200	28.0%
1月あたりの自費（保険外）による治療雑費	202	27.2%	11	37.9%	191	26.7%
医療機関にかかっていない	109	14.7%	1	3.4%	108	15.1%
無回答	114	15.3%	2	6.9%	112	15.7%

質問 1 2 - 2 過去 1 年間の入院日数

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	281	100.0%	14	100.0%	267	100.0%
入院なし	117	41.6%	5	35.7%	112	41.9%
1～15 日	52	18.5%	2	14.3%	50	18.7%
16～30 日	34	12.1%	2	14.3%	32	12.0%
31～60 日	18	6.4%	1	7.1%	17	6.4%
61～120 日	14	5.0%	1	7.1%	13	4.9%
121～180 日	7	2.5%	1	7.1%	6	2.2%
181 日以上	35	12.5%	2	14.3%	33	12.4%
無回答	4	1.4%	0	0.0%	4	1.5%
平均	61.0		81.1		59.9	

質問 1 2 - 3 通院回数／月

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	450	100.0%	23	100.0%	427	100.0%
通院なし	10	2.2%	1	4.3%	9	2.1%
1 回	291	64.7%	12	52.2%	279	65.3%
2 回	89	19.8%	6	26.1%	83	19.4%
3～5 回	30	6.7%	4	17.4%	26	6.1%
6～10 回	14	3.1%	0	0.0%	14	3.3%
11～15 回	7	1.6%	0	0.0%	7	1.6%
16～20 回	7	1.6%	0	0.0%	7	1.6%
21 回以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.4%	0	0.0%	2	0.5%
平均	3.3		3.2		3.3	

質問 1 2 - 4 通院にかかる交通費／月

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	344	100.0%	17	100.0%	327	100.0%
0 円	32	9.3%	2	11.8%	30	9.2%
1～1500 円	127	36.9%	5	29.4%	122	37.3%
1501～3000 円	65	18.9%	1	5.9%	64	19.6%
3001～5000 円	42	12.2%	3	17.6%	39	11.9%
5001～7500 円	8	2.3%	0	0.0%	8	2.4%
7501～10000 円	25	7.3%	3	17.6%	22	6.7%
10001～15000 円	12	3.5%	1	5.9%	11	3.4%
15001～20000 円	13	3.8%	2	11.8%	11	3.4%
20001 円以上	16	4.7%	0	0.0%	16	4.9%
無回答	4	1.2%	0	0.0%	4	1.2%
平均	5,570		6,027		5,546	

質問 1 2 - 5 保険医療費の自己負担額／月

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	372	100.0%	18	100.0%	354	100.0%
0 円	62	16.7%	5	27.8%	57	16.1%
1～2500 円	105	28.2%	3	16.7%	102	28.8%
2501～5000 円	80	21.5%	6	33.3%	74	20.9%
5001～7500 円	22	5.9%	0	0.0%	22	6.2%
7501～10000 円	31	8.3%	1	5.6%	30	8.5%
10001～15000 円	18	4.8%	1	5.6%	17	4.8%
15001～20000 円	16	4.3%	2	11.1%	14	4.0%
20001 円～30000 円	12	3.2%	0	0.0%	12	3.4%
30001 円以上	24	6.5%	0	0.0%	24	6.8%
無回答	2	0.5%	0	0.0%	2	0.6%
平均	12,060		4,944		12,424	

質問 1 2 - 6 保険外治療費／月

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	214	100.0%	14	100.0%	200	100.0%
0 円	83	38.8%	5	35.7%	78	39.0%
1～2500 円	40	18.7%	3	21.4%	37	18.5%
2501～5000 円	44	20.6%	1	7.1%	43	21.5%
5001～7500 円	6	2.8%	0	0.0%	6	3.0%
7501～10000 円	7	3.3%	0	0.0%	7	3.5%
10001～15000 円	4	1.9%	0	0.0%	4	2.0%
15001～20000 円	8	3.7%	2	14.3%	6	3.0%
20001 円～30000 円	11	5.1%	1	7.1%	10	5.0%
30001 円以上	8	3.7%	2	14.3%	6	3.0%
無回答	3	1.4%	0	0.0%	3	1.5%
平均	6,272		16,500		5,545	

質問 1 2 - 7 保険外治療雑費／月

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	202	100.0%	11	100.0%	191	100.0%
0 円	77	38.1%	4	36.4%	73	38.2%
1～2500 円	34	16.8%	3	27.3%	31	16.2%
2501～5000 円	28	13.9%	2	18.2%	26	13.6%
5001～7500 円	6	3.0%	0	0.0%	6	3.1%
7501～10000 円	18	8.9%	1	9.1%	17	8.9%
10001～15000 円	6	3.0%	0	0.0%	6	3.1%
15001～20000 円	6	3.0%	0	0.0%	6	3.1%
20001 円～30000 円	8	4.0%	1	9.1%	7	3.7%
30001 円以上	17	8.4%	0	0.0%	17	8.9%
無回答	2	1.0%	0	0.0%	2	1.0%
平均	12,276		4,130		12,750	

質問 1 3 救済制度施行前の健康被害（発生時期）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	29	100.0%	29	100.0%	0	
昭和元年～29 年	4	13.8%	4	13.8%	0	
30～39 年	9	31.0%	9	31.0%	0	
40～49 年	9	31.0%	9	31.0%	0	
50～55 年 5 月	6	20.7%	6	20.7%	0	
無回答	1	3.4%	1	3.4%	0	

■健康被害を受けた方の日常生活

質問 1 4 - 1 介護等、支援の必要性

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
日常生活に介護、見守り等の支援は必要ない	354	47.6%	9	31.0%	345	48.3%
日常生活に何らかの介護、見守り等の支援が必要である	252	33.9%	18	62.1%	234	32.7%
無回答	138	18.5%	2	6.9%	136	19.0%

質問 1 4 - 2 介護支援（食事）【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	252	—	18	—	234	—
自分で食べることができる	119	47.2%	8	44.4%	111	47.4%
食べる時に介助が必要	78	31.0%	7	38.9%	71	30.3%
注入している	26	10.3%	1	5.6%	25	10.7%
その他	25	9.9%	4	22.2%	21	9.0%
無回答	27	10.7%	1	5.6%	26	11.1%

質問 1 4 - 3 介護支援（排泄）【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	252	—	18	—	234	—
すべて自分でできる	92	36.5%	9	50.0%	83	35.5%
すべて自分でできるがうまくできない	32	12.7%	2	11.1%	30	12.8%
全面的に介助が必要	61	24.2%	4	22.2%	57	24.4%
必要な時に本人が介助を依頼	44	17.5%	3	16.7%	41	17.5%
定期的にカテーテルで介助排尿	4	1.6%	0	0.0%	4	1.7%
定期的に自分でカテーテルで排尿	2	0.8%	0	0.0%	2	0.9%
その他	15	6.0%	1	5.6%	14	6.0%
無回答	25	9.9%	2	11.1%	23	9.8%

質問 1 4 - 4 介護支援（入浴）【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	252	—	18	—	234	—
自宅で支度して 1 人で入浴できる	61	24.2%	6	33.3%	55	23.5%
支度してもらえば 1 人で入浴できる	54	21.4%	4	22.2%	50	21.4%
入浴時の介助が必要	95	37.7%	6	33.3%	89	38.0%
家族だけでは入浴の介助ができない	11	4.4%	1	5.6%	10	4.3%
入浴サービスを利用している	19	7.5%	1	5.6%	18	7.7%
その他	16	6.3%	1	5.6%	15	6.4%
無回答	20	7.9%	2	11.1%	18	7.7%

質問 1 4 - 5 介護支援（衣服の着脱）【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	252	—	18	—	234	—
自分でできる	113	44.8%	11	61.1%	102	43.6%
介助が必要	102	40.5%	4	22.2%	98	41.9%
その他	18	7.1%	2	11.1%	16	6.8%
無回答	24	9.5%	2	11.1%	22	9.4%

質問 14-6 介護支援（意思疎通）【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	252	—	18	—	234	—
言葉がわかる	148	58.7%	10	55.6%	138	59.0%
言葉がわからない	44	17.5%	6	33.3%	38	16.2%
その他	36	14.3%	1	5.6%	35	15.0%
無回答	35	13.9%	2	11.1%	33	14.1%

質問 14-7 健康被害者の介護上の問題【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	252	—	18	—	234	—
てんかん発作がある	28	11.1%	1	5.6%	27	11.5%
大声を出す	19	7.5%	2	11.1%	17	7.3%
多動がある	16	6.3%	0	0.0%	16	6.8%
異食がある	11	4.4%	0	0.0%	11	4.7%
自傷、他傷がある	16	6.3%	2	11.1%	14	6.0%
とくに問題はない	88	34.9%	8	44.4%	80	34.2%
その他	74	29.4%	6	33.3%	68	29.1%
無回答	51	20.2%	2	11.1%	49	20.9%

▲家族の介護支援の状況（複数回答）

質問 15-1 被害者本人との続柄（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	330	100.0%	18	100.0%	312	100.0%
配偶者	109	33.0%	3	16.7%	106	34.0%
親	112	33.9%	6	33.3%	106	34.0%
子	62	18.8%	5	27.8%	57	18.3%
子の配偶者	8	2.4%	0	0.0%	8	2.6%
兄弟・姉妹	21	6.4%	2	11.1%	19	6.1%
祖父母	5	1.5%	1	5.6%	4	1.3%
孫	8	2.4%	1	5.6%	7	2.2%
その他	5	1.5%	0	0.0%	5	1.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問 15-2 年齢（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	330	100.0%	18	100.0%	312	100.0%
0～9 歳	14	4.2%	0	0.0%	14	4.5%
10～19 歳	23	7.0%	4	22.2%	19	6.1%
20～29 歳	21	6.4%	4	22.2%	17	5.4%
30～39 歳	46	13.9%	0	0.0%	46	14.7%
40～49 歳	40	12.1%	2	11.1%	38	12.2%
50～59 歳	62	18.8%	3	16.7%	59	18.9%
60～69 歳	66	20.0%	2	11.1%	64	20.5%
70～79 歳	43	13.0%	2	11.1%	41	13.1%
80～89 歳	10	3.0%	1	5.6%	9	2.9%
90 歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	5	1.5%	0	0.0%	5	1.6%

質問 15-3 介護回数（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	330	100.0%	18	100.0%	312	100.0%
毎日	186	56.4%	9	50.0%	177	56.7%
週	53	16.1%	4	22.2%	49	15.7%
月	24	7.3%	4	22.2%	20	6.4%
無回答	67	20.3%	1	5.6%	66	21.2%

質問 15-4 介護時間（1日の時間）（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	330	100.0%	18	100.0%	312	100.0%
3 時間未満	122	37.0%	4	22.2%	118	37.8%
3～6 時間未満	69	20.9%	5	27.8%	64	20.5%
6～9 時間未満	15	4.5%	2	11.1%	13	4.2%
9～15 時間未満	17	5.2%	0	0.0%	17	5.4%
15～21 時間未満	8	2.4%	0	0.0%	8	2.6%
21 時間以上	26	7.9%	1	5.6%	25	8.0%
無回答	73	22.1%	6	33.3%	67	21.5%

質問 15-5 介護時間（毎日の時間）（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	186	100.0%	9	100.0%	177	100.0%
3 時間未満	46	24.7%	2	22.2%	44	24.9%
3～6 時間未満	43	23.1%	4	44.4%	39	22.0%
6～9 時間未満	12	6.5%	1	11.1%	11	6.2%
9～15 時間未満	12	6.5%	0	0.0%	12	6.8%
15～21 時間未満	8	4.3%	0	0.0%	8	4.5%
21 時間以上	19	10.2%	1	11.1%	18	10.2%
無回答	46	24.7%	1	11.1%	45	25.4%

質問 15-6 介護時間（1週の回数）（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	53	100.0%	4	100.0%	49	100.0%
1 回	10	18.9%	2	50.0%	8	16.3%
2 回	17	32.1%	1	25.0%	16	32.7%
3 回	9	17.0%	0	0.0%	9	18.4%
4 回	8	15.1%	0	0.0%	8	16.3%
5 回	6	11.3%	0	0.0%	6	12.2%
6 回	2	3.8%	1	25.0%	1	2.0%
無回答	1	1.9%	0	0.0%	1	2.0%

質問 15-7 介護時間（1月の回数）（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	24	100.0%	4	100.0%	20	100.0%
1 回	8	33.3%	3	75.0%	5	25.0%
2 回	5	20.8%	1	25.0%	4	20.0%
3 回	3	12.5%	0	0.0%	3	15.0%
4 回	3	12.5%	0	0.0%	3	15.0%
5～10 回	1	4.2%	0	0.0%	1	5.0%
11 回以上	1	4.2%	0	0.0%	1	5.0%
無回答	3	12.5%	0	0.0%	3	15.0%

質問 15-8 家族の健康状態（介護者）

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	330	100.0%	18	100.0%	312	100.0%
健康	116	35.2%	7	38.9%	109	34.9%
疲労がみ	173	52.4%	8	44.4%	165	52.9%
病弱	27	8.2%	3	16.7%	24	7.7%
無回答	14	4.2%	0	0.0%	14	4.5%

▲家族以外の介護支援の状況（複数回答）

質問 16-1 家族以外の介護支援

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
家族以外の人から介護の手助けを受けている	117	15.7%	11	37.9%	106	14.8%
受けていない	480	64.5%	13	44.8%	467	65.3%
無回答	147	19.8%	5	17.2%	142	19.9%

質問 16-2 介護支援の頻度

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	117	100.0%	11	100.0%	106	100.0%
毎日	32	27.4%	3	27.3%	29	27.4%
週に4日以上	27	23.1%	1	9.1%	26	24.5%
週に2～3日	27	23.1%	3	27.3%	24	22.6%
週に1日	13	11.1%	1	9.1%	12	11.3%
月に2～3日	9	7.7%	1	9.1%	8	7.5%
月に1日以内	8	6.8%	2	18.2%	6	5.7%
無回答	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%

質問 17 介護認定レベル

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	62	100.0%	3	100.0%	59	100.0%
要支援	7	11.3%	1	33.3%	6	10.2%
要介護1	18	29.0%	1	33.3%	17	28.8%
要介護2	12	19.4%	1	33.3%	11	18.6%
要介護3	8	12.9%	0	0.0%	8	13.6%
要介護4	5	8.1%	0	0.0%	5	8.5%
要介護5	12	19.4%	0	0.0%	12	20.3%

質問 18-1 福祉サービス利用の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
利用している	108	14.5%	11	37.9%	97	13.6%
利用していない	537	72.2%	16	55.2%	521	72.9%
無回答	99	13.3%	2	6.9%	97	13.6%

質問１８－２ 利用している福祉サービスの内容【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	108	—	11	—	97	—
デイサービス	33	30.6%	2	18.2%	31	32.0%
ショートステイ	11	10.2%	0	0.0%	11	11.3%
ホームヘルパー	30	27.8%	3	27.3%	27	27.8%
訪問介護	21	19.4%	1	9.1%	20	20.6%
入浴サービス	14	13.0%	0	0.0%	14	14.4%
送迎サービス	18	16.7%	1	9.1%	17	17.5%
ガイドヘルパー	18	16.7%	7	63.6%	11	11.3%
ボランティアの援助	13	12.0%	3	27.3%	10	10.3%
相談窓口の利用	10	9.3%	3	27.3%	7	7.2%
その他	33	30.6%	2	18.2%	31	32.0%
無回答	2	1.9%	0	0.0%	2	2.1%

質問１９ 利用している福祉サービスの自己負担額

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	108	100.0%	11	100.0%	97	100.0%
無料	21	19.4%	3	27.3%	18	18.6%
１円～１万円未満	34	31.5%	5	45.5%	29	29.9%
１万円～２万円未満	15	13.9%	0	0.0%	15	15.5%
２万円～４万円未満	8	7.4%	1	9.1%	7	7.2%
４万円～６万円未満	5	4.6%	0	0.0%	5	5.2%
６万円～８万円未満	9	8.3%	0	0.0%	9	9.3%
８万円～１０万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
１０万円～１５万円未満	3	2.8%	0	0.0%	3	3.1%
１５万円以上	1	0.9%	0	0.0%	1	1.0%
無回答	12	11.1%	2	18.2%	10	10.3%

質問２０ 福祉サービスを利用したことがない理由【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	537	—	16	—	521	—
自分でできることは自分で解決したい	174	32.4%	6	37.5%	168	32.2%
家庭の中に他人に入ってほしくない	21	3.9%	0	0.0%	21	4.0%
どのようなサービスがあるのかわからない	61	11.4%	2	12.5%	59	11.3%
福祉サービスの時間と希望のサービスの時間が合わない	6	1.1%	1	6.3%	5	1.0%
費用がかかるためサービスを受けられない	17	3.2%	1	6.3%	16	3.1%
福祉サービスを受けたが対応が悪く以後受けていない	3	0.6%	1	6.3%	2	0.4%
福祉サービスを利用する必要がない	137	25.5%	1	6.3%	136	26.1%
必要な福祉サービスがない	21	3.9%	2	12.5%	19	3.6%
その他	47	8.8%	0	0.0%	47	9.0%
無回答	126	23.5%	5	31.3%	121	23.2%

質問２１ 質問２０において必要な福祉サービスがないと答えた方の必要なサービスの主な内容（自由記載）

質問 2 2 健康被害を受けた人の、精神的なケア・カウンセリングの有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
精神的なケアやカウンセリングを受けたことがある	94	12.6%	4	13.8%	90	12.6%
受けたことはないが必要性を感じている	249	33.5%	13	44.8%	236	33.0%
受けたことはないし必要性も感じていない	280	37.6%	7	24.1%	273	38.2%
無回答	121	16.3%	5	17.2%	116	16.2%

質問 2 3 家族の精神的なケア・カウンセリングの有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
精神的なケアやカウンセリングを受けたことがある	55	7.4%	1	3.4%	54	7.6%
受けたことはないが必要性を感じている	248	33.3%	14	48.3%	234	32.7%
受けたことはないし必要性も感じていない	320	43.0%	11	37.9%	309	43.2%
無回答	121	16.3%	3	10.3%	118	16.5%

■健康被害を受けた方の入所・通所施設の利用及び就学状況等

質問 2 4 - 1 入所・通所施設利用の別

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	36	100.0%	2	100.0%	34	100.0%
入所	14	38.9%	2	100.0%	12	35.3%
通所	22	61.1%	0	0.0%	22	64.7%

質問 2 4 - 2 施設の種類の種類

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	36	100.0%	2	100.0%	34	100.0%
知的障害者授産施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
身体障害者授産施設	4	11.1%	0	0.0%	4	11.8%
精神障害者授産施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
知的障害者更生施設	1	2.8%	0	0.0%	1	2.9%
身体障害者更生施設	4	11.1%	0	0.0%	4	11.8%
身体障害者療護施設	9	25.0%	2	100.0%	7	20.6%
その他	12	33.3%	0	0.0%	12	35.3%
無回答	6	16.7%	0	0.0%	6	17.6%

質問 2 5 施設利用の問題点【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	36	—	2	—	34	—
施設を使用したいが空きがない	1	2.8%	0	0.0%	1	2.9%
適当な施設がない	4	11.1%	0	0.0%	4	11.8%
施設の利用の期限が限られている	4	11.1%	0	0.0%	4	11.8%
障害の程度によっては退所要求されることがある	3	8.3%	0	0.0%	3	8.8%
入所施設への交通手段に困っている	2	5.6%	0	0.0%	2	5.9%
通所施設への交通手段に困っている	6	16.7%	0	0.0%	6	17.6%
施設を利用するにあたって問題点はない	11	30.6%	0	0.0%	11	32.4%
その他	6	16.7%	0	0.0%	6	17.6%
無回答	8	22.2%	2	100.0%	6	17.6%

質問 2 6 健康被害を受けた人の就学状況

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	83	100.0%	1	100.0%	82	100.0%
保育所に通っている	2	2.4%	0	0.0%	2	2.4%
幼稚園に通園している	1	1.2%	0	0.0%	1	1.2%
養護学校に在学している	10	12.0%	1	100.0%	9	11.0%
小学校に在学している	23	27.7%	0	0.0%	23	28.0%
中学校に在学している	8	9.6%	0	0.0%	8	9.8%
高等学校に在学している	6	7.2%	0	0.0%	6	7.3%
大学に在学している	11	13.3%	0	0.0%	11	13.4%
その他	12	14.5%	0	0.0%	12	14.6%
無回答	10	12.0%	0	0.0%	10	12.2%

質問 2 7 健康被害を受けた人の就労状況

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	721	100.0%	29	100.0%	692	100.0%
仕事をしている	222	30.8%	8	27.6%	214	30.9%
福祉施設で仕事をしている	5	0.7%	0	0.0%	5	0.7%
求職中	18	2.5%	1	3.4%	17	2.5%
仕事に就いていない	319	44.2%	10	34.5%	309	44.7%
無回答	157	21.8%	10	34.5%	147	21.2%

質問 2 7 - 1 企業形態

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	222	100.0%	8	100.0%	214	100.0%
一般企業	104	46.8%	4	50.0%	100	46.7%
自営業	45	20.3%	2	25.0%	43	20.1%
公務員	13	5.9%	0	0.0%	13	6.1%
その他	59	26.6%	2	25.0%	57	26.6%
無回答	1	0.5%	0	0.0%	1	0.5%

質問 2 7 - 2 福祉施設の形態

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	5	100.0%	0		5	100.0%
作業所	1	20.0%	0		1	20.0%
福祉工場	0	0.0%	0		0	
授産施設	1	20.0%	0		1	20.0%
その他	2	40.0%	0		2	40.0%
無回答	1	20.0%	0		1	20.0%

質問 2 7 - 3 求職状況【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	18	—	1	—	17	—
障害者職業能力開発校で訓練中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ハローワーク	12	66.7%	0	0.0%	12	70.6%
人材バンク等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
知人等に相談	6	33.3%	0	0.0%	6	35.3%
その他	2	11.1%	0	0.0%	2	11.8%
無回答	1	5.6%	1	100.0%	0	0.0%

質問 2 7 - 4 仕事に就いてない理由

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	319	100.0%	10	100.0%	309	100.0%
医薬品の副作用による健康被害のため仕事ができない	164	51.4%	8	80.0%	156	50.5%
もともと病弱で仕事に就いていない	12	3.8%	1	10.0%	11	3.6%
就学中	35	11.0%	0	0.0%	35	11.3%
未就学	7	2.2%	0	0.0%	7	2.3%
その他	91	28.5%	1	10.0%	90	29.1%
無回答	10	3.1%	0	0.0%	10	3.2%

■健康被害を受けた方のリハビリテーション関係

質問 2 8 リハビリ実施の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
リハビリテーションをしている	116	15.6%	4	13.8%	112	15.7%
リハビリテーションをしたいができない	31	4.2%	1	3.4%	30	4.2%
リハビリテーションをしていない	309	41.5%	11	37.9%	298	41.7%
無回答	288	38.7%	13	44.8%	275	38.5%

質問 2 8 訓練形態

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	116	100.0%	4	100.0%	112	100.0%
専門家の指導による訓練	80	69.0%	4	100.0%	76	67.9%
独学による訓練	32	27.6%	0	0.0%	32	28.6%
無回答	4	3.4%	0	0.0%	4	3.6%

質問 29 質問 28 においてリハビリテーションをしていると答えた方の実施している主な内容（自由記載）

質問 30 質問 28 においてリハビリテーションをしたいができないと答えた方の主な理由（自由記載）

質問 31-1 居宅以外での活動の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
居宅以外の活動に参加をしている	186	25.0%	5	17.2%	181	25.3%
居宅以外の活動に参加をしていない	308	41.4%	18	62.1%	290	40.6%
無回答	250	33.6%	6	20.7%	244	34.1%

質問 31-1 居宅以外活動の内容【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	186	—	5	—	181	—
スポーツ	85	45.7%	2	40.0%	83	45.9%
文化活動	76	40.9%	3	60.0%	73	40.3%
ボランティア	39	21.0%	1	20.0%	38	21.0%
その他	25	13.4%	1	20.0%	24	13.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問 31-2 居宅以外活動に参加していない理由【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	308	—	18	—	290	—
医薬品の副作用による健康被害のためできない	181	58.8%	13	72.2%	168	57.9%
もともと病弱でできない	11	3.6%	2	11.1%	9	3.1%
スポーツ、文化活動に興味があり可能な限り参加したい	50	16.2%	4	22.2%	46	15.9%
その他	56	18.2%	1	5.6%	55	19.0%
無回答	19	6.2%	0	0.0%	19	6.6%

■医薬品副作用被害救済給付受給者の方のみに対する質問

質問３２－１ 医薬品副作用被害救済制度の認知（情報入手先）【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	173	—			173	—
医師から教えてもらった	57	32.9%			57	32.9%
薬剤師から教えてもらった	5	2.9%			5	2.9%
看護師から教えてもらった	0	0.0%			0	0.0%
医療福祉相談室のケースワーカーから教えてもらった	10	5.8%			10	5.8%
医療機関事務担当者から教えてもらった	11	6.4%			11	6.4%
機構が行なう広報により知った	25	14.5%			25	14.5%
政府広報により知った	2	1.2%			2	1.2%
公的機関から教えてもらった	14	8.1%			14	8.1%
製薬企業から教えてもらった	6	3.5%			6	3.5%
弁護士から教えてもらった	15	8.7%			15	8.7%
知人から教えてもらった	28	16.2%			28	16.2%
その他	18	10.4%			18	10.4%
無回答	8	4.6%			8	4.6%

質問３２－２ 機構広報の媒体

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	25	100.0%			25	100.0%
新聞	16	64.0%			16	64.0%
週刊誌	2	8.0%			2	8.0%
専門誌	4	16.0%			4	16.0%
機構のホームページ	2	8.0%			2	8.0%
無回答	1	4.0%			1	4.0%

質問３３ 医療費、医療手当に係る救済給付請求をすることができなかった期間の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	173	100.0%			173	100.0%
請求期間が経過してしまい請求ができない期間があった	69	39.9%			69	39.9%
請求をすることができない期間はなかった	69	39.9%			69	39.9%
無回答	35	20.2%			35	20.2%

質問３４ 医療費、医療手当に係る救済給付請求をすることができなかった期間

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	69	100.0%			69	100.0%
３ヶ月未満	3	4.3%			3	4.3%
３ヶ月～６ヶ月未満	6	8.7%			6	8.7%
６ヶ月～１年未満	8	11.6%			8	11.6%
１年～１年６ヶ月未満	4	5.8%			4	5.8%
１年６ヶ月～２年未満	11	15.9%			11	15.9%
２年～３年未満	4	5.8%			4	5.8%
３年～５年未満	11	15.9%			11	15.9%
５年以上	20	29.0%			20	29.0%
無回答	2	2.9%			2	2.9%

質問３５ 障害年金等に係る救済給付請求をすることができなかった期間の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	173	100.0%			173	100.0%
制度を知らなかったため請求できない期間があった	66	38.2%			66	38.2%
請求をすることができない期間は無かった	47	27.2%			47	27.2%
障害の程度が軽かったので請求はしていない	0	0.0%			0	0.0%
障害は無かったので請求はしていない	0	0.0%			0	0.0%
無回答	60	34.7%			60	34.7%

質問３６ 障害年金等に係る救済給付請求をすることができなかった期間

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	66	100.0%			66	100.0%
３ヶ月未満	4	6.1%			4	6.1%
３ヶ月～６ヶ月未満	4	6.1%			4	6.1%
６ヶ月～１年未満	4	6.1%			4	6.1%
１年～１年６ヶ月未満	6	9.1%			6	9.1%
１年６ヶ月～２年未満	10	15.2%			10	15.2%
２年～３年未満	7	10.6%			7	10.6%
３年～５年未満	7	10.6%			7	10.6%
５年以上	23	34.8%			23	34.8%
無回答	1	1.5%			1	1.5%

質問３７ 健康被害が起きてから救済給付請求をするまでの期間

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	173	100.0%			173	100.0%
３ヶ月未満	8	4.6%			8	4.6%
３ヶ月～６ヶ月未満	12	6.9%			12	6.9%
６ヶ月～１年未満	25	14.5%			25	14.5%
１年～１年６ヶ月未満	19	11.0%			19	11.0%
１年６ヶ月～２年未満	32	18.5%			32	18.5%
２年～３年未満	19	11.0%			19	11.0%
３年～５年未満	15	8.7%			15	8.7%
５年以上	29	16.8%			29	16.8%
無回答	14	8.1%			14	8.1%

質問３８ 最初の治療時における健康被害の説明の有無

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	173	100.0%			173	100.0%
医師から説明を受けた	101	58.4%			101	58.4%
薬剤師から説明を受けた	0	0.0%			0	0.0%
看護師から説明を受けた	0	0.0%			0	0.0%
医師、薬剤師、看護師以外の医療機関職員からの説明	0	0.0%			0	0.0%
最初の治療当時、医薬品の副作用の説明を受けていない	64	37.0%			64	37.0%
無回答	8	4.6%			8	4.6%

質問３９ 健康被害が起きてから原因特定までの期間

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	173	100.0%			173	100.0%
１日（被害当日）	11	6.4%			11	6.4%
２日～３日	13	7.5%			13	7.5%
４日～７日	12	6.9%			12	6.9%
８日～１４日	13	7.5%			13	7.5%
１５日～１月	20	11.6%			20	11.6%
２月～３月	13	7.5%			13	7.5%
４月～６月	18	10.4%			18	10.4%
７月～１年	14	8.1%			14	8.1%
その他（１年以上）	42	24.3%			42	24.3%
無回答	17	9.8%			17	9.8%

質問４０ 健康被害が起きてから原因となる医薬品の服薬期間

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	173	100.0%			173	100.0%
１日（被害当日）	61	35.3%			61	35.3%
２日～３日	16	9.2%			16	9.2%
４日～７日	14	8.1%			14	8.1%
８日～１４日	4	2.3%			4	2.3%
１５日～１月	14	8.1%			14	8.1%
２月～３月	5	2.9%			5	2.9%
４月～６月	5	2.9%			5	2.9%
７月～１年	9	5.2%			9	5.2%
その他（１年以上）	16	9.2%			16	9.2%
被害が起きる前に服薬を中止	10	5.8%			10	5.8%
無回答	19	11.0%			19	11.0%

■今後の生活

質問４１ 将来の介護等

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
不安である	337	45.3%	18	62.1%	319	44.6%
不安はない	93	12.5%	0	0.0%	93	13.0%
どちらとも言えない	192	25.8%	5	17.2%	187	26.2%
無回答	122	16.4%	6	20.7%	116	16.2%

質問４２ 不安である理由【複数回答】

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	337	—	18	—	319	—
介護できる人がいない	116	34.4%	6	33.3%	110	34.5%
介護する適当な施設がない	22	6.5%	2	11.1%	20	6.3%
必要な時に施設で受け入れてくれるか不安	145	43.0%	9	50.0%	136	42.6%
利用できる福祉サービスがない	19	5.6%	2	11.1%	17	5.3%
家族以外に介護等を依頼する費用がない	94	27.9%	6	33.3%	88	27.6%
家族が離れ離れになる	44	13.1%	5	27.8%	39	12.2%
その他	69	20.5%	2	11.1%	67	21.0%
無回答	11	3.3%	1	5.6%	10	3.1%

質問４３ 家族が介護できなくなった場合の対応

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	247	100.0%	13	100.0%	234	100.0%
施設入所を考えている	104	42.1%	4	30.8%	100	42.7%
親戚・知人を頼る	21	8.5%	0	0.0%	21	9.0%
福祉サービスを利用する	91	36.8%	5	38.5%	86	36.8%
その他	31	12.6%	4	30.8%	27	11.5%

■その他

質問４４ 医薬品副作用被害救済制度への要望として記載されている内容（自由記載）

質問４５ 調査の回答者

	合 計		救済制度創設前		救済制度創設後	
合計	744	100.0%	29	100.0%	715	100.0%
健康被害を受けた本人	414	55.6%	9	31.0%	405	56.6%
本人の意向を聞いて家族が記入	122	16.4%	11	37.9%	111	15.5%
本人の意向をくみとり家族が記入	47	6.3%	2	6.9%	45	6.3%
家族が回答	128	17.2%	5	17.2%	123	17.2%
無回答	33	4.4%	2	6.9%	31	4.3%

(参考資料)

医薬品副作用被害救済制度創設以降の健康被害者集計結果

「障害年金等を受給」とは、医薬品副作用被害救済制度における障害年金、障害児養育年金を受給している者

「未受給治療中」とは、障害年金等を受給していないが現在も健康被害（後遺症も含む）の治療をしている者

「その他」とは、障害年金等を受給していない者でかつ治療も実施していない者

■本人の基本状況

質問 1-1 性別

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
男	336	47.0%	87	50.3%	75	49.0%	174	44.7%
女	373	52.2%	86	49.7%	77	50.3%	210	54.0%
無回答	6	0.8%	0	0.0%	1	0.7%	5	1.3%

質問 1-2 年齢

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
0～9 歳	31	4.3%	8	4.6%	4	2.6%	19	4.9%
10～19 歳	36	5.0%	12	6.9%	2	1.3%	22	5.7%
20～29 歳	47	6.6%	16	9.2%	10	6.5%	21	5.4%
30～39 歳	86	12.0%	11	6.4%	25	16.3%	50	12.9%
40～49 歳	84	11.7%	19	11.0%	19	12.4%	46	11.8%
50～59 歳	130	18.2%	38	22.0%	22	14.4%	70	18.0%
60～69 歳	156	21.8%	32	18.5%	37	24.2%	87	22.4%
70～79 歳	94	13.1%	22	12.7%	22	14.4%	50	12.9%
80～89 歳	24	3.4%	8	4.6%	6	3.9%	10	2.6%
90 歳以上	2	0.3%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
無回答	25	3.5%	6	3.5%	6	3.9%	13	3.3%

質問 1-3 結婚

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
未婚	184	25.7%	66	38.2%	39	25.5%	79	20.3%
既婚	509	71.2%	104	60.1%	109	71.2%	296	76.1%
無回答	22	3.1%	3	1.7%	5	3.3%	14	3.6%

質問 2-1 健康被害を受けた時の本人の年齢

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
0～9 歳	55	7.7%	24	13.9%	6	3.9%	25	6.4%
10～19 歳	36	5.0%	12	6.9%	2	1.3%	22	5.7%
20～29 歳	65	9.1%	17	9.8%	20	13.1%	28	7.2%
30～39 歳	107	15.0%	23	13.3%	26	17.0%	58	14.9%
40～49 歳	92	12.9%	29	16.8%	19	12.4%	44	11.3%
50～59 歳	140	19.6%	37	21.4%	24	15.7%	79	20.3%
60～69 歳	130	18.2%	14	8.1%	34	22.2%	82	21.1%
70～79 歳	55	7.7%	8	4.6%	14	9.2%	33	8.5%
80～89 歳	14	2.0%	4	2.3%	3	2.0%	7	1.8%
90 歳以上	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
無回答	20	2.8%	5	2.9%	5	3.3%	10	2.6%

■医薬品の副作用により健康被害が起きた当時の状況

質問２－２ 健康被害による本人の仕事、就学への影響【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	—	173	—	153	—	389	—
健康被害のため本人が仕事をやめた	201	28.1%	91	52.6%	60	39.2%	50	12.9%
健康被害のため本人の収入が減った	222	31.0%	71	41.0%	65	42.5%	86	22.1%
健康被害のため本人が欠勤するようになった	159	22.2%	14	8.1%	36	23.5%	109	28.0%
健康被害のため本人が転職した	14	2.0%	5	2.9%	7	4.6%	2	0.5%
健康被害を受けたとき本人は無職であった	140	19.6%	25	14.5%	25	16.3%	90	23.1%
健康被害のため本人が在学中の学校をやめた	7	1.0%	6	3.5%	0	0.0%	1	0.3%
健康被害が原因で在学中に本人がいじめを受けた	5	0.7%	3	1.7%	1	0.7%	1	0.3%
健康被害のため本人が在学中の学校を休学した	24	3.4%	12	6.9%	0	0.0%	12	3.1%
健康被害のため本人が転校した	5	0.7%	3	1.7%	1	0.7%	1	0.3%
健康被害を受けたとき本人は未就学であった	35	4.9%	19	11.0%	2	1.3%	14	3.6%
健康被害のため転居した	32	4.5%	18	10.4%	8	5.2%	6	1.5%
その他	147	20.6%	37	21.4%	40	26.1%	70	18.0%
無回答	95	13.3%	5	2.9%	18	11.8%	72	18.5%

質問３ 健康被害による、家族への影響【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	—	173	—	153	—	389	—
介護等のため家族が仕事をやめた	71	9.9%	44	25.4%	14	9.2%	13	3.3%
介護等のため家族の収入が減った	160	22.4%	70	40.5%	37	24.2%	53	13.6%
介護等のため家族が欠勤するようになった	152	21.3%	49	28.3%	34	22.2%	69	17.7%
介護等のため家族が転職した	16	2.2%	8	4.6%	4	2.6%	4	1.0%
介護等のため家族が在学中の学校をやめた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
介護等のため家族が在学中の学校を休学した	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
介護等のため家族が転校した	3	0.4%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.3%
介護等のため転居した	22	3.1%	12	6.9%	7	4.6%	3	0.8%
その他	116	16.2%	34	19.7%	35	22.9%	47	12.1%
無回答	357	49.9%	43	24.9%	67	43.8%	247	63.5%

質問4 健康被害による、収入減

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
1 割減った	38	5.3%	7	4.0%	10	6.5%	21	5.4%
2 割減った	43	6.0%	7	4.0%	11	7.2%	25	6.4%
3 割減った	34	4.8%	13	7.5%	10	6.5%	11	2.8%
4～5 割減った	66	9.2%	26	15.0%	21	13.7%	19	4.9%
6～7 割減った	25	3.5%	13	7.5%	9	5.9%	3	0.8%
8 割以上減った	51	7.1%	25	14.5%	15	9.8%	11	2.8%
減ったが割合は不明	172	24.1%	45	26.0%	37	24.2%	90	23.1%
収入は減らなかった	186	26.0%	20	11.6%	21	13.7%	145	37.3%
無回答	100	14.0%	17	9.8%	19	12.4%	64	16.5%

■社会福祉・社会保障制度受給等の状況

質問5-1 身体障害者手帳の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
持っている	251	35.1%	157	90.8%	57	37.3%	37	9.5%
持っていない	367	51.3%	6	3.5%	74	48.4%	287	73.8%
無回答	97	13.6%	10	5.8%	22	14.4%	65	16.7%

質問5-1 障害の程度（身体障害者手帳）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	251	100.0%	157	100.0%	57	100.0%	37	100.0%
1 級	123	49.0%	91	58.0%	19	33.3%	13	35.1%
2 級	56	22.3%	45	28.7%	6	10.5%	5	13.5%
3 級	35	13.9%	13	8.3%	16	28.1%	6	16.2%
4 級	24	9.6%	2	1.3%	10	17.5%	12	32.4%
5 級	6	2.4%	2	1.3%	4	7.0%	0	0.0%
6 級	2	0.8%	0	0.0%	1	1.8%	1	2.7%
無回答	5	2.0%	4	2.5%	1	1.8%	0	0.0%

質問5-2 療育手帳の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
持っている	33	4.6%	24	13.9%	3	2.0%	6	1.5%
持っていない	405	56.6%	35	20.2%	89	58.2%	281	72.2%
無回答	277	38.7%	114	65.9%	61	39.9%	102	26.2%

質問5-2 障害の程度（療育手帳）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	33	100.0%	24	100.0%	3	100.0%	6	100.0%
A	15	45.5%	13	54.2%	1	33.3%	1	16.7%
B	14	42.4%	9	37.5%	1	33.3%	4	66.7%
無回答	4	12.1%	2	8.3%	1	33.3%	1	16.7%

質問5-3 精神障害者保健福祉手帳の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
持っている	23	3.2%	8	4.6%	9	5.9%	6	1.5%
持っていない	418	58.5%	47	27.2%	87	56.9%	284	73.0%
無回答	274	38.3%	118	68.2%	57	37.3%	99	25.4%

質問５－３ 障害の程度（精神障害者保健福祉手帳）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	23	100.0%	8	100.0%	9	100.0%	6	100.0%
１級	7	30.4%	2	25.0%	3	33.3%	2	33.3%
２級	10	43.5%	5	62.5%	3	33.3%	2	33.3%
３級	4	17.4%	1	12.5%	2	22.2%	1	16.7%
無回答	2	8.7%	0	0.0%	1	11.1%	1	16.7%

質問６－１ 障害年金（医薬品副作用被害救済制度）の受給の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
はい	158	22.1%	158	91.3%	0	0.0%	0	0.0%
いいえ	557	77.9%	15	8.7%	153	100.0%	389	100.0%

質問６－１ 障害年金等を受給している場合の障害の程度 （１）障害年金

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	158	100.0%	158	100.0%				
１級	102	64.6%	102	64.6%				
２級	53	33.5%	53	33.5%				
無回答	3	1.9%	3	1.9%				

質問６－２ 障害児養育年金（医薬品副作用被害救済制度）の受給の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
はい	15	2.1%	15	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
いいえ	700	97.9%	158	91.3%	153	100.0%	389	100.0%

質問６－２ 障害年金等を受給している場合の障害の程度 （２）障害児養育年金

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	15	100.0%	15	100.0%				
１級	11	73.3%	11	73.3%				
２級	4	26.7%	4	26.7%				
無回答	0	0.0%	0	0.0%				

質問６－３ 障害基礎年金（国民年金制度）の受給の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
はい	83	11.6%	64	37.0%	8	5.2%	11	2.8%
いいえ	632	88.4%	109	63.0%	145	94.8%	378	97.2%

質問６－３ 障害年金等を受給している場合の障害の程度 （３）障害基礎年金

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	83	100.0%	64	100.0%	8	100.0%	11	100.0%
１級	54	65.1%	48	75.0%	2	25.0%	4	36.4%
２級	28	33.7%	16	25.0%	5	62.5%	7	63.6%
無回答	1	1.2%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%

質問６－４ 障害厚生年金（厚生年金保険制度）の受給の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
はい	43	6.0%	31	17.9%	9	5.9%	3	0.8%
いいえ	672	94.0%	142	82.1%	144	94.1%	386	99.2%

質問6-4 障害年金等を受給している場合の障害の程度 (4) 障害厚生年金

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	43	100.0%	31	100.0%	9	100.0%	3	100.0%
1 級	25	58.1%	21	67.7%	4	44.4%	0	0.0%
2 級	13	30.2%	10	32.3%	2	22.2%	1	33.3%
3 級	4	9.3%	0	0.0%	3	33.3%	1	33.3%
無回答	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%

質問6-5 障害手当金（厚生年金保険制度）の受給の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
はい	3	0.4%	2	1.2%	0	0.0%	1	0.3%
いいえ	712	99.6%	171	98.8%	153	100.0%	388	99.7%

質問6-6 障害共済年金（共済組合制度）の受給の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
はい	9	1.3%	6	3.5%	2	1.3%	1	0.3%
いいえ	706	98.7%	167	96.5%	151	98.7%	388	99.7%

質問6-6 障害年金等を受給している場合の障害の程度 (6) 障害共済年金

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	9	100.0%	6	100.0%	2	100.0%	1	100.0%
1 級	5	55.6%	4	66.7%	0	0.0%	1	100.0%
2 級	1	11.1%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
3 級	2	22.2%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
無回答	1	11.1%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%

質問6-7 障害一時金（共済組合制度）の受給の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
はい	9	1.3%	1	0.6%	2	1.3%	6	1.5%
いいえ	706	98.7%	172	99.4%	151	98.7%	383	98.5%

質問6－8 健康被害による年金等の受給状況【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	—	173	—	153	—	389	—
障害年金（医薬品副作用被害救済制度）	158	22.1%	158	91.3%	0	0.0%	0	0.0%
障害児養育年金（医薬品副作用被害救済制度）	15	2.1%	15	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
障害基礎年金（国民年金制度）	83	11.6%	64	37.0%	8	5.2%	11	2.8%
障害厚生年金（厚生年金保険制度）	43	6.0%	31	17.9%	9	5.9%	3	0.8%
障害手当金（厚生年金保険制度）	3	0.4%	2	1.2%	0	0.0%	1	0.3%
障害共済年金（共済組合制度）	9	1.3%	6	3.5%	2	1.3%	1	0.3%
障害一時金（共済組合制度）	9	1.3%	1	0.6%	2	1.3%	6	1.5%
年金等（障害一時金）などを受給したことはない	204	28.5%	0	0.0%	51	33.3%	153	39.3%
無回答	300	42.0%	0	0.0%	83	54.2%	217	55.8%

質問7－1 健康被害による、手当等の受給状況【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	—	173	—	153	—	389	—
障害児福祉手当	18	2.5%	14	8.1%	2	1.3%	2	0.5%
特別障害者手当	14	2.0%	12	6.9%	2	1.3%	0	0.0%
特別児童扶養手当	23	3.2%	17	9.8%	2	1.3%	4	1.0%
児童扶養手当	17	2.4%	3	1.7%	3	2.0%	11	2.8%
障害者福祉手当	38	5.3%	27	15.6%	5	3.3%	6	1.5%
その他	33	4.6%	16	9.2%	12	7.8%	5	1.3%
現在手当での受給は受けていないが過去に受給していた	47	6.6%	9	5.2%	11	7.2%	27	6.9%
手当の受給は受けたことはない	414	57.9%	56	32.4%	96	62.7%	262	67.4%
無回答	138	19.3%	36	20.8%	23	15.0%	79	20.3%

質問7－2 過去に受給していた手当等【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	47	—	9	—	11	—	27	—
障害児福祉手当	3	6.4%	2	22.2%	1	9.1%	0	0.0%
特別障害者手当	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特別児童扶養手当	2	4.3%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
児童扶養手当	4	8.5%	0	0.0%	2	18.2%	2	7.4%
障害者福祉手当	2	4.3%	1	11.1%	0	0.0%	1	3.7%
その他	36	76.6%	6	66.7%	7	63.6%	23	85.2%
無回答	2	4.3%	0	0.0%	1	9.1%	1	3.7%

質問8 利用したことのある税金等の軽減・優遇措置【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	—	173	—	153	—	389	—
所得控除（障害者控除）	150	21.0%	89	51.4%	33	21.6%	28	7.2%
住民税の非課税または所得控除	100	14.0%	55	31.8%	22	14.4%	23	5.9%
相続税の控除	5	0.7%	1	0.6%	1	0.7%	3	0.8%
定期預金等の利子非課税（マル優）	76	10.6%	56	32.4%	10	6.5%	10	2.6%
贈与税の非課税（特別障害者扶養信託）	2	0.3%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
自動車税、自動車取得税の減免	141	19.7%	88	50.9%	35	22.9%	18	4.6%
NHK受信料の減免	57	8.0%	43	24.9%	10	6.5%	4	1.0%
水道・下水道料金の免除	26	3.6%	20	11.6%	4	2.6%	2	0.5%
郵便料金の割引	4	0.6%	4	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
官製はがき（青い鳥はがき）の無料配布	43	6.0%	33	19.1%	6	3.9%	4	1.0%
電話番号案内の無料利用（ふれあい案内）	36	5.0%	26	15.0%	9	5.9%	1	0.3%
福祉用クレジット通話	2	0.3%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
J Rその他の交通運賃割引	145	20.3%	101	58.4%	30	19.6%	14	3.6%
その他	28	3.9%	12	6.9%	8	5.2%	8	2.1%
無回答	437	61.1%	17	9.8%	87	56.9%	333	85.6%

■健康被害を受けた方の健康状態、治療状況等

質問9 健康被害の原因となった医薬品の認知

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
知っている	590	82.5%	134	77.5%	126	82.4%	330	84.8%
知らない	93	13.0%	29	16.8%	22	14.4%	42	10.8%
無回答	32	4.5%	10	5.8%	5	3.3%	17	4.4%

質問10 健康被害の内容【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	—	173	—	153	—	389	—
皮膚障害	264	36.9%	47	27.2%	53	34.6%	164	42.2%
運動機能障害	164	22.9%	80	46.2%	52	34.0%	32	8.2%
低酸素脳症	34	4.8%	22	12.7%	7	4.6%	5	1.3%
視力障害	171	23.9%	82	47.4%	46	30.1%	43	11.1%
呼吸器系障害	85	11.9%	23	13.3%	23	15.0%	39	10.0%
腎機能障害	78	10.9%	16	9.2%	24	15.7%	38	9.8%
聴覚障害	38	5.3%	21	12.1%	11	7.2%	6	1.5%
薬物性肝障害	171	23.9%	9	5.2%	31	20.3%	131	33.7%
薬物性ショック	80	11.2%	20	11.6%	16	10.5%	44	11.3%
その他	186	26.0%	38	22.0%	49	32.0%	99	25.4%
無回答	27	3.8%	5	2.9%	4	2.6%	18	4.6%

質問 1 1 健康被害の治療状況

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
健康被害の治療をしている	289	40.4%	136	78.6%	153	100.0%	0	0.0%
健康被害による治療は終了した	268	37.5%	12	6.9%	0	0.0%	256	65.8%
健康被害による治療を中止した	20	2.8%	3	1.7%	0	0.0%	17	4.4%
健康被害による治療は受けていない	91	12.7%	11	6.4%	0	0.0%	80	20.6%
無回答	47	6.6%	11	6.4%	0	0.0%	36	9.3%

質問 1 2 - 1 過去 1 年間の治療状況【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	—	173	—	153	—	389	—
過去 1 年間の入院日数	267	37.3%	82	47.4%	69	45.1%	116	29.8%
1 月あたりの通院回数	427	59.7%	121	69.9%	135	88.2%	171	44.0%
1 月あたりの通院にかかる交通費	327	45.7%	94	54.3%	104	68.0%	129	33.2%
1 月あたりの保険医療費の自己負担額	354	49.5%	97	56.1%	114	74.5%	143	36.8%
1 月あたりの自費（保険外）による治療費	200	28.0%	69	39.9%	63	41.2%	68	17.5%
1 月あたりの自費（保険外）による治療雑費	191	26.7%	77	44.5%	51	33.3%	63	16.2%
医療機関にかかっていない	108	15.1%	7	4.0%	1	0.7%	100	25.7%
無回答	112	15.7%	15	8.7%	3	2.0%	94	24.2%

質問 1 2 - 2 過去 1 年間の入院日数

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	267	100.0%	82	100.0%	69	100.0%	116	100.0%
入院なし	112	41.9%	27	32.9%	27	39.1%	58	50.0%
1～15 日	50	18.7%	13	15.9%	12	17.4%	25	21.6%
16～30 日	32	12.0%	4	4.9%	9	13.0%	19	16.4%
31～60 日	17	6.4%	3	3.7%	7	10.1%	7	6.0%
61～120 日	13	4.9%	7	8.5%	6	8.7%	0	0.0%
121～180 日	6	2.2%	2	2.4%	1	1.4%	3	2.6%
181 日以上	33	12.4%	24	29.3%	6	8.7%	3	2.6%
無回答	4	1.5%	2	2.4%	1	1.4%	1	0.9%
平均	59.9		122.4		49.7		22.5	

質問 1 2 - 3 通院回数／月

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	427	100.0%	121	100.0%	135	100.0%	171	100.0%
通院なし	9	2.1%	2	1.7%	1	0.7%	6	3.5%
1 回	279	65.3%	63	52.1%	96	71.1%	120	70.2%
2 回	83	19.4%	31	25.6%	23	17.0%	29	17.0%
3～5 回	26	6.1%	12	9.9%	6	4.4%	8	4.7%
6～10 回	14	3.3%	8	6.6%	2	1.5%	4	2.3%
11～15 回	7	1.6%	2	1.7%	2	1.5%	3	1.8%
16～20 回	7	1.6%	2	1.7%	4	3.0%	1	0.6%
21 回以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.5%	1	0.8%	1	0.7%	0	0.0%
平均	3.3		4.3		3.2		2.7	

質問 1 2 - 4 通院にかかる交通費／月

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	327	100.0%	94	100.0%	104	100.0%	129	100.0%
0 円	30	9.2%	3	3.2%	4	3.8%	23	17.8%
1～1500 円	122	37.3%	17	18.1%	45	43.3%	60	46.5%
1501～3000 円	64	19.6%	21	22.3%	20	19.2%	23	17.8%
3001～5000 円	39	11.9%	18	19.1%	14	13.5%	7	5.4%
5001～7500 円	8	2.4%	1	1.1%	3	2.9%	4	3.1%
7501～10000 円	22	6.7%	12	12.8%	5	4.8%	5	3.9%
10001～15000 円	11	3.4%	5	5.3%	5	4.8%	1	0.8%
15001～20000 円	11	3.4%	6	6.4%	3	2.9%	2	1.6%
20001 円以上	16	4.9%	10	10.6%	3	2.9%	3	2.3%
無回答	4	1.2%	1	1.1%	2	1.9%	1	0.8%
平均	5,546		9,454		4,949		3,182	

質問 1 2 - 5 保険医療費の自己負担額／月

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	354	100.0%	97	100.0%	114	100.0%	143	100.0%
0 円	57	16.1%	34	35.1%	11	9.6%	12	8.4%
1～2500 円	102	28.8%	23	23.7%	30	26.3%	49	34.3%
2501～5000 円	74	20.9%	11	11.3%	31	27.2%	32	22.4%
5001～7500 円	22	6.2%	3	3.1%	10	8.8%	9	6.3%
7501～10000 円	30	8.5%	4	4.1%	9	7.9%	17	11.9%
10001～15000 円	17	4.8%	2	2.1%	6	5.3%	9	6.3%
15001～20000 円	14	4.0%	3	3.1%	8	7.0%	3	2.1%
20001 円～30000 円	12	3.4%	5	5.2%	4	3.5%	3	2.1%
30001 円以上	24	6.8%	11	11.3%	5	4.4%	8	5.6%
無回答	2	0.6%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.7%
平均	12,424		14,489		10,589		12,501	

質問 1 2 - 6 保険外治療費／月

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	200	100.0%	69	100.0%	63	100.0%	68	100.0%
0 円	78	39.0%	23	33.3%	21	33.3%	34	50.0%
1～2500 円	37	18.5%	11	15.9%	13	20.6%	13	19.1%
2501～5000 円	43	21.5%	10	14.5%	18	28.6%	15	22.1%
5001～7500 円	6	3.0%	2	2.9%	2	3.2%	2	2.9%
7501～10000 円	7	3.5%	5	7.2%	1	1.6%	1	1.5%
10001～15000 円	4	2.0%	3	4.3%	1	1.6%	0	0.0%
15001～20000 円	6	3.0%	3	4.3%	2	3.2%	1	1.5%
20001 円～30000 円	10	5.0%	8	11.6%	2	3.2%	0	0.0%
30001 円以上	6	3.0%	3	4.3%	1	1.6%	2	2.9%
無回答	3	1.5%	1	1.4%	2	3.2%	0	0.0%
平均	5,545		8,568		4,475		3,483	

質問 1 2 - 7 保険外治療雑費／月

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	191	100.0%	77	100.0%	51	100.0%	63	100.0%
0 円	73	38.2%	14	18.2%	21	41.2%	38	60.3%
1～2500 円	31	16.2%	11	14.3%	9	17.6%	11	17.5%
2501～5000 円	26	13.6%	14	18.2%	5	9.8%	7	11.1%
5001～7500 円	6	3.1%	3	3.9%	1	2.0%	2	3.2%
7501～10000 円	17	8.9%	13	16.9%	4	7.8%	0	0.0%
10001～15000 円	6	3.1%	5	6.5%	1	2.0%	0	0.0%
15001～20000 円	6	3.1%	3	3.9%	3	5.9%	0	0.0%
20001 円～30000 円	7	3.7%	5	6.5%	1	2.0%	1	1.6%
30001 円以上	17	8.9%	9	11.7%	4	7.8%	4	6.3%
無回答	2	1.0%	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%
平均	12,750		18,001		11,602		7,225	

質問 1 3 医薬品副作用被害救済制度施行（昭和 5 5 年 5 月 1 日）前に健康被害を受けた方の副作用発生時期の質問項目

■健康被害を受けた方の日常生活

質問 1 4 - 1 介護等、支援の必要性

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
日常生活に介護、見守り等の支援は必要ない	345	48.3%	21	12.1%	70	45.8%	254	65.3%
日常生活に何らかの介護、見守り等の支援が必要である	234	32.7%	135	78.0%	60	39.2%	39	10.0%
無回答	136	19.0%	17	9.8%	23	15.0%	96	24.7%

質問 1 4 - 2 介護支援（食事）【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	234	—	135	—	60	—	39	—
自分で食べることができる	111	47.4%	50	37.0%	38	63.3%	23	59.0%
食べる時に介助が必要	71	30.3%	55	40.7%	9	15.0%	7	17.9%
注入している	25	10.7%	19	14.1%	3	5.0%	3	7.7%
その他	21	9.0%	13	9.6%	7	11.7%	1	2.6%
無回答	26	11.1%	12	8.9%	8	13.3%	6	15.4%

質問 1 4 - 3 介護支援（排泄）【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	234	—	135	—	60	—	39	—
すべて自分でできる	83	35.5%	38	28.1%	24	40.0%	21	53.8%
すべて自分でできるがうまくできない	30	12.8%	19	14.1%	10	16.7%	1	2.6%
全面的に介助が必要	57	24.4%	46	34.1%	6	10.0%	5	12.8%
必要な時に本人が介助を依頼	41	17.5%	28	20.7%	8	13.3%	5	12.8%
定期的にカテーテルで介助排尿	4	1.7%	2	1.5%	1	1.7%	1	2.6%
定期的に自分でカテーテルで排尿	2	0.9%	1	0.7%	0	0.0%	1	2.6%
その他	14	6.0%	7	5.2%	6	10.0%	1	2.6%
無回答	23	9.8%	9	6.7%	10	16.7%	4	10.3%

質問 1 4 - 4 介護支援（入浴）【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	234	—	135	—	60	—	39	—
自宅で支度して 1 人で入浴できる	55	23.5%	23	17.0%	17	28.3%	15	38.5%
支度してもらえば 1 人で入浴できる	50	21.4%	29	21.5%	14	23.3%	7	17.9%
入浴時の介助が必要	89	38.0%	64	47.4%	15	25.0%	10	25.6%
家族だけでは入浴の介助ができない	10	4.3%	8	5.9%	1	1.7%	1	2.6%
入浴サービスを利用している	18	7.7%	13	9.6%	5	8.3%	0	0.0%
その他	15	6.4%	9	6.7%	5	8.3%	1	2.6%
無回答	18	7.7%	5	3.7%	7	11.7%	6	15.4%

質問 1 4 - 5 介護支援（衣服の着脱）【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	234	—	135	—	60	—	39	—
自分でできる	102	43.6%	48	35.6%	33	55.0%	21	53.8%
介助が必要	98	41.9%	71	52.6%	15	25.0%	12	30.8%
その他	16	6.8%	8	5.9%	6	10.0%	2	5.1%
無回答	22	9.4%	9	6.7%	8	13.3%	5	12.8%

質問 1 4 - 6 介護支援（意思疎通）【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	234	—	135	—	60	—	39	—
言葉がわかる	138	59.0%	77	57.0%	37	61.7%	24	61.5%
言葉がわからない	38	16.2%	27	20.0%	6	10.0%	5	12.8%
その他	35	15.0%	23	17.0%	6	10.0%	6	15.4%
無回答	33	14.1%	13	9.6%	12	20.0%	8	20.5%

質問 1 4 - 7 健康被害者の介護上の問題【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	234	—	135	—	60	—	39	—
てんかん発作がある	27	11.5%	16	11.9%	5	8.3%	6	15.4%
大声を出す	17	7.3%	11	8.1%	6	10.0%	0	0.0%
多動がある	16	6.8%	13	9.6%	3	5.0%	0	0.0%
異食がある	11	4.7%	7	5.2%	2	3.3%	2	5.1%
自傷、他傷がある	14	6.0%	9	6.7%	4	6.7%	1	2.6%
とくに問題はない	80	34.2%	49	36.3%	17	28.3%	14	35.9%
その他	68	29.1%	44	32.6%	17	28.3%	7	17.9%
無回答	49	20.9%	20	14.8%	18	30.0%	11	28.2%

▲家族の介護支援の状況（複数回答）

質問 1 5 - 1 被害者本人との続柄（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	312	100.0%	181	100.0%	65	100.0%	66	100.0%
配偶者	106	34.0%	54	29.8%	27	41.5%	25	37.9%
親	106	34.0%	68	37.6%	18	27.7%	20	30.3%
子	57	18.3%	31	17.1%	14	21.5%	12	18.2%
子の配偶者	8	2.6%	5	2.8%	1	1.5%	2	3.0%
兄弟・姉妹	19	6.1%	13	7.2%	3	4.6%	3	4.5%
祖父母	4	1.3%	0	0.0%	2	3.1%	2	3.0%
孫	7	2.2%	6	3.3%	0	0.0%	1	1.5%
その他	5	1.6%	4	2.2%	0	0.0%	1	1.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問 1 5 - 2 年齢（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	312	100.0%	181	100.0%	65	100.0%	66	100.0%
0～9 歳	14	4.5%	2	1.1%	6	9.2%	6	9.1%
10～19 歳	19	6.1%	14	7.7%	2	3.1%	3	4.5%
20～29 歳	17	5.4%	11	6.1%	4	6.2%	2	3.0%
30～39 歳	46	14.7%	28	15.5%	8	12.3%	10	15.2%
40～49 歳	38	12.2%	22	12.2%	9	13.8%	7	10.6%
50～59 歳	59	18.9%	42	23.2%	5	7.7%	12	18.2%
60～69 歳	64	20.5%	33	18.2%	17	26.2%	14	21.2%
70～79 歳	41	13.1%	24	13.3%	10	15.4%	7	10.6%
80～89 歳	9	2.9%	3	1.7%	2	3.1%	4	6.1%
90 歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	5	1.6%	2	1.1%	2	3.1%	1	1.5%

質問 1 5 - 3 介護回数（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	312	100.0%	181	100.0%	65	100.0%	66	100.0%
毎日	177	56.7%	109	60.2%	33	50.8%	35	53.0%
週	49	15.7%	34	18.8%	6	9.2%	9	13.6%
月	20	6.4%	15	8.3%	5	7.7%	0	0.0%
無回答	66	21.2%	23	12.7%	21	32.3%	22	33.3%

質問 15-4 介護時間（1日の時間）（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	312	100.0%	181	100.0%	65	100.0%	66	100.0%
3 時間未満	118	37.8%	62	34.3%	26	40.0%	30	45.5%
3～6 時間未満	64	20.5%	36	19.9%	11	16.9%	17	25.8%
6～9 時間未満	13	4.2%	7	3.9%	5	7.7%	1	1.5%
9～15 時間未満	17	5.4%	10	5.5%	4	6.2%	3	4.5%
15～21 時間未満	8	2.6%	6	3.3%	0	0.0%	2	3.0%
21 時間以上	25	8.0%	19	10.5%	4	6.2%	2	3.0%
無回答	67	21.5%	41	22.7%	15	23.1%	11	16.7%

質問 15-5 介護時間（毎日の時間）（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	177	100.0%	109	100.0%	33	100.0%	35	100.0%
3 時間未満	44	24.9%	29	26.6%	5	15.2%	10	28.6%
3～6 時間未満	39	22.0%	23	21.1%	6	18.2%	10	28.6%
6～9 時間未満	11	6.2%	6	5.5%	4	12.1%	1	2.9%
9～15 時間未満	12	6.8%	7	6.4%	2	6.1%	3	8.6%
15～21 時間未満	8	4.5%	6	5.5%	0	0.0%	2	5.7%
21 時間以上	18	10.2%	14	12.8%	4	12.1%	0	0.0%
無回答	45	25.4%	24	22.0%	12	36.4%	9	25.7%

質問 15-6 介護時間（1週の回数）（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	49	100.0%	34	100.0%	6	100.0%	9	100.0%
1 回	8	16.3%	6	17.6%	0	0.0%	2	22.2%
2 回	16	32.7%	12	35.3%	2	33.3%	2	22.2%
3 回	9	18.4%	4	11.8%	1	16.7%	4	44.4%
4 回	8	16.3%	7	20.6%	0	0.0%	1	11.1%
5 回	6	12.2%	4	11.8%	2	33.3%	0	0.0%
6 回	1	2.0%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%
無回答	1	2.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%

質問 15-7 介護時間（1月の回数）（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	20	100.0%	15	100.0%	5	100.0%	0	
1 回	5	25.0%	5	33.3%	0	0.0%	0	
2 回	4	20.0%	2	13.3%	2	40.0%	0	
3 回	3	15.0%	3	20.0%	0	0.0%	0	
4 回	3	15.0%	2	13.3%	1	20.0%	0	
5～10 回	1	5.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	
11 回以上	1	5.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	
無回答	3	15.0%	2	13.3%	1	20.0%	0	

質問 15-8 家族の健康状態（介護者）

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	312	100.0%	181	100.0%	65	100.0%	66	100.0%
健康	109	34.9%	63	34.8%	19	29.2%	27	40.9%
疲労がみ	165	52.9%	101	55.8%	37	56.9%	27	40.9%
病弱	24	7.7%	8	4.4%	7	10.8%	9	13.6%
無回答	14	4.5%	9	5.0%	2	3.1%	3	4.5%

▲家族以外の介護支援の状況（複数回答）

質問 16-1 家族以外の介護支援

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
家族以外の人から介護の手助けを受けている	106	14.8%	76	43.9%	19	12.4%	11	2.8%
受けていない	467	65.3%	82	47.4%	105	68.6%	280	72.0%
無回答	142	19.9%	15	8.7%	29	19.0%	98	25.2%

質問 16-2 介護支援の頻度

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	106	100.0%	76	100.0%	19	100.0%	11	100.0%
毎日	29	27.4%	23	30.3%	3	15.8%	3	27.3%
週に 4 日以上	26	24.5%	22	28.9%	1	5.3%	3	27.3%
週に 2～3 日	24	22.6%	13	17.1%	8	42.1%	3	27.3%
週に 1 日	12	11.3%	7	9.2%	4	21.1%	1	9.1%
月に 2～3 日	8	7.5%	4	5.3%	3	15.8%	1	9.1%
月に 1 日以内	6	5.7%	6	7.9%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	0.9%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

質問 17 介護認定レベル

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	59	100.0%	34	100.0%	12	100.0%	13	100.0%
要支援	6	10.2%	0	0.0%	3	25.0%	3	23.1%
要介護 1	17	28.8%	9	26.5%	5	41.7%	3	23.1%
要介護 2	11	18.6%	6	17.6%	2	16.7%	3	23.1%
要介護 3	8	13.6%	6	17.6%	0	0.0%	2	15.4%
要介護 4	5	8.5%	2	5.9%	2	16.7%	1	7.7%
要介護 5	12	20.3%	11	32.4%	0	0.0%	1	7.7%

質問 18-1 福祉サービス利用の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
利用している	97	13.6%	64	37.0%	19	12.4%	14	3.6%
利用していない	521	72.9%	99	57.2%	117	76.5%	305	78.4%
無回答	97	13.6%	10	5.8%	17	11.1%	70	18.0%

質問 18-2 利用している福祉サービスの内容【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	97	—	64	—	19	—	14	—
デイサービス	31	32.0%	18	28.1%	8	42.1%	5	35.7%
ショートステイ	11	11.3%	10	15.6%	0	0.0%	1	7.1%
ホームヘルパー	27	27.8%	20	31.3%	4	21.1%	3	21.4%
訪問介護	20	20.6%	15	23.4%	4	21.1%	1	7.1%
入浴サービス	14	14.4%	9	14.1%	5	26.3%	0	0.0%
送迎サービス	17	17.5%	11	17.2%	4	21.1%	2	14.3%
ガイドヘルパー	11	11.3%	9	14.1%	2	10.5%	0	0.0%
ボランティアの援助	10	10.3%	7	10.9%	3	15.8%	0	0.0%
相談窓口の利用	7	7.2%	2	3.1%	3	15.8%	2	14.3%
その他	31	32.0%	20	31.3%	5	26.3%	6	42.9%
無回答	2	2.1%	1	1.6%	0	0.0%	1	7.1%

質問１９ 利用している福祉サービスの自己負担額

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	97	100.0%	64	100.0%	19	100.0%	14	100.0%
無料	18	18.6%	11	17.2%	3	15.8%	4	28.6%
1万円～1万円未満	29	29.9%	20	31.3%	6	31.6%	3	21.4%
1万円～2万円未満	15	15.5%	10	15.6%	4	21.1%	1	7.1%
2万円～4万円未満	7	7.2%	3	4.7%	1	5.3%	3	21.4%
4万円～6万円未満	5	5.2%	4	6.3%	1	5.3%	0	0.0%
6万円～8万円未満	9	9.3%	7	10.9%	1	5.3%	1	7.1%
8万円～10万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10万円～15万円未満	3	3.1%	2	3.1%	1	5.3%	0	0.0%
15万円以上	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%
無回答	10	10.3%	7	10.9%	2	10.5%	1	7.1%

質問２０ 福祉サービスを利用したことがない理由【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	521	—	99	—	117	—	305	—
自分でできることは自分で解決したい	168	32.2%	54	54.5%	43	36.8%	71	23.3%
家庭の中に他人に入ってほしくない	21	4.0%	11	11.1%	6	5.1%	4	1.3%
どのようなサービスがあるのかわからない	59	11.3%	15	15.2%	19	16.2%	25	8.2%
福祉サービスの時間と希望のサービスの時間が合わない	5	1.0%	3	3.0%	2	1.7%	0	0.0%
費用がかかるためサービスを受けられない	16	3.1%	2	2.0%	9	7.7%	5	1.6%
福祉サービスを受けたが対応が悪く以後受けていない	2	0.4%	0	0.0%	2	1.7%	0	0.0%
福祉サービスを利用する必要がある	136	26.1%	9	9.1%	22	18.8%	105	34.4%
必要な福祉サービスがない	19	3.6%	5	5.1%	4	3.4%	10	3.3%
その他	47	9.0%	17	17.2%	14	12.0%	16	5.2%
無回答	121	23.2%	8	8.1%	23	19.7%	90	29.5%

質問２１ 質問２０において必要な福祉サービスがないと答えた方の必要なサービスの主な内容
(自由記載)

質問２２ 健康被害を受けた人の、精神的なケア・カウンセリングの有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
精神的なケアやカウンセリングを受けたことがある	90	12.6%	39	22.5%	26	17.0%	25	6.4%
受けたことはないが必要性を感じている	236	33.0%	44	25.4%	65	42.5%	127	32.6%
受けたことはないし必要性も感じていない	273	38.2%	52	30.1%	35	22.9%	186	47.8%
無回答	116	16.2%	38	22.0%	27	17.6%	51	13.1%

質問 2 3 家族の精神的なケア・カウンセリングの有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
精神的なケアやカウンセリングを受けたことがある	54	7.6%	25	14.5%	11	7.2%	18	4.6%
受けたことはないが必要性を感じている	234	32.7%	62	35.8%	57	37.3%	115	29.6%
受けたことはないし必要性も感じていない	309	43.2%	53	30.6%	58	37.9%	198	50.9%
無回答	118	16.5%	33	19.1%	27	17.6%	58	14.9%

■健康被害を受けた方の入所・通所施設の利用及び就学状況等

質問 2 4 - 1 入所・通所施設利用の別

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	34	100.0%	23	100.0%	9	100.0%	2	100.0%
入所	12	35.3%	7	30.4%	3	33.3%	2	100.0%
通所	22	64.7%	16	69.6%	6	66.7%	0	0.0%

質問 2 4 - 2 施設の種類

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	34	100.0%	23	100.0%	9	100.0%	2	100.0%
知的障害者授産施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
身体障害者授産施設	4	11.8%	4	17.4%	0	0.0%	0	0.0%
精神障害者授産施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
知的障害者更生施設	1	2.9%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
身体障害者更生施設	4	11.8%	1	4.3%	2	22.2%	1	50.0%
身体障害者療護施設	7	20.6%	5	21.7%	2	22.2%	0	0.0%
その他	12	35.3%	7	30.4%	4	44.4%	1	50.0%
無回答	6	17.6%	5	21.7%	1	11.1%	0	0.0%

質問 2 5 施設利用の問題点【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	34	—	23	—	9	—	2	—
施設を使用したいが空きがない	1	2.9%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
適当な施設がない	4	11.8%	2	8.7%	1	11.1%	1	50.0%
施設の利用の期限が限られている	4	11.8%	3	13.0%	1	11.1%	0	0.0%
障害の程度によっては退所要求されることがある	3	8.8%	1	4.3%	1	11.1%	1	50.0%
入所施設への交通手段に困っている	2	5.9%	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
通所施設への交通手段に困っている	6	17.6%	5	21.7%	1	11.1%	0	0.0%
施設を利用するにあたって問題点はない	11	32.4%	8	34.8%	2	22.2%	1	50.0%
その他	6	17.6%	4	17.4%	1	11.1%	1	50.0%
無回答	6	17.6%	4	17.4%	2	22.2%	0	0.0%

質問 2 6 健康被害を受けた人の就学状況

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	82	100.0%	24	100.0%	9	100.0%	49	100.0%
保育所に通っている	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.1%
幼稚園に通園している	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%
養護学校に在学している	9	11.0%	7	29.2%	1	11.1%	1	2.0%
小学校に在学している	23	28.0%	2	8.3%	3	33.3%	18	36.7%
中学校に在学している	8	9.8%	0	0.0%	0	0.0%	8	16.3%
高等学校に在学している	6	7.3%	2	8.3%	1	11.1%	3	6.1%
大学に在学している	11	13.4%	3	12.5%	1	11.1%	7	14.3%
その他	12	14.6%	7	29.2%	0	0.0%	5	10.2%
無回答	10	12.2%	3	12.5%	3	33.3%	4	8.2%

質問 2 7 健康被害を受けた人の就労状況

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	692	100.0%	169	100.0%	149	100.0%	374	100.0%
仕事をしている	214	30.9%	15	8.9%	48	32.2%	151	40.4%
福祉施設で仕事をしている	5	0.7%	2	1.2%	2	1.3%	1	0.3%
求職中	17	2.5%	3	1.8%	4	2.7%	10	2.7%
仕事に就いていない	309	44.7%	122	72.2%	72	48.3%	115	30.7%
無回答	147	21.2%	27	16.0%	23	15.4%	97	25.9%

質問 2 7 - 1 企業形態

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	214	100.0%	15	100.0%	48	100.0%	151	100.0%
一般企業	100	46.7%	2	13.3%	24	50.0%	74	49.0%
自営業	43	20.1%	5	33.3%	11	22.9%	27	17.9%
公務員	13	6.1%	0	0.0%	2	4.2%	11	7.3%
その他	57	26.6%	7	46.7%	11	22.9%	39	25.8%
無回答	1	0.5%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%

質問 2 7 - 2 福祉施設の形態

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	5	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	1	100.0%
作業所	1	20.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
福祉工場	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
授産施設	1	20.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	40.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	100.0%
無回答	1	20.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%

質問 2 7 - 3 求職状況【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	17	—	3	—	4	—	10	—
障害者職業能力開発校で訓練中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ハローワーク	12	70.6%	2	66.7%	2	50.0%	8	80.0%
人材バンク等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
知人等に相談	6	35.3%	2	66.7%	0	0.0%	4	40.0%
その他	2	11.8%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問27-4 仕事に就いてない理由

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	309	100.0%	122	100.0%	72	100.0%	115	100.0%
医薬品の副作用による健康被害のため仕事ができない	156	50.5%	94	77.0%	49	68.1%	13	11.3%
もともと病弱で仕事に就いていない	11	3.6%	0	0.0%	3	4.2%	8	7.0%
就学中	35	11.3%	12	9.8%	2	2.8%	21	18.3%
未就学	7	2.3%	3	2.5%	1	1.4%	3	2.6%
その他	90	29.1%	11	9.0%	15	20.8%	64	55.7%
無回答	10	3.2%	2	1.6%	2	2.8%	6	5.2%

■健康被害を受けた方のリハビリテーション関係

質問28 リハビリ実施の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
リハビリテーションをしている	112	15.7%	63	36.4%	32	20.9%	17	4.4%
リハビリテーションをしたいができない	30	4.2%	22	12.7%	6	3.9%	2	0.5%
リハビリテーションをしていない	298	41.7%	49	28.3%	52	34.0%	197	50.6%
無回答	275	38.5%	39	22.5%	63	41.2%	173	44.5%

質問28 訓練形態

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	112	100.0%	63	100.0%	32	100.0%	17	100.0%
専門家の指導による訓練	76	67.9%	50	79.4%	18	56.3%	8	47.1%
独学による訓練	32	28.6%	10	15.9%	13	40.6%	9	52.9%
無回答	4	3.6%	3	4.8%	1	3.1%	0	0.0%

質問29 質問28においてリハビリテーションをしていると答えた方の実施している主な内容（自由記載）

質問30 質問28においてリハビリテーションをしたいができないと答えた方の主な理由（自由記載）

質問31-1 居宅以外での活動の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
居宅以外の活動に参加をしている	181	25.3%	25	14.5%	29	19.0%	127	32.6%
居宅以外の活動に参加をしていない	290	40.6%	120	69.4%	71	46.4%	99	25.4%
無回答	244	34.1%	28	16.2%	53	34.6%	163	41.9%

質問 3 1 - 1 居宅以外活動の内容【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	181	—	25	—	29	—	127	—
スポーツ	83	45.9%	7	28.0%	14	48.3%	62	48.8%
文化活動	73	40.3%	6	24.0%	12	41.4%	55	43.3%
ボランティア	38	21.0%	7	28.0%	7	24.1%	24	18.9%
その他	24	13.3%	7	28.0%	5	17.2%	12	9.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

質問 3 1 - 2 居宅以外活動に参加していない理由【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	290	—	120	—	71	—	99	—
医薬品の副作用による健康被害のためできない	168	57.9%	99	82.5%	51	71.8%	18	18.2%
もともと病弱でできない	9	3.1%	0	0.0%	1	1.4%	8	8.1%
スポーツ、文化活動に興味があり可能な限り参加したい	46	15.9%	9	7.5%	7	9.9%	30	30.3%
その他	55	19.0%	10	8.3%	10	14.1%	35	35.4%
無回答	19	6.6%	5	4.2%	5	7.0%	9	9.1%

■医薬品副作用被害救済給付受給者の方のみに対する質問

質問 3 2 - 1 医薬品副作用被害救済制度の認知（情報入手先）【複数回答】

	合 計		受給者		未受給治療中		その他	
合計	173	—	173	—				
医師から教えてもらった	57	32.9%	57	32.9%				
薬剤師から教えてもらった	5	2.9%	5	2.9%				
看護師から教えてもらった	0	0.0%	0	0.0%				
医療福祉相談室のケースワーカーから教えてもらった	10	5.8%	10	5.8%				
医療機関事務担当者から教えてもらった	11	6.4%	11	6.4%				
機構が行なう広報により知った	25	14.5%	25	14.5%				
政府広報により知った	2	1.2%	2	1.2%				
公的機関から教えてもらった	14	8.1%	14	8.1%				
製薬企業から教えてもらった	6	3.5%	6	3.5%				
弁護士から教えてもらった	15	8.7%	15	8.7%				
知人から教えてもらった	28	16.2%	28	16.2%				
その他	18	10.4%	18	10.4%				
無回答	8	4.6%	8	4.6%				

質問３２－２ 機構広報の媒体

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中	その他	
合計	25	100.0%	25	100.0%			
新聞	16	64.0%	16	64.0%			
週刊誌	2	8.0%	2	8.0%			
専門誌	4	16.0%	4	16.0%			
機構のホームページ	2	8.0%	2	8.0%			
無回答	1	4.0%	1	4.0%			

質問３３ 医療費、医療手当に係る救済給付請求をすることができなかった期間の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中	その他	
合計	173	100.0%	173	100.0%			
請求期間が経過してしまい請求ができない期間があった	69	39.9%	69	39.9%			
請求をすることができない期間はなかった	69	39.9%	69	39.9%			
無回答	35	20.2%	35	20.2%			

質問３４ 医療費、医療手当に係る救済給付請求をすることができなかった期間

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中	その他	
合計	69	100.0%	69	100.0%			
３ヶ月未満	3	4.3%	3	4.3%			
３ヶ月～６ヶ月未満	6	8.7%	6	8.7%			
６ヶ月～１年未満	8	11.6%	8	11.6%			
１年～１年６ヶ月未満	4	5.8%	4	5.8%			
１年６ヶ月～２年未満	11	15.9%	11	15.9%			
２年～３年未満	4	5.8%	4	5.8%			
３年～５年未満	11	15.9%	11	15.9%			
５年以上	20	29.0%	20	29.0%			
無回答	2	2.9%	2	2.9%			

質問３５ 障害年金等に係る救済給付請求をすることができなかった期間の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中	その他	
合計	173	100.0%	173	100.0%			
制度を知らなかったため請求できない期間があった	66	38.2%	66	38.2%			
請求をすることができない期間はなかった	47	27.2%	47	27.2%			
障害の程度が軽かったので請求はしていない	0	0.0%	0	0.0%			
障害はなかったので請求はしていない	0	0.0%	0	0.0%			
無回答	60	34.7%	60	34.7%			

質問３６ 障害年金等に係る救済給付請求をすることができなかった期間

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	66	100.0%	66	100.0%				
3 ヶ月未満	4	6.1%	4	6.1%				
3 ヶ月～6 ヶ月未満	4	6.1%	4	6.1%				
6 ヶ月～1 年未満	4	6.1%	4	6.1%				
1 年～1 年 6 ヶ月未満	6	9.1%	6	9.1%				
1 年 6 ヶ月～2 年未満	10	15.2%	10	15.2%				
2 年～3 年未満	7	10.6%	7	10.6%				
3 年～5 年未満	7	10.6%	7	10.6%				
5 年以上	23	34.8%	23	34.8%				
無回答	1	1.5%	1	1.5%				

質問３７ 健康被害が起きてから救済給付請求をするまでの期間

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	173	100.0%	173	100.0%				
3 ヶ月未満	8	4.6%	8	4.6%				
3 ヶ月～6 ヶ月未満	12	6.9%	12	6.9%				
6 ヶ月～1 年未満	25	14.5%	25	14.5%				
1 年～1 年 6 ヶ月未満	19	11.0%	19	11.0%				
1 年 6 ヶ月～2 年未満	32	18.5%	32	18.5%				
2 年～3 年未満	19	11.0%	19	11.0%				
3 年～5 年未満	15	8.7%	15	8.7%				
5 年以上	29	16.8%	29	16.8%				
無回答	14	8.1%	14	8.1%				

質問３８ 最初の治療時における健康被害の説明の有無

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	173	100.0%	173	100.0%				
医師から説明を受けた	101	58.4%	101	58.4%				
薬剤師から説明を受けた	0	0.0%	0	0.0%				
看護師から説明を受けた	0	0.0%	0	0.0%				
医師、薬剤師、看護師以外の医療機関職員からの説明	0	0.0%	0	0.0%				
最初の治療当時、医薬品の副作用の説明を受けていない	64	37.0%	64	37.0%				
無回答	8	4.6%	8	4.6%				

質問３９ 健康被害が起きてから原因特定までの期間

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	173	100.0%	173	100.0%				
１日（被害当日）	11	6.4%	11	6.4%				
２日～３日	13	7.5%	13	7.5%				
４日～７日	12	6.9%	12	6.9%				
８日～１４日	13	7.5%	13	7.5%				
１５日～１月	20	11.6%	20	11.6%				
２月～３月	13	7.5%	13	7.5%				
４月～６月	18	10.4%	18	10.4%				
７月～１年	14	8.1%	14	8.1%				
その他（１年以上）	42	24.3%	42	24.3%				
無回答	17	9.8%	17	9.8%				

質問４０ 健康被害が起きてから原因となる医薬品の服薬期間

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	173	100.0%	173	100.0%				
１日（被害当日）	61	35.3%	61	35.3%				
２日～３日	16	9.2%	16	9.2%				
４日～７日	14	8.1%	14	8.1%				
８日～１４日	4	2.3%	4	2.3%				
１５日～１月	14	8.1%	14	8.1%				
２月～３月	5	2.9%	5	2.9%				
４月～６月	5	2.9%	5	2.9%				
７月～１年	9	5.2%	9	5.2%				
その他（１年以上）	16	9.2%	16	9.2%				
被害が起きる前に服薬を中止	10	5.8%	10	5.8%				
無回答	19	11.0%	19	11.0%				

■今後の生活

質問４１ 将来の介護等

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
不安である	319	44.6%	135	78.0%	85	55.6%	99	25.4%
不安はない	93	13.0%	3	1.7%	13	8.5%	77	19.8%
どちらとも言えない	187	26.2%	28	16.2%	37	24.2%	122	31.4%
無回答	116	16.2%	7	4.0%	18	11.8%	91	23.4%

質問４２ 不安である理由【複数回答】

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	319	—	135	—	85	—	99	—
介護できる人がいない	110	34.5%	54	40.0%	27	31.8%	29	29.3%
介護する適当な施設がない	20	6.3%	7	5.2%	9	10.6%	4	4.0%
必要な時に施設で受け入れてくれるか不安	136	42.6%	56	41.5%	43	50.6%	37	37.4%
利用できる福祉サービスがない	17	5.3%	5	3.7%	6	7.1%	6	6.1%
家族以外に介護等を依頼する費用がない	88	27.6%	20	14.8%	35	41.2%	33	33.3%
家族が離れ離れになる	39	12.2%	18	13.3%	16	18.8%	5	5.1%
その他	67	21.0%	34	25.2%	16	18.8%	17	17.2%
無回答	10	3.1%	5	3.7%	2	2.4%	3	3.0%

質問４３ 家族が介護できなくなった場合の対応

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	234	100.0%	117	100.0%	52	100.0%	65	100.0%
施設入所を考えている	100	42.7%	58	49.6%	19	36.5%	23	35.4%
親戚・知人を頼る	21	9.0%	10	8.5%	6	11.5%	5	7.7%
福祉サービスを利用する	86	36.8%	38	32.5%	19	36.5%	29	44.6%
その他	27	11.5%	11	9.4%	8	15.4%	8	12.3%

■その他

質問４４ 医薬品副作用被害救済制度への要望として記載されている内容（自由記載）

質問４５ 調査の回答者

	合 計		障害年金等を受給		未受給治療中		その他	
合計	715	100.0%	173	100.0%	153	100.0%	389	100.0%
健康被害を受けた本人	405	56.6%	40	23.1%	99	64.7%	266	68.4%
本人の意向を聞いて家族が記入	111	15.5%	57	32.9%	25	16.3%	29	7.5%
本人の意向をくみとり家族が記入	45	6.3%	21	12.1%	8	5.2%	16	4.1%
家族が回答	123	17.2%	49	28.3%	12	7.8%	62	15.9%
無回答	31	4.3%	6	3.5%	9	5.9%	16	4.1%

Ⅲ 医薬品の副作用による健康被害実態調査票

医薬品の副作用による健康被害実態調査

調 査 票

◎この調査票は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が保健福祉事業の一環として行う、医薬品の副作用による健康被害実態調査以外の目的には使用しませんので、ありのままをご記入ください。

◎この調査票は、原則として、医薬品の副作用による健康被害を受けた方または、健康被害を受けた方が属する世帯の家族の方がご記入ください。

◎この調査は、平成17年8月1日現在でご記入ください。

◎返送は、平成17年8月31日までをお願いします。

お問い合わせ先 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
健康被害救済部企画管理課 清重、新垣
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞ヶ関ビル 10 階
tel. 03-3506-9460
fax. 03-3506-9439

質問 1 医薬品の副作用により健康被害を受けた方について、お答えください。

当てはまる番号に○をつけてください。

性別	1 男	2 女
年齢	満_____歳	
結婚	1 未婚	2 既婚

■ 医薬品の副作用により健康被害が起きた当時の状況について質問します。

質問 2 何歳の時に医薬品の副作用による健康被害を受けたかお答えください。

また、その健康被害が、本人の仕事や就学にどのように影響しましたか。当てはまる番号に○をつけてください。（当てはまる番号が複数ある場合には、複数○をつけてください。なお、該当がなければ○をつける必要はありません。）

◎健康被害を受けた時の本人の年齢 歳

- 1 健康被害のため本人が仕事をやめた
- 2 健康被害のため本人の収入が減った
- 3 健康被害のため本人が欠勤する(休暇をとる)ようになった
- 4 健康被害のため本人が転職した
- 5 健康被害を受けたとき本人は無職(求職中を含む)であった
- 6 健康被害のため本人が在学中の学校をやめた
- 7 健康被害が原因で在学中に本人がいじめを受けたことがある
- 8 健康被害のため本人が在学中の学校を休学した
- 9 健康被害のため本人が転校した
- 10 健康被害を受けたとき本人は未就学であった
- 11 健康被害のため転居した
- 12 その他（具体的にご記入ください_____）

質問 3 医薬品の副作用による健康被害により家族の仕事や就学に影響がありましたか。当てはまる番号に○をつけてください。(当てはまる番号が複数ある場合には、複数○をつけてください。なお、該当がなければ○をつける必要はありません。)

- 1 介護等のため家族が仕事をやめた
- 2 介護等のため家族の収入が減った
- 3 介護等のため家族が欠勤する(休暇をとる)ようになった
- 4 介護等のため家族が転職した
- 5 介護等のため家族が在学中の学校をやめた
- 6 介護等のため家族が在学中の学校を休学した
- 7 介護等のため家族が転校した
- 8 介護等のため転居した
- 9 その他 (具体的にご記入ください)

質問 4 医薬品の副作用による健康被害のため世帯全体で何割ぐらい収入が減りましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------------|--------------------|
| 1 <u>1割減った</u> | 4 <u>4割～5割減った</u> | 7 <u>減ったが割合は不明</u> |
| 2 <u>2割減った</u> | 5 <u>6割～7割減った</u> | 8 <u>収入は減らなかった</u> |
| 3 <u>3割減った</u> | 6 <u>8割以上減った</u> | |

■社会福祉・社会保障制度受給等の状況について質問します。

質問 5 福祉的サービスを受けるためお持ちの手帳について、当てはまる番号に○をつけてください。

また、手帳を持っている場合、障害の種類、障害の程度をその手帳から転記してください。療育手帳の障害の程度については、当てはまる□に✓をつけてください。

身体障害者手帳	
1 <u>持っている</u>	2 <u>持っていない</u>
↳ 障害の種類 _____ 障害の程度 _____ 級	
療育手帳	
1 <u>持っている</u>	2 <u>持っていない</u>
↳ 障害の程度 □ <u>A</u> □ <u>B</u>	
精神障害者保健福祉手帳	
1 <u>持っている</u>	2 <u>持っていない</u>
↳ 障害の程度 _____ 級	

質問 6 医薬品の副作用により健康被害を受けた方が現在受給している年金等の□に✓をつけてください。
また、年金等を受給している場合、障害の程度について当てはまる□に✓をつけてください。

☐ 障害年金(医薬品副作用被害救済制度)	
	障害の程度 ☐ 1級 ☐ 2級
☐ 障害児養育年金(医薬品副作用被害救済制度)	
	障害の程度 ☐ 1級 ☐ 2級
☐ 障害基礎年金(国民年金制度)	
	障害の程度 ☐ 1級 ☐ 2級
☐ 障害厚生年金(厚生年金保険制度)	
	障害の程度 ☐ 1級 ☐ 2級 ☐ 3級
☐ 障害手当金(厚生年金保険制度)	
☐ 障害共済年金(共済組合制度)	
	障害の程度 ☐ 1級 ☐ 2級 ☐ 3級
☐ 障害一時金(共済組合制度)	
☐ 年金等(障害一時金、障害手当金)などを受給したことはない	

質問 7 医薬品の副作用により健康被害を受けた方が現在受給している手当について、当てはまる番号に○をつけてください。
なお、7に○をつけた場合、過去に受給していた手当の□に✓をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1 障害児福祉手当 | 3 特別児童扶養手当 | 5 障害者福祉手当 |
| 2 特別障害者手当 | 4 児童扶養手当 | 6 その他 |
| (名称: _____) | | |
- 7 現在 手当の受給は受けていないが 過去に受給していた
- | | | | |
|---|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
|  | ☐ 障害児福祉手当 | ☐ 特別児童扶養手当 | ☐ 障害者福祉手当 |
| | ☐ 特別障害者手当 | ☐ 児童扶養手当 | ☐ その他 |
| (名称: _____) | | | |
- 8 手当の受給は受けたことはない

質問 8 利用したことのある税金等の軽減または優遇措置について、当てはまる番号に○をつけてください。(当てはまる番号が複数ある場合、複数○をつけてください。なお、該当がなければ○をつける必要はありません。)

- 1 所得控除(障害者控除)
- 2 住民税の非課税または所得控除
- 3 相続税の控除
- 4 定期預金等の利子非課税(マル優)
- 5 贈与税の非課税(特別障害者扶養信託)
- 6 自動車税、自動車取得税の減免
- 7 NHK 受信料の減免
- 8 水道・下水道料金の免除
- 9 郵便料金の割引
- 10 官製はがき(青い鳥はがき)の無料配布
- 11 電話番号案内の無料利用(ふれあい案内)
- 12 福祉用クレジット通話
- 13 JRその他の交通運賃割引
- 14 その他(_____)

■健康被害を受けた方の健康状態、治療状況等について質問します。

質問 9 医薬品の副作用による健康被害の原因となった医薬品の名称(健康被害の原因が特定できていない場合は、原因と思われる医薬品の名称)を知っていますか。
知っている場合は、その名称をお答えください。

- 1 知っている
(名称:_____)
- 2 知らない

質問10 医薬品の副作用による健康被害の内容を次の中から選択し、当てはまる番号に○をつけてください。(当てはまる番号が複数ある場合、複数○をつけてください。)

- 1 皮膚障害
- 2 運動機能障害
- 3 低酸素脳症
- 4 視力障害
- 5 呼吸系障害
- 6 腎機能障害
- 7 聴覚障害
- 8 薬物性肝障害
- 9 薬物性ショック
- 10 その他(_____)

質問11 現在の医薬品の副作用による健康被害(後遺症も含みます。)のための治療について、当てはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 健康被害の治療をしている | 2 健康被害による治療は終了した |
| 3 健康被害による治療を中止した | 4 健康被害による治療は受けていない |

質問12 過去1年間の病気治療の状況について、お答えください。

また、入院日数、通院回数、往診回数及び所要経費等についてもわかる範囲(おおまかな金額でもけっこうです。)でお答えください。

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1 過去1年間の入院日数 | _____日/年 |
| 2 1月あたりの通院回数 | _____回/月 |
| 3 1月あたりの通院にかかる交通費 | _____円/月 |
| 4 1月あたりの保険医療費の自己負担額 | _____円/月 |
| 5 1月あたりの自費(保険外)による治療費 | _____円/月 |
| ・自費(保険外)による治療費:コンタクトレンズ、点眼薬購入費など | |
| 6 1月あたりの自費(保険外)による治療雑費 | _____円/月 |
| ・自費(保険外)による治療雑費:オムツなど | |
| 7 医療機関にかかっていない | |

質問13 医薬品副作用被害救済制度施行(昭和55年5月1日)前に健康被害を受けた方に質問します。いつ頃発生した健康被害なのかお答えください。

昭和_____年_____月ごろ

■健康被害を受けた方の日常生活について質問します。

質問14 医薬品の副作用による健康被害を受けた方の日常生活について、お答えください。
各事項の当てはまる番号に○をつけてください。

1 日常生活に介護、身守りなどの支援は必要ない

↳ 質問15へ、お進みください。

2 日常生活に何らかの介護、身守りなどの支援が必要である

当てはまる□に✓をつけてください。

ア 食事

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 自分で食べることができる | ☐ 注入している |
| ☐ 食べる時に介助が必要 | ☐ その他(_____) |

イ 排泄

- | | |
|--|--|
| ☐ すべて自分でできる | ☐ 定期的にカテーテルで介助排尿 |
| ☐ すべて自分でできるがうまくできない | ☐ 定期的に自分でカテーテルで排尿 |
| ☐ 全面的に介助が必要 | ☐ その他(_____) |
| ☐ 必要な時に本人が介助を依頼 | |

ウ 入浴

- | | |
|---|---|
| ☐ 自分で支度して1人で入浴できる | ☐ 家族だけでは入浴の介助ができない |
| ☐ 支度してもらえば1人で入浴できる | ☐ 入浴サービスを利用している |
| ☐ 入浴時の介助が必要 | ☐ その他(_____) |

エ 衣服の着脱

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 自分でできる | ☐ 介助が必要 | ☐ その他(_____) |
|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|

オ 意志疎通

- | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 言葉がわかる | ☐ 言葉がわからない | ☐ その他(_____) |
|---------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|

カ 健康被害を受けた方の行動で介護上問題がありますか。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ てんかん発作がある | ☐ 自傷、他傷がある |
| ☐ 大声を出す | ☐ とくに問題はない |
| ☐ 多動がある | ☐ その他(_____) |
| ☐ 異食がある | |

質問15 健康被害を受けた方の家族構成と、家族で介護をしている人の関係(続柄)、介護時間、健康状態等についてお答えください。

(日常生活について、家族が介護をされていない場合は、家族構成のみお答えください。)

・介護には、介護保険制度で要介護認定を受けていない人に対する介護も含めます。

家族構成		介護時間等	家族の健康状態
家族全員記入してください		1日の介護時間、介護回数をお答えください	当てはまる番号に○をつけてください
副作用被害者本人との続柄をお答えください	年齢		
(記入例) 母	(記入例) 60歳	記入例) 1日 <u>3</u> 時間 ☐ 毎日 ☒ 週 <u>4</u> 回 ☐ 月 <u> </u> 回	(記入例) 1 <u>健康</u> ② <u>疲労ぎみ</u> 3 <u>病弱</u> (
_____	_____歳	1日 _____ 時間 ☐ 毎日 ☐ 週 _____ 回 ☐ 月 _____ 回	1 <u>健康</u> 2 <u>疲労ぎみ</u> 3 <u>病弱</u>
_____	_____歳	1日 _____ 時間 ☐ 毎日 ☐ 週 _____ 回 ☐ 月 _____ 回	1 <u>健康</u> 2 <u>疲労ぎみ</u> 3 <u>病弱</u>
_____	_____歳	1日 _____ 時間 ☐ 毎日 ☐ 週 _____ 回 ☐ 月 _____ 回	1 <u>健康</u> 2 <u>疲労ぎみ</u> 3 <u>病弱</u>
_____	_____歳	1日 _____ 時間 ☐ 毎日 ☐ 週 _____ 回 ☐ 月 _____ 回	1 <u>健康</u> 2 <u>疲労ぎみ</u> 3 <u>病弱</u>
_____	_____歳	1日 _____ 時間 ☐ 毎日 ☐ 週 _____ 回 ☐ 月 _____ 回	1 <u>健康</u> 2 <u>疲労ぎみ</u> 3 <u>病弱</u>

質問16 家族以外の人から介護の手助けを受けていますか。当てはまる番号に○をつけてください。また、当てはまる□に✓をつけてください。

- ・家族以外の人からの介護の手助けとは、別居の親族からの手助けや公的機関等からの福祉サービス(訪問介護、日帰り介護等)などをいいます。
- ・介護には、福祉支援制度で要介護認定を受けていない人に対する介護も含めます。

1 家族以外の人から介護の手助けを受けている

- 
- ☐ 毎日
 - ☐ 週に4日以上
 - ☐ 週に2～3日
 - ☐ 週に1日
 - ☐ 月に2～3日
 - ☐ 月に1日以内

2 受けていない

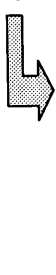
質問17 健康被害を受けた方が介護保険を利用されている場合、介護認定のレベルをお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

(介護保険を利用していない場合は、回答する必要はありません。)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 <u>要支援</u> | 3 <u>要介護2</u> | 5 <u>要介護4</u> |
| 2 <u>要介護1</u> | 4 <u>要介護3</u> | 6 <u>要介護5</u> |

質問18 現在どのような福祉サービスを利用していますか。当てはまる番号に○をつけてください。また、当てはまる□に✓をつけてください。

1 利用している

- 
- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ デイサービス | ☐ ガイドヘルパー |
| ☐ ショートステイ | ☐ ボランティアの援助 |
| ☐ ホームヘルパー | ☐ 相談窓口の利用 |
| ☐ 訪問介護 | ☐ その他(_____) |
| ☐ 入浴サービス | |
| ☐ 送迎サービス | |

2 利用していない

質問19 現在受けている福祉サービスの自己負担の月額はどのくらいですか。当てはまる番号に○をつけてください。わかる範囲(おおまかな金額でもけっこうです)でお答えください。

(福祉サービスを受けていない方は、回答する必要はありません。)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 無料 | 6 6万円～ 8万円未満 |
| 2 1円～ 1万円未満 | 7 8万円～10万円未満 |
| 3 1万円～ 2万円未満 | 8 10万円～15万円未満 |
| 4 2万円～ 4万円未満 | 9 15万円以上 |
| 5 4万円～ 6万円未満 | |

質問20 福祉サービスを利用したことがない場合の理由をお答えください。当てはまる番号に○をつけてください(当てはまる番号が複数ある場合、複数○をつけてください。)

(福祉サービスを受けている方は、回答する必要はありません。)

- 1 自分(家族)でできることは自分(家族)で解決したい
- 2 家庭の中に他人に入ってほしくない
- 3 どのようなサービスがあるのかわからない
- 4 提供される福祉サービスの時間と希望するサービスの時間が合わない
- 5 費用がかかるためサービスを受けられない
- 6 福祉サービスを受けたが対応が悪く(不親切等)以後受けていない
- 7 福祉サービスを利用する必要がない
- 8 必要な福祉サービスがない

 **質問21へ**

- 9 その他(_____)

質問21 質問20で8の必要なサービスがないとお答えの方におたずねします。
どのようなサービスが必要ですか。具体的にお答えください。

必要なサービス _____

質問22 医薬品の副作用による健康被害を受けたことで、本人が精神的なケアやカウンセリングを受けたことがありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 精神的なケアやカウンセリングを受けたことがある
- 2 精神的なケアやカウンセリングは受けたことはないが、必要性を感じている
- 3 精神的なケアやカウンセリングは受けたことはないし、必要性も感じていない

質問23 医薬品の副作用による健康被害を受けたことで、家族が精神的なケアやカウンセリングを受けたことがありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 精神的なケアやカウンセリングを受けたことがある
- 2 精神的なケアやカウンセリングは受けたことはないが、必要性を感じている
- 3 精神的なケアやカウンセリングは受けたことはないし、必要性も感じていない

■健康被害を受けた方の入所・通所施設の利用及び就学状況等について質問します。

質問24 現在、入所・通所施設を利用している場合、当てはまる□に✓をつけてください。また、その施設の種類の当てはまる番号に○をつけてください。

☐ 入所

☐ 通所

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 知的障害者授産施設 | 5 身体障害者更生施設 |
| 2 身体障害者授産施設 | 6 身体障害者療護施設 |
| 3 精神障害者授産施設 | 7 その他(_____) |
| 4 知的障害者更生施設 | |

なお、施設の種類のわからない場合は、施設の名前をお書きください。

(施設名: _____)

質問25 入所・通所施設を利用するにあたって、どのような問題点(障害など)があるのか、当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 施設を利用したいが空きがない
- 2 適当な施設がない
- 3 施設の利用の期限が限られている
- 4 障害の程度によっては退所要求されることがある
- 5 入所施設への交通手段に困っている(介助が大変)
- 6 通所施設への交通手段に困っている
- 7 施設を利用するにあたって問題点はない
- 8 その他(_____)

質問26 健康被害を受けた方の就学状況についておたずねします。当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 保育所に通っている
- 2 幼稚園に通園している
- 3 養護学校に在学している
- 4 小学校に在学している
- 5 中学校に在学している
- 6 高等学校に在学している
- 7 大学に在学している
- 8 その他(_____)

質問27 健康被害を受けた方の就労状況について、おたずねします。当てはまる番号に○をつけてください。また、当てはまる□に✓をつけてください

1 仕事をしている

-  ☐ 一般企業
☐ 自営業
☐ 公務員
☐ その他(_____)

2 福祉施設で仕事をしている

-  ☐ 作業所
☐ 福祉工場
☐ 授産施設
☐ その他(_____)

3 求職中

-  ☐ 障害者職業能力開発校で訓練中
☐ ハローワーク(公共職業安定所)
☐ 人材バンク等(民間の職業紹介所)
☐ 知人等に相談
☐ その他(_____)

4 仕事に就いていない

-  ☐ 医薬品の副作用による健康被害のため仕事ができない
☐ もともと 病弱で仕事に就いていない
☐ 就学中
☐ 未就学
☐ その他(_____)

■健康被害を受けた方のリハビリテーション関係について質問します。

質問28 日常生活動作や運動機能などのリハビリについておたずねします。当てはまる番号に○をつけてください。また、当てはまる□に✓をつけてください。

1 リハビリテーションをしている



□ 専門家の指導による訓練

□ 独学による訓練

2 リハビリテーションをしたいができない

3 リハビリテーションをしていない

質問29 質問28で1のリハビリテーションをしているとお答えの方におたずねします。どのようなリハビリテーションをしていますか。具体的にお答えください。

(リハビリテーション: _____)

例: 日常生活における基本動作の指導、運動機能、集団生活への適応訓練、社会生活に必要な知識の習得、趣味または教養、装具の正しい使用法など。

質問30 質問28で2のリハビリテーションをしたいができないとお答えの方におたずねします。リハビリテーションをしたいが、できない理由を具体的にお答えください。

リハビリテーションをしたいができない理由

質問31 居宅以外での活動についておたずねします。当てはまる番号に○をつけてください。
また、当てはまる□に✓をつけてください。(複数ある場合は、複数□に✓をつけてください。)

1 居宅以外の活動に参加をしている

-  ☐ スポーツ
☐ 文化活動(習い事等)
☐ ボランティア
☐ その他(_____)

2 居宅以外の活動に参加をしていない

-  ☐ 医薬品の副作用による健康被害のためできない
☐ もともと病弱でできない
☐ スポーツ、文化活動、ボランティアなどに興味があるので可能なものがあれば参加したい
☐ その他(_____)

■ 質問32から質問40については、医薬品副作用被害救済給付受給者の方のみに質問します。

質問32 医薬品副作用被害救済制度をどこで知りましたか。当てはまる番号に○をつけてください。また、当てはまる□に✓をつけてください。

- 1 医師から教えてもらった
- 2 薬剤師から教えてもらった
- 3 看護師から教えてもらった
- 4 医療機関に設置されている医療福祉相談室のケースワーカーから教えてもらった
- 5 医療機関事務担当者(医事課担当職員など)から教えてもらった
- 6 機構(旧基金、旧機構を含む)が行う広報により知った
 ☐ 新聞 ☐ 週刊誌 ☐ 専門誌 ☐ 機構のホームページ
- 7 政府広報により知った
- 8 公的機関から教えてもらった
- 9 製薬企業から教えてもらった
- 10 弁護士から教えてもらった
- 11 知人から教えてもらった
- 12 その他(1から12以外の場合)(_____)

質問33 医療費、医療手当の請求に関して、救済制度を知らなかったため請求期間が経過してしまっただけにより、救済給付の請求をすることができない期間がありましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 請求期間が経過してしまい請求をすることができない期間があった
2 請求をすることができない期間はなかった

質問34 質問33で1に○の場合、請求することができなかった期間は通算してはどのくらいですか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 <u>3ヶ月未満</u> | 5 <u>1年6ヶ月～2年未満</u> |
| 2 <u>3ヶ月～6ヶ月未満</u> | 6 <u>2年～3年未満</u> |
| 3 <u>6ヶ月～1年未満</u> | 7 <u>3年～5年未満</u> |
| 4 <u>1年～1年6ヶ月未満</u> | 8 <u>5年以上(年 月)</u> |

質問35 障害年金及び障害児養育年金の請求に関して、救済制度を知らなかったため救済給付の請求をすることができない期間などについて、当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 制度を知らなかったため請求をすることができない期間があった
2 請求をすることができない期間はなかった
3 障害の程度が軽かったので請求はしていない
4 障害はなかったので請求はしていない

質問36 質問35で1に○の場合、請求することができなかった期間は通算してはどのくらいですか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 <u>3ヶ月未満</u> | 5 <u>1年6ヶ月～2年未満</u> |
| 2 <u>3ヶ月～6ヶ月未満</u> | 6 <u>2年～3年未満</u> |
| 3 <u>6ヶ月～1年未満</u> | 7 <u>3年～5年未満</u> |
| 4 <u>1年～1年6ヶ月未満</u> | 8 <u>5年以上(年 月)</u> |

質問37 医薬品の副作用による健康被害が起きてから救済給付の請求をするまでの期間はどのくらいでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 <u>3ヶ月未満</u> | 5 <u>1年6ヶ月～2年未満</u> |
| 2 <u>3ヶ月～6ヶ月未満</u> | 6 <u>2年～3年未満</u> |
| 3 <u>6ヶ月～1年未満</u> | 7 <u>3年～5年未満</u> |
| 4 <u>1年～1年6ヶ月未満</u> | 8 <u>5年以上(年 月)</u> |

質問38 医薬品の副作用による健康被害の治療を最初に受けたとき、服用していた医薬品の副作用が原因であることについて説明を受けましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 医師から説明を受けた
- 2 薬剤師から説明を受けた
- 3 看護師から説明を受けた
- 4 医師、薬剤師、看護師以外の医療機関職員から説明を受けた
- 5 健康被害の治療を最初に受けた当時医薬品の副作用について説明を受けていない

質問39 医薬品の副作用による健康被害が起きてから、医薬品の副作用であるという診断が付くまでの期間はどのくらいでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------------------------------|
| 1 <u>1日(被害当日)</u> | 5 <u>15日～1月</u> | 9 <u>その他</u> |
| 2 <u>2日～3日</u> | 6 <u>2月～3月</u> | (<u> </u> 年 <u> </u> 月) |
| 3 <u>4日～7日</u> | 7 <u>4月～6月</u> | |
| 4 <u>8日～14日</u> | 8 <u>7月～1年</u> | |

質問40 医薬品の副作用による健康被害が起きてから、原因と思われる医薬品をどのくらいの期間使用し続けましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------------------------------|
| 1 <u>1日(被害当日)</u> | 5 <u>15日～1月</u> | 9 <u>その他</u> |
| 2 <u>2日～3日</u> | 6 <u>2月～3月</u> | (<u> </u> 年 <u> </u> 月) |
| 3 <u>4日～7日</u> | 7 <u>4月～6月</u> | |
| 4 <u>8日～14日</u> | 8 <u>7月～1年</u> | 10 <u>被害が起きる前に服薬を中止</u> |

■今後の生活について質問します。

質問41 将来の介護等についてどう感じていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- 
- 1 不安である
 - 2 不安はない
 - 3 どちらとも言えない

質問42 質問41で1の不安であるとお答えの方におたずねします。
その理由をお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。

- 1 介護できる人がいない
- 2 介護する適当な施設がない
- 3 必要な時に施設で受け入れてくれるか不安
- 4 利用できる福祉サービスがない
- 5 家族以外に介護等を依頼する費用がない
- 6 家族が離れ離れになる
- 7 その他(_____)

質問43 家族が介護できなくなったらどうしますか。現在、家族が介護をしている方はお答えください。

- 1 施設入所を考えている
- 2 親戚・知人を頼る
- 3 福祉サービスを利用する
- 4 その他(_____)

■その他

質問44 医薬品副作用被害救済制度への要望がありましたらお聞かせください。

質問45 この調査票にご回答くださった方についてお答えください。

- 1 健康被害を受けた本人
- 2 本人の意向を聞いて家族が記入
- 3 本人の意向をくみとり家族が記入
- 4 家族が回答

すべての質問にお答えいただきましたか？
もう一度ご確認ください。

ご記入いただきました調査票は、同封の封筒に入れて投函していただくようお願いいたします。

封筒には差出人の住所、氏名を記入する必要はありません。
ご協力ありがとうございました。